

# ZT231/ZT231R

工業用プリンタ



**ZEBRA**

## ユーザーガイド

2022/10/10

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2022 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: [zebra.com/linkoslegal](https://zebra.com/linkoslegal).

著作権および商標: [zebra.com/copyright](https://zebra.com/copyright).

特許: [ip.zebra.com](https://ip.zebra.com).

保証: [zebra.com/warranty](https://zebra.com/warranty).

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: [zebra.com/eula](https://zebra.com/eula).

## 使用の条件

### 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

### 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

### 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

### 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

# 目次

|  |           |
|--|-----------|
| はじめに.....                                | 7         |
| プリンタのコンポーネント.....                        | 7         |
| のコントロール パネル.....                         | 9         |
| ホーム画面.....                               | 10        |
| <b>プリンタのセットアップ.....</b>                  | <b>12</b> |
| プリンタの設置場所の選択.....                        | 12        |
| 消耗品および付属品の注文.....                        | 13        |
| 用紙.....                                  | 13        |
| リボン.....                                 | 13        |
| 製品ボックスの内容物の点検.....                       | 15        |
| ラベル デザイン ソフトウェアのインストール.....              | 17        |
| プリンタをデバイスに接続.....                        | 18        |
| 携帯電話またはタブレットへの接続.....                    | 18        |
| ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続..... | 18        |
| 用紙処理方法の決定.....                           | 34        |
| 用紙の装着.....                               | 36        |
| プリンタへの用紙の挿入.....                         | 36        |
| 切り取りモードの使用.....                          | 41        |
| 剥離モードの使用 (ライナー巻き取り付き/なし).....            | 44        |
| カッター モードまたは遅延カット モードの使用.....             | 50        |
| リボンのセット.....                             | 54        |
| 印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷.....               | 57        |
| <b>プリンタの設定と調整.....</b>                   | <b>61</b> |

|                                   |            |
|-----------------------------------|------------|
| プリンタ設定の変更.....                    | 61         |
| Windowsドライバによるプリンタ設定の変更.....      | 61         |
| プリンタ ウィザード.....                   | 63         |
| ユーザー メニュー.....                    | 64         |
| リボン センサーと用紙センサーのキャリブレーション.....    | 111        |
| 自動キャリブレーションの実行.....               | 111        |
| 手動によるセンサー キャリブレーションの実行.....       | 111        |
| 印字ヘッド圧力の調整.....                   | 115        |
| リボン テンションの調整.....                 | 119        |
| <b>定期的なメンテナンス.....</b>            | <b>120</b> |
| クリーニングのスケジュールと手順.....             | 120        |
| 外装、用紙コンパートメント、およびセンサーのクリーニング..... | 121        |
| 印字ヘッドとプラテン ローラーのクリーニング.....       | 121        |
| 剥離アセンブリのクリーニング.....               | 123        |
| カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布.....   | 126        |
| 使用済みリボンの取り外し.....                 | 132        |
| プリンタ コンポーネントの交換.....              | 133        |
| 交換部品の注文.....                      | 133        |
| プリンタ コンポーネントのリサイクル.....           | 133        |
| 潤滑油.....                          | 133        |
| <b>診断とトラブルシューティング.....</b>        | <b>134</b> |
| バーコード品質の評価.....                   | 135        |
| 設定ラベル.....                        | 137        |
| PAUSE (一時停止) セルフ テスト.....         | 138        |
| センサー プロフィール.....                  | 139        |
| 通信診断モードの使用.....                   | 141        |
| デフォルトの読み込みまたは最終保存値の読み込み.....      | 141        |
| アラートとエラー状態.....                   | 143        |
| アラートとエラー メッセージ.....               | 144        |
| インジケータ ライト.....                   | 148        |
| トラブルシューティング.....                  | 151        |

|  |            |
|--|------------|
| 印刷または印刷品質の問題.....  | 151        |
| リボンの問題.....  | 155        |
| 通信の問題.....   | 159        |
| RFID の問題.....  | 160        |
| その他の問題.....  | 163        |
| プリンタの修理.....   | 166        |
| プリンタの輸送.....   | 166        |
| <b>USB ホスト ポートと Print Touch 機能の使用.....</b>                 | <b>167</b> |
| 演習に必要なアイテム.....  | 167        |
| 演習を完了するためのファイル.....  | 168        |
| USB ホスト.....   | 170        |
| 演習 1: ファイルを USB フラッシュドライブにコピーし、USB ミラーを実行する.....           | 170        |
| 演習 2: USB フラッシュドライブからラベルフォーマットを印刷する.....                   | 171        |
| 演習 3: ファイルを USB フラッシュドライブにコピーまたは、USB フラッシュドライブからコピーする..... | 172        |
| 演習 4: 保存したファイルに USB キーボードでデータを入力し、ラベルを印刷する.....            | 174        |
| Print Touch/近距離無線通信 (NFC).....                             | 175        |
| 演習 5: 保存したファイルにデバイスでデータを入力し、ラベルを印刷する.....                  | 176        |
| <b>仕様.....</b>   | <b>177</b> |
| 一般仕様.....  | 177        |
| 電源仕様.....  | 178        |
| 電源コードの仕様.....  | 179        |
| 通信インタフェースの仕様.....  | 181        |
| 標準接続.....  | 182        |
| オプションの接続.....  | 183        |
| ワイヤレス仕様.....   | 184        |
| 印刷仕様.....  | 185        |
| 用紙仕様.....  | 186        |
| リボン仕様.....   | 187        |

用語集..... 188

# はじめに

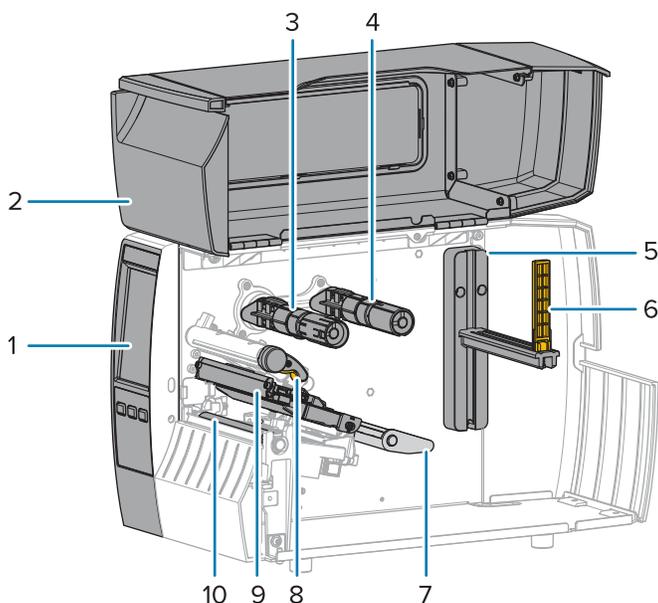
このセクションでは、プリンタとプリンタのコンポーネントについて概説します。

## プリンタのコンポーネント

プリンタ内のコンポーネントは、色分けされています。操作上、手で触る必要のある箇所は、金色になっており、本書の図解でも金色でハイライトされています。

プリンタの用紙コンパートメント内には、さまざまなコンポーネントがあります。プリンタ モデルおよびインストール済みオプションによって、プリンタの外観は多少異なる場合があります。ラベルの付いているコンポーネントは、本書の手順で言及されています。

図1 プリンタのコンポーネント



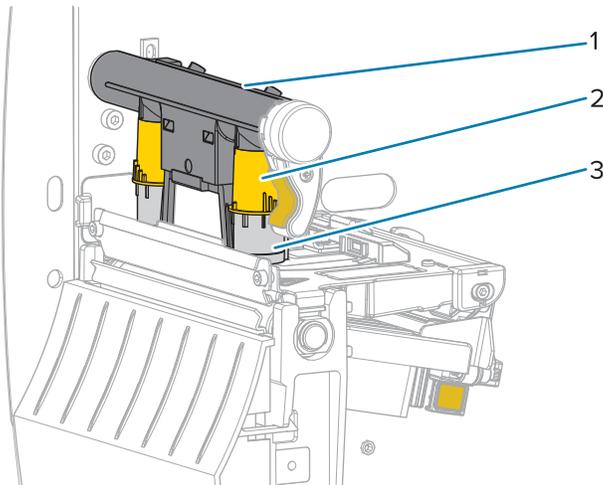
|   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | コントロール パネル      |
| 2 | 用紙アクセス用ドア       |
| 3 | リボン巻き取りスピンドル*   |
| 4 | リボン サブライ スピンドル* |

|    |                |
|----|----------------|
| 5  | 用紙サプライ ハンガー    |
| 6  | 用紙サプライ ガイド     |
| 7  | 用紙ダンサー アセンブリ   |
| 8  | 印字ヘッド アセンブリ    |
| 9  | 印字ヘッド オープン レバー |
| 10 | プラテン ローラー      |

\* このコンポーネントは、熱転写オプションがインストールされているプリンタにのみ存在します。

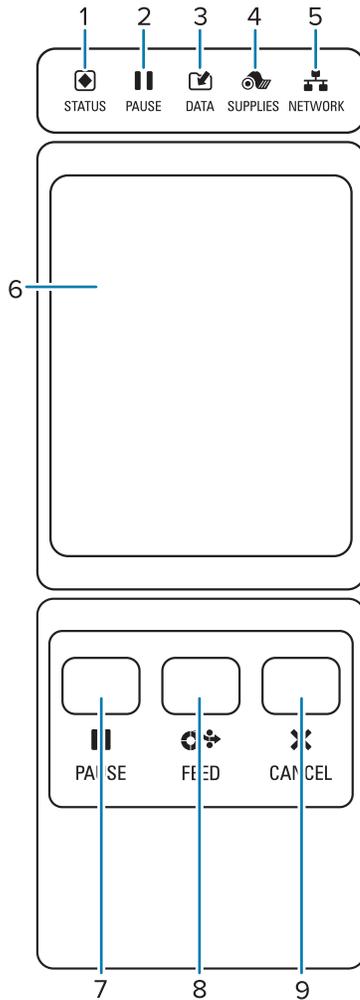
トグルバーの2つのトグルには、印字ヘッドの圧力を調整するために使用するダイヤルがあります。詳細については、[印字ヘッド圧力の調整](#)（115ページ）を参照してください。

図2 印字ヘッド圧力調整ダイヤル



|   |               |
|---|---------------|
| 1 | トグルバー         |
| 2 | 印字ヘッド圧力調整ダイヤル |
| 3 | トグル           |

## のコントロールパネル

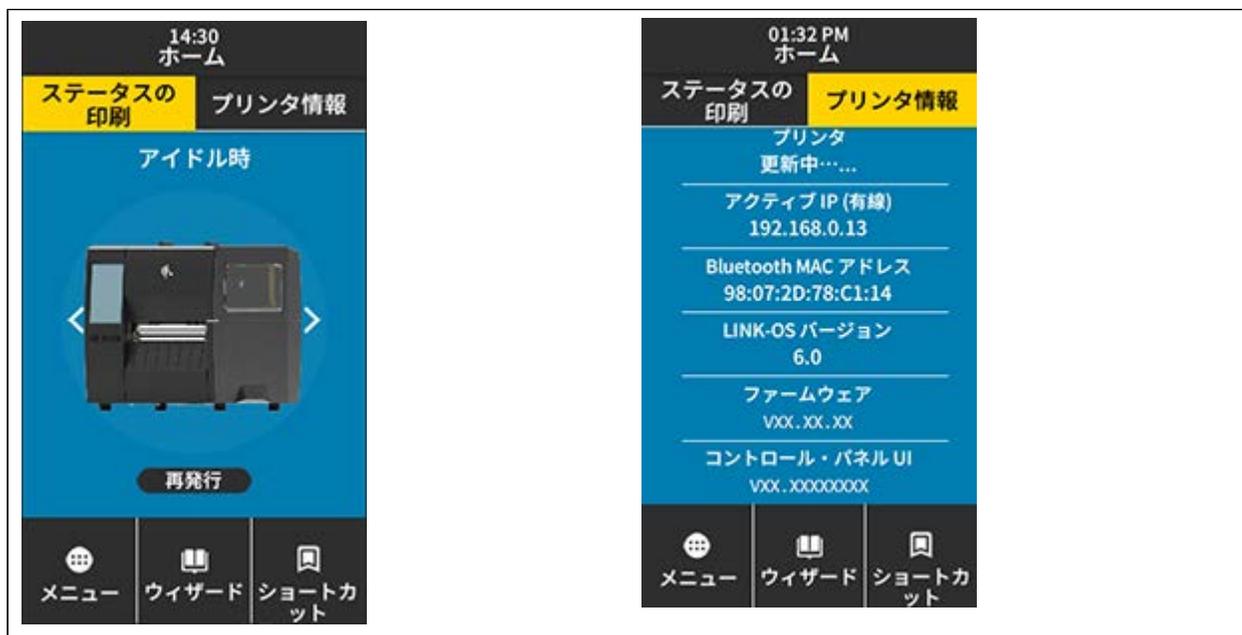


|   |  |  |
|---|--|--|
| 1 | <br><b>STATUS (ステータス) ランプ</b> | これらのインジケータ ライトは、プリンタの現在の状態を表示します。詳細については、 <a href="#">インジケータ ライト</a> (148ページ) を参照してください。 |
| 2 | <br><b>PAUSE (一時停止) ランプ</b>   |  |
| 3 | <br><b>DATA (データ) ランプ</b>     |  |
| 4 | <br><b>SUPPLIES (消耗品) ランプ</b> |  |

|   |  |
|---|--|
| 5 | <br><b>NETWORK (ネットワーク) ランプ</b>   |
| 6 | カラー タッチ ディスプレイには、プリンタの現在の状態が表示され、ここでメニュー システムをナビゲートできます。   |
| 7 | <b>PAUSE (一時停止)</b> ボタンを押すと、プリンタの動作が開始または停止します。  |
| 8 | <b>FEED (フィード)</b> ボタンを押すたびに、プリンタは空白のラベルを1つフィードします。  |
| 9 | <b>CANCEL (キャンセル)</b> ボタンを押すと、プリンタが一時停止したときにラベルフォーマットをキャンセルします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1回押すと、その次のラベルフォーマットがキャンセルされます。</li> <li>• 2秒間長押しすると、すべてのラベルフォーマットがキャンセルされます。</li> </ul> |

## ホーム画面

プリンタのホーム画面には、プリンタの現在のステータスが表示され、プリンタのメニューにアクセスできます。プリンタの画像を360度回転させると、あらゆる角度から見るすることができます。



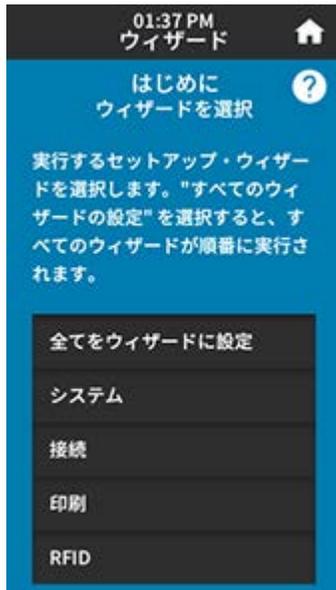
**注:** ホーム画面の背景色が黄色または赤色の場合、プリンタはアラート状態またはエラー状態にあります。詳細については、[アラートとエラー状態](#)を参照してください。

ホーム画面の [印刷ステータス] タブには次の項目があります。

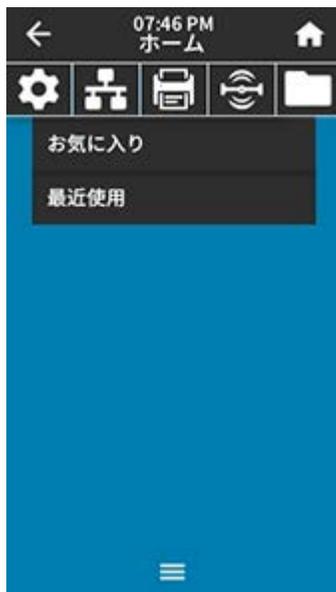
- メニュー - プリンタ設定を変更できます。[ユーザーメニュー](#)を参照してください。

## はじめに

- ウィザード - 画面の指示に従ってプリンタ設定を変更できます。プリンタ ウィザードを参照してください。



- ショートカット - 最後の使用したメニュー項目にすばやくアクセスしたり、お気に入りを保存したりすることができます。メニュー項目の横にある暗い色のハートアイコンをタッチすると、お気に入りのリストに保存されます。お気に入りの項目は保存した順に表示されます。



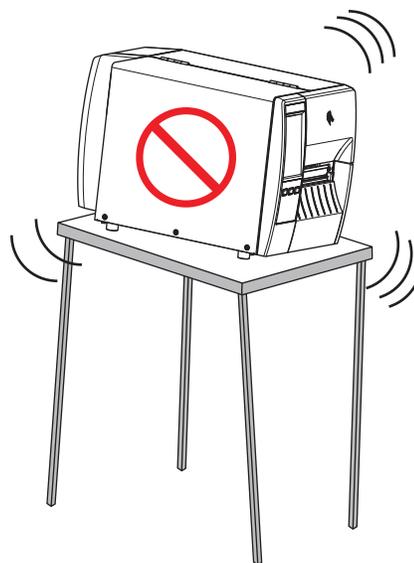
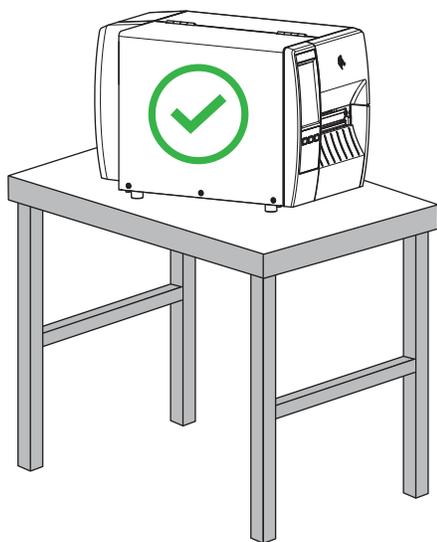
# プリンタのセットアップ

このセクションでは、プリンタの初期設定と操作についてユーザーに役立つ情報を提供します。

## プリンタの設置場所の選択

以下の条件を満たすようにプリンタの設置位置を決めます。

- 設置面 - プリンタの設置面はプリンタを保持するのに十分な広さと強度があるしっかりした平らな面であること。



- スペース - プリンタを設置する場所は、十分な換気が可能で、プリンタのコンポーネントやコネクタを容易に取り扱えるだけのスペースがあること。適切な換気と冷却ができるように、プリンタの周囲には空間を設けてください。



**注意：**プリンタの背後やプリンタの下には詰め物やクッションなどの材料を置かないでください。それによって空気の流れが遮断され、プリンタが過熱するおそれがあります。

- 電源 - プリンタはコードの抜き差しを容易に行える場所にある電源コンセントの近くであること。
- データ通信インターフェース - プリンタはWLAN 無線 (該当する場合) の範囲内、または他のコネクタがデータソース (通常はコンピュータ) にアクセスできる許容可能な範囲内にあること。最大ケーブル長と設定の詳細については、[通信インターフェースの仕様](#) (181ページ) を参照してください。

- 動作条件 - ご使用のプリンタは、倉庫や生産現場を含め、幅広い環境および電気条件で動作するように設計されています。次の表は、プリンタの動作中に求められる温度と相対湿度の要件を示したものです。

表1 動作時の温度および湿度

| モード       | 温度                  | 相対湿度              |
|-----------|---------------------|-------------------|
| 熱転写       | 5°~40°C (40°~104°F) | 20 ~ 85% (結露なきこと) |
| ダイレクトサーマル | 0°~40°C (32°~104°F) |                   |

## 消耗品および付属品の注文

以下は必要な品目ですが、プリンタには付属していません。

- USB 以外の通信/ネットワーク ケーブル (シリアル、有線イーサネットなど)
- 用紙
- リボン (プリンタに熱転写オプションがある場合)

## 用紙

選択する用紙の種類とサイズは、プリンタにインストールされているオプションに適している必要があります ([用紙処理方法の決定](#) (34ページ) を参照)。ラベルの長さの最小値やその他の重要な考慮事項については、プリンタの用紙仕様を参照してください。

製品ライン全体で最適な印刷品質と適切なプリンタ パフォーマンスを得るため、Zebra では Zebra 認定サプライ品をトータル ソリューションの一部として使用することを強くお勧めします。プリンタの印刷能力を向上させ、印字ヘッドを長持ちさせるために、特別設計の紙製、ポリプロピレン製、ポリエステル製、およびビニール製の用紙が広範に用意されています。消耗品の購入については、[zebra.com/supplies](http://zebra.com/supplies) をご覧ください。

[用語集](#) (188ページ) には、黒マーク用紙、ギャップ/切れ込み用紙、RFID 用紙、折り畳み用紙、ロール用紙など、用紙に関する用語が記載されています。これらの用語を使用すると、ニーズに適した用紙タイプを簡単に判別できます。

次もご参照ください

[ZT231 の仕様](#)

## リボン



注: このセクションは、熱転写オプションが装着されたプリンタのみに適用されます。

|                 |   |
|-----------------|---|
| リボンを使う必要がありますか? | <p>リボンを使用する必要があるかどうかは、用紙によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熱転写用紙 - リボンが必要です。</li> <li>感熱用紙 - リボンは必要ありません。</li> </ul> |
|-----------------|---|

|  |   |
|--|---|
| <p>感熱用紙か熱転写用紙かを確認するには?<br/>(定義については、<a href="#">ダイレクトサーマル</a> (190ページ) および<a href="#">熱転写</a> (196ページ) を参照)。</p> | <p>確認する最も簡単な方法は用紙の表面を指の爪でさっと擦ってみる事です。擦ったところに黒いマークが現れれば、用紙は感熱用紙です。リボンを使用する必要はありません。</p>  |
| <p>使用できるリボンのタイプは?</p>  | <p>このプリンタでは、コーティング面が外側になっているリボンのみを使用できます。</p>   |
| <p>リボンのコーティング面を確認するには?</p>   | <p>次の2つの方法のいずれかを使用して、コーティングされた側を識別します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 方法 1: 粘着性テスト             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ラベルの粘着面の端をリボン ロールの外側の表面に押し付けます。</li> <li>2. ラベルをリボンから剥がします。</li> </ol> <p>インクの粒子がラベルに付着する場合は、ロールの外側がコーティングされています。どちらの面がコーティングされているかを確認するには、必要に応じて、内側の表面で上記のテストを繰り返します。</p> </li> <li>• 方法 2: リボンのスクラッチ テスト             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リボンをロールから少し引き出し、外側の面を用紙に当てます。</li> <li>2. リボンの内側を指の爪でこすります。</li> <li>3. リボンを用紙から外し、用紙のマークを確認します。</li> </ol> <p>用紙にリボンの跡が付いている場合は、外側がコーティングされています。</p> </li> </ul> |

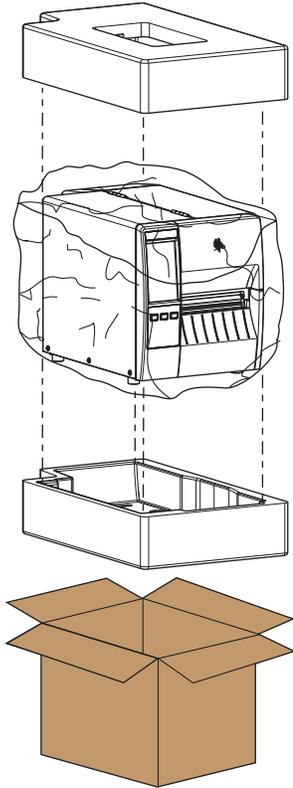
## 製品ボックスの内容物の点検

プリンタの製品ボックスに、設定に必要なすべての項目が含まれていることを確認します。

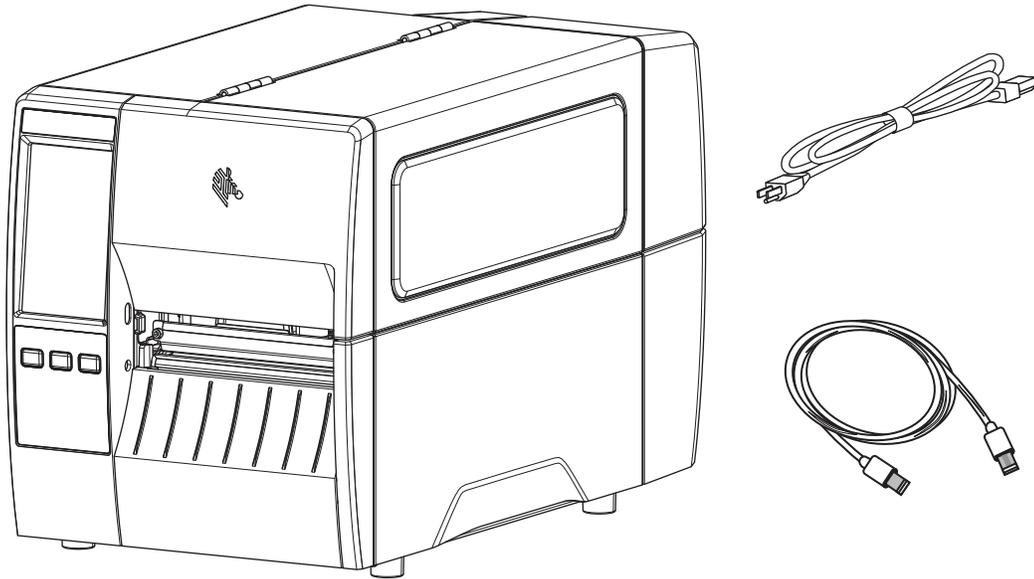


**重要:** Zebra Technologies では、機器の輸送中に発生した損傷に対しては責任を負わず、保証内での修理も行いません。

1. プリンタを箱から慎重に取り出します。



2. 製品ボックスにプリンタとともに以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



プリンタと一緒に注文されたオプションによっては、別の品目が同梱される場合があります。

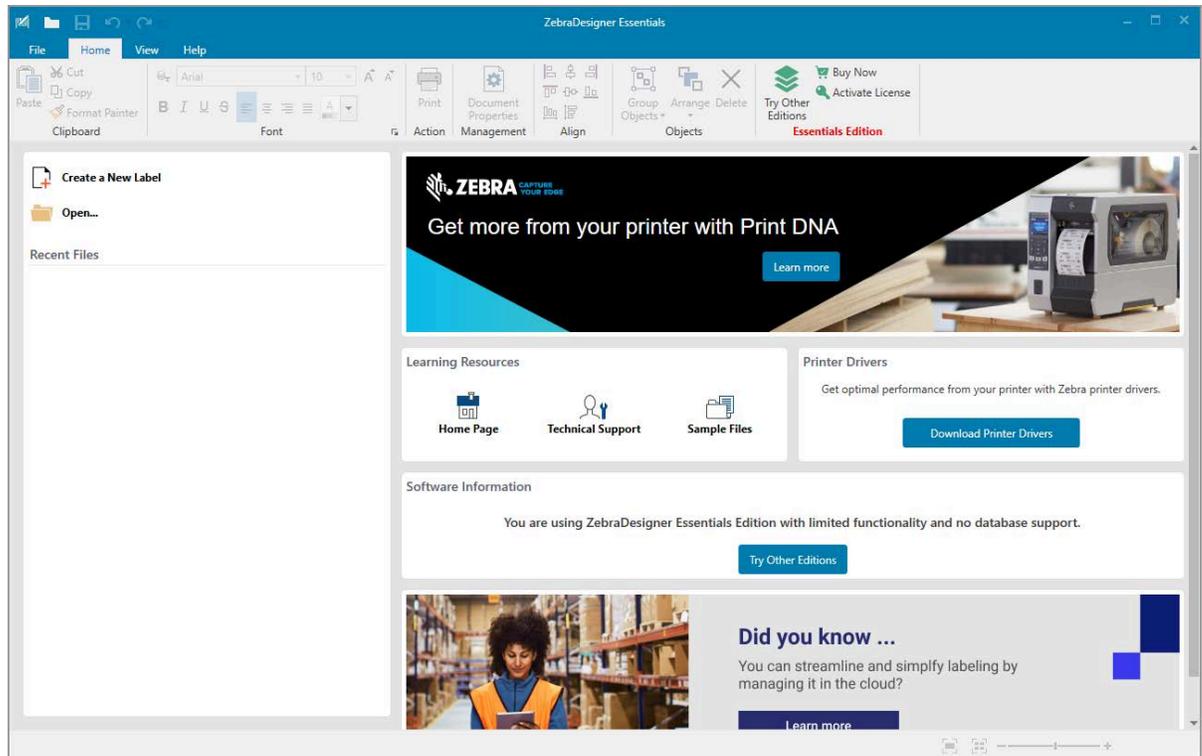
3. 何らかの品目が不足している場合は、最寄の正規 Zebra 販売代理店にお知らせください。
4. すぐにプリンタを開梱し、輸送中の損傷がないか調べます。
  - 梱包材はすべて保管しておきます。
  - すべての外装表面を調べ、損傷がないことを確認します。
  - 用紙アクセス用ドアを上げ、用紙セット部のコンポーネントに損傷がないかどうか点検します。
5. 点検を行って、輸送中に発生した損傷が見つかった場合:
  - ただちに運送会社に通知し、損害報告を提出します。
  - 運送会社の調査に備えて、梱包材料はすべて保管しておきます。
  - 最寄りの正規 Zebra 販売代理店に通知します。
6. お買い上げのプリンタには、用紙アクセス用ドアの透明なウィンドウを覆うプラスチックフィルムなど、輸送時用の保護材がいくつか付いています。プリンタを操作する前に、これらの保護材を取り外してください。

## ラベルデザインソフトウェアのインストール

ご使用のプリンタに対応するラベルフォーマットの作成に使用するソフトウェアを選択してインストールします。

オプションの1つは ZebraDesigner です。このソフトウェアは [zebra.com/zebradesigner](http://zebra.com/zebradesigner) からダウンロードできます。ZebraDesigner Essentials を無料で使用することもできますが、より堅牢なツールセットである ZebraDesigner Professional を購入することもできます。

図 3 ZebraDesigner Essentials 画面の例



## プリンタをデバイスに接続

プリンタをセットアップしたら、プリンタをデバイス(コンピュータ、電話、タブレットなど)に接続する準備ができています。

### 携帯電話またはタブレットへの接続

ご使用のデバイスに無料の Zebra プリンタ セットアップ ユーティリティ アプリをダウンロードします。

- [Android デバイス](#)
- [Apple デバイス](#)

アプリケーションは、次のタイプの接続をサポートしています。

- Bluetooth Low Energy (Bluetooth LE)
- 有線/イーサネット
- 無線
- USB On-The-Go

これらのプリンタセットアップユーティリティのユーザーガイドについては、[zebra.com/setup](https://zebra.com/setup) にアクセスしてください。

### ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続

Microsoft Windows ベースのコンピュータでプリンタを使用するには、最初に正しいドライバをインストールする必要があります。



**重要:** プリンタをコンピュータに接続するには、使用可能な接続のどれでも使用できます。ただし、指示があるまでは、コンピュータからプリンタにケーブルを接続しないでください。接続のタイミングを間違えると、正しいプリンタドライバがインストールされません。誤ったドライバのインストールから回復するには、[最初にプリンタドライバをインストールしなかった場合の対処方法](#) (30ページ) を参照してください。

### ドライバのインストール

次の手順に従い、正しいドライバをインストールします。

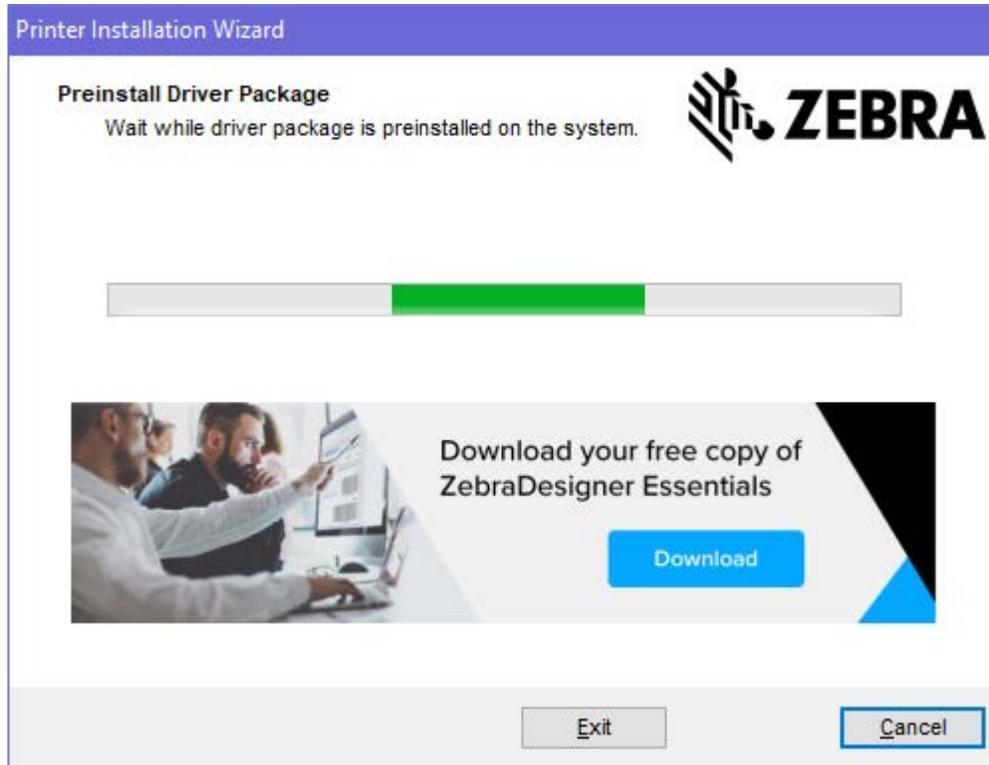
1. [zebra.com/drivers](https://zebra.com/drivers) に移動します。
2. [プリンタ] をクリックします。
3. プリンタ モデルを選択します。
4. プリンタの製品ページで、[ドライバ] をクリックします。
5. Windows 用の適切なドライバをダウンロードします。

ドライバの実行可能ファイル(zd86423827-certified.exe など) が、[ダウンロード] フォルダに追加されます。

## プリンタのセットアップ

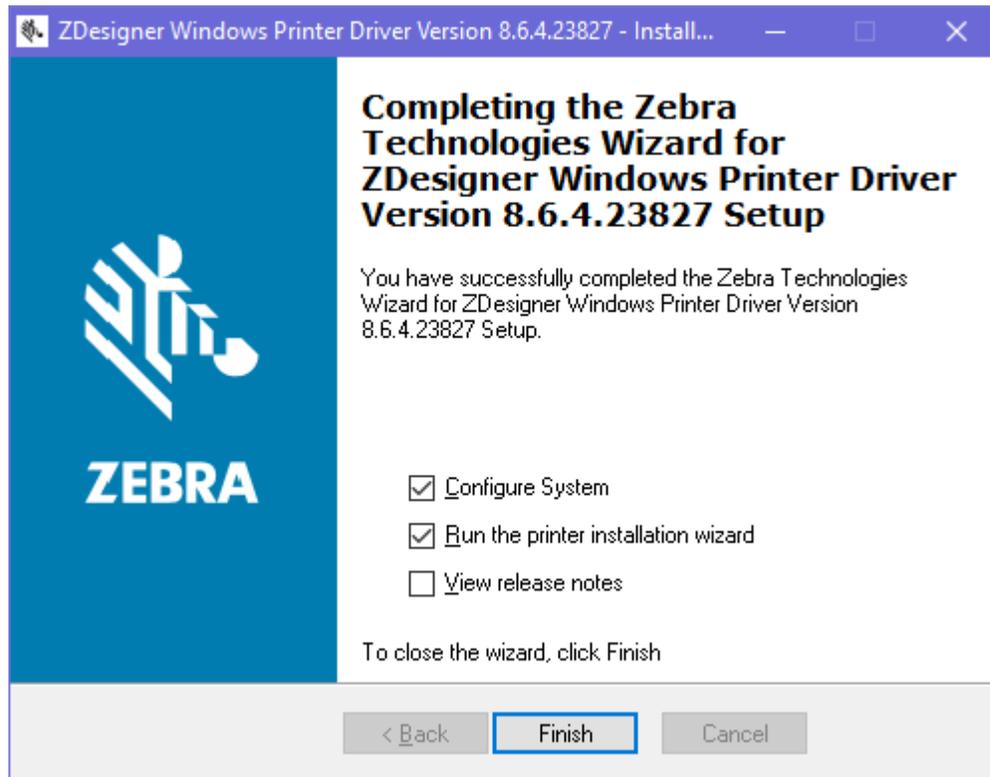
6. その実行可能ファイルを実行し、プロンプトに従います。

セットアップが完了したら、システムにすべてのドライバを追加するか ([システムの設定]、特定のプリンタを追加/設定するかを選択できます (プリンタのインストールウィザードの実行 (21ページ) を参照)。



7. [システムの設定] を選択し、[完了] をクリックします。

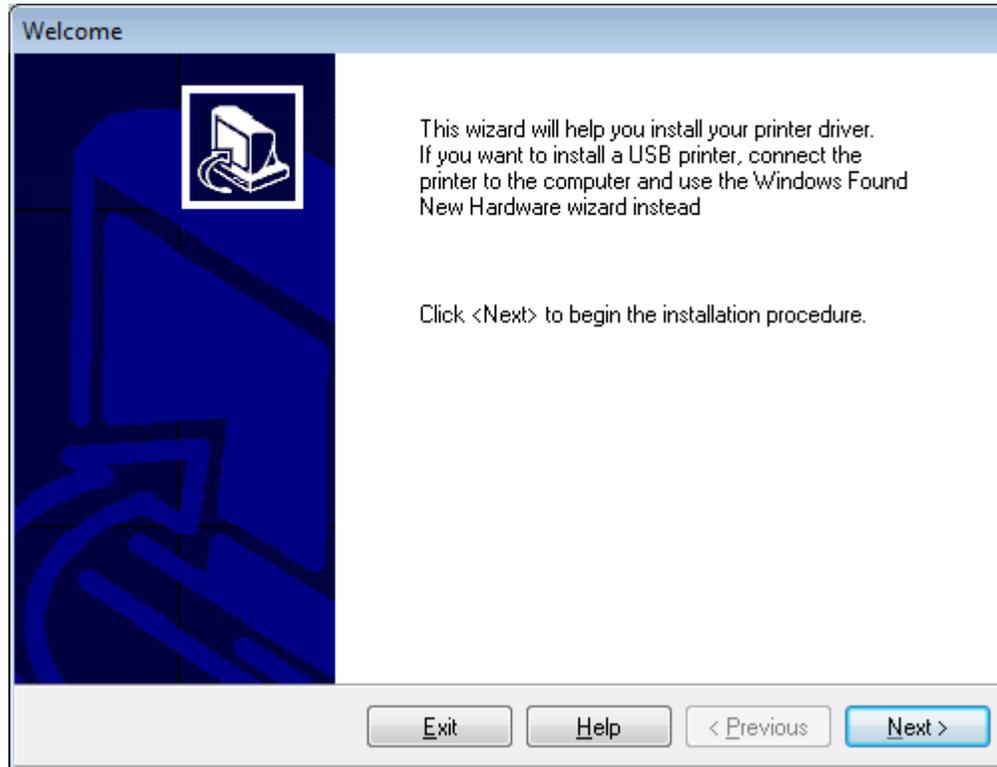
プリンタのインストールウィザードによってドライバがインストールされます。



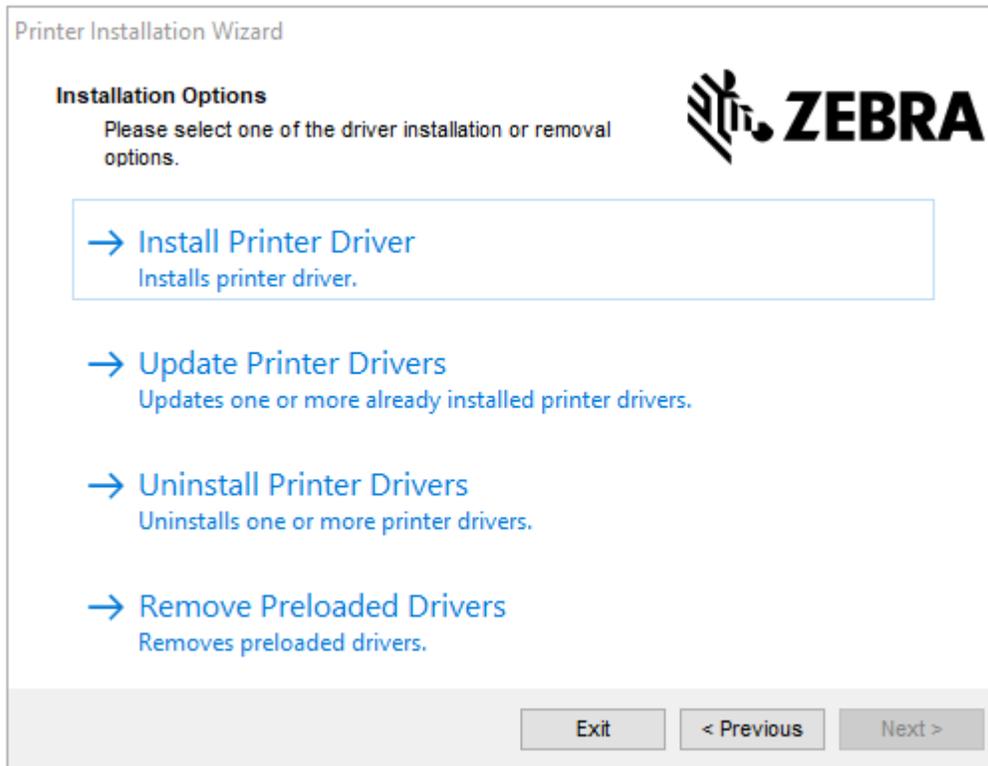
## プリンタのインストール ウィザードの実行

1. ドライバインストーラの最後の画面で、**[Run the Printer Installation Wizard] (プリンタのインストール ウィザードを実行する)** チェックボックスをオンのままにして、**[Finish] (完了)** をクリックします。

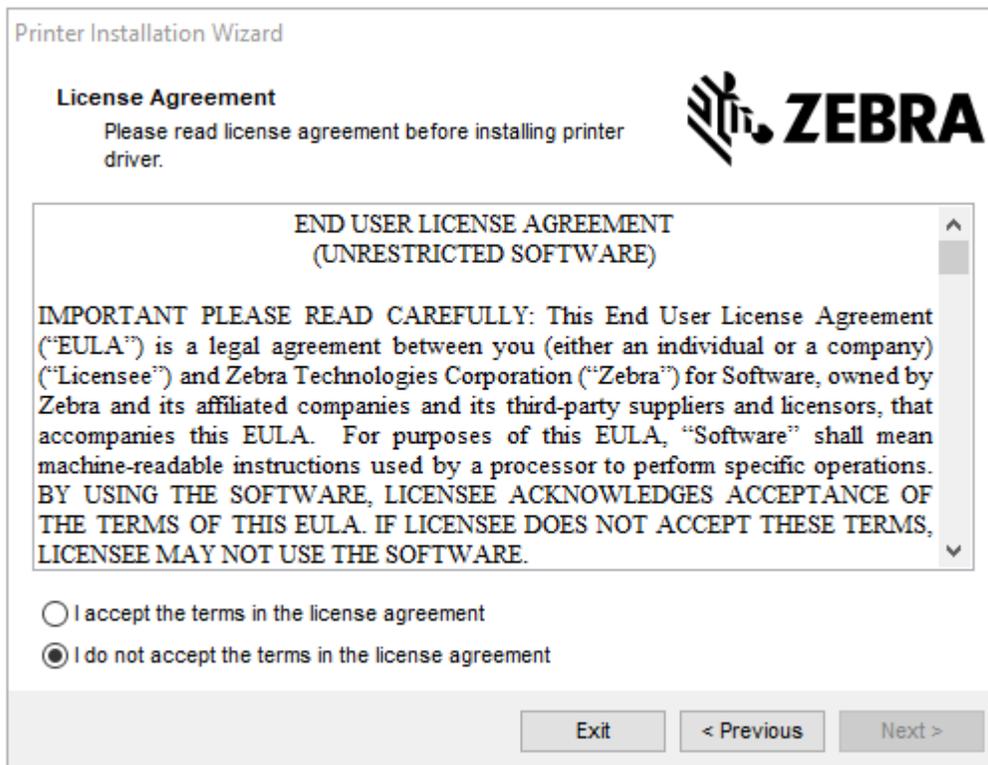
プリンタのインストール ウィザードが表示されます。



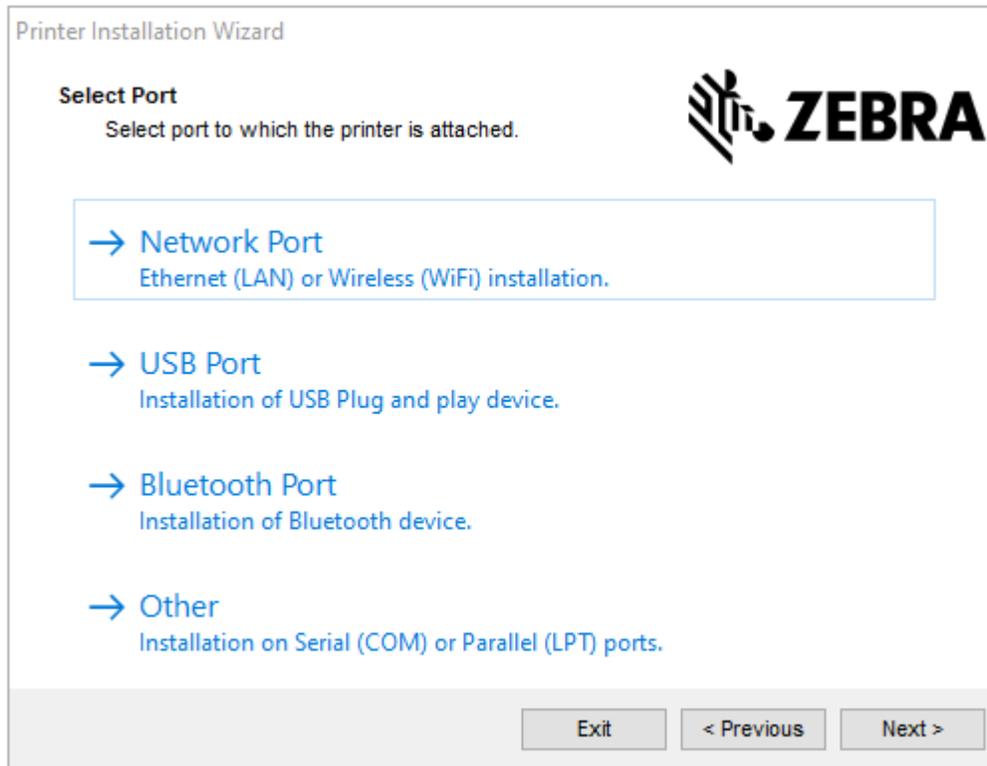
2. [Next] (次へ) をクリックします。



3. [Install Printer Driver] (プリンタ ドライバのインストール) をクリックします。  
使用許諾契約が表示されます。



4. 使用許諾契約の条項を読んで同意したら、[Next] (次へ) をクリックします。



5. プリンタに設定する通信オプションを選択します。

- ネットワークポート - Ethernet (LAN) またはワイヤレス (Wi-Fi) ネットワーク接続を使用してプリンタをインストールする場合に使用します。ドライバがローカルネットワークをスキャンしてデバイスを検出するまで待機して、画面の指示に従います。必要に応じて、[プリンタのイーサネットポートからネットワークに接続する](#) (27ページ) または[無線ネットワークへのプリンタ接続](#) (29ページ) の指示に従って値を設定します。
- USBポート - USBケーブル接続のプリンタをインストールする場合に使用します。プリンタをコンピュータに接続します ([プリンタのUSBポートを使用したコンピュータ接続](#) (24ページ) を参照)。プリンタがすでに接続されていて電源が入っている場合は、USBケーブルを取り外してから、もう一度インストールする必要があります。ドライバは、接続されているプリンタのモデルを自動的に検索します。
- Bluetoothポート - Bluetooth接続でプリンタをインストールする場合に使用します。このプリンタには適用されません。
- その他 - パラレル (LPT) やシリアル (COM) などの別の種類のケーブルでインストールする場合に使用します。これ以外の設定は不要です。
- その他 - シリアル (COM) などの別の種類のケーブルでインストールする場合に使用します。これ以外の設定は不要です。

6. プロンプトが表示された場合は、プリンタのモデルと解像度を選択します。

モデルと解像度はプリンタの部品番号ステッカーに記載されています。このステッカーは通常、用紙ハンガーの下に貼られています。情報の形式は以下のとおりです。

Part Number: XXXXXxY - xxxxxxxxx

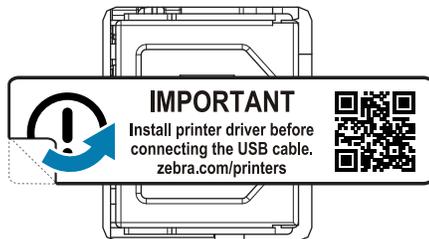
ここで、

XXXXX = プリンタ モデル、Y = プリンタ解像度 (2 = 203dpi、3 = 300dpi、6 = 600dpi)。

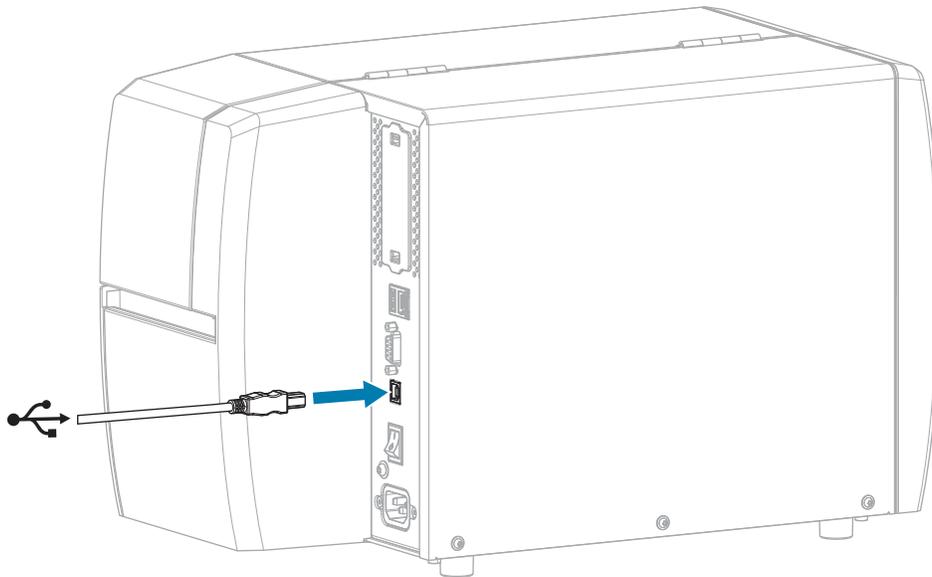
たとえば、部品番号 ZT411x3 - xxxxxxxxx の場合、ZT411 はプリンタが ZT411 モデルであることを示し、3 は印字ヘッドの解像度が 300dpi であることを示します。

### プリンタの USB ポートを使用したコンピュータ接続

1. ドライバをインストールしたら、USB ポートを覆っているラベルを外します。



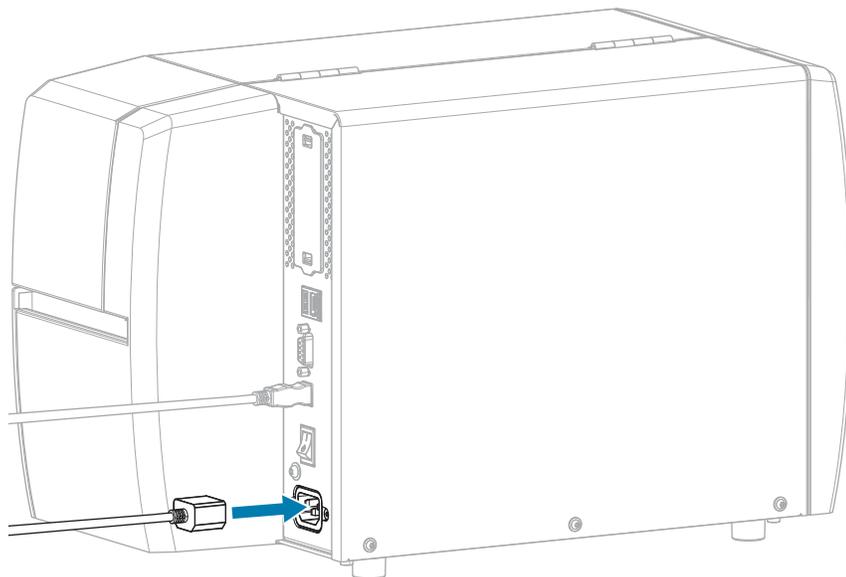
2. USB コードをプリンタの USB ポートに接続します。



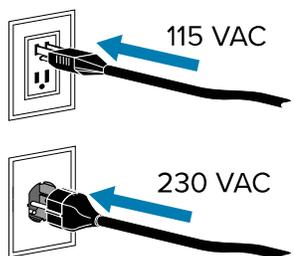
3. USB コードのもう一端をコンピュータに接続します。

## プリンタのセットアップ

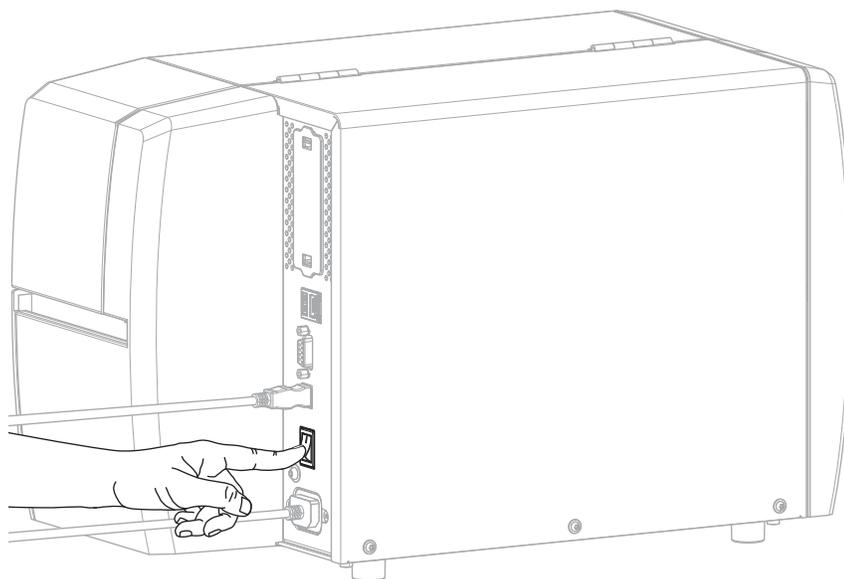
4. AC 電源コードをプリンタ背面の AC 電源コネクタに接続します。



5. AC 電源コードを適切な電源コンセントに差し込みます。



### 6. プリンタをオン (I) にします。



プリンタのブートアップ時に、ドライバがインストールされ、プリンタが認識されます。

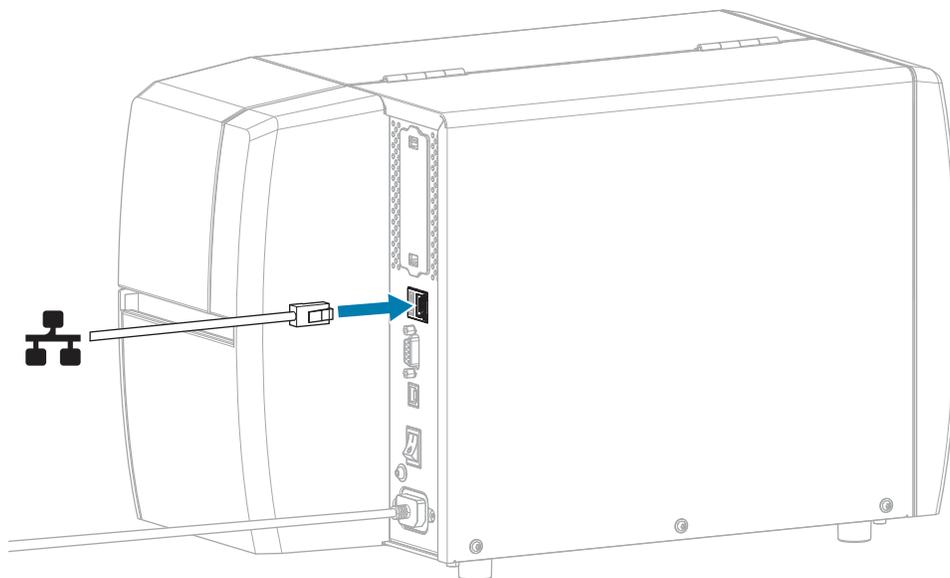
最初にドライバをインストールしなかった場合は、[最初にプリンタドライバをインストールしなかった場合の対処方法](#)（30ページ）を参照してください。

## プリンタのイーサネットポートからネットワークに接続する

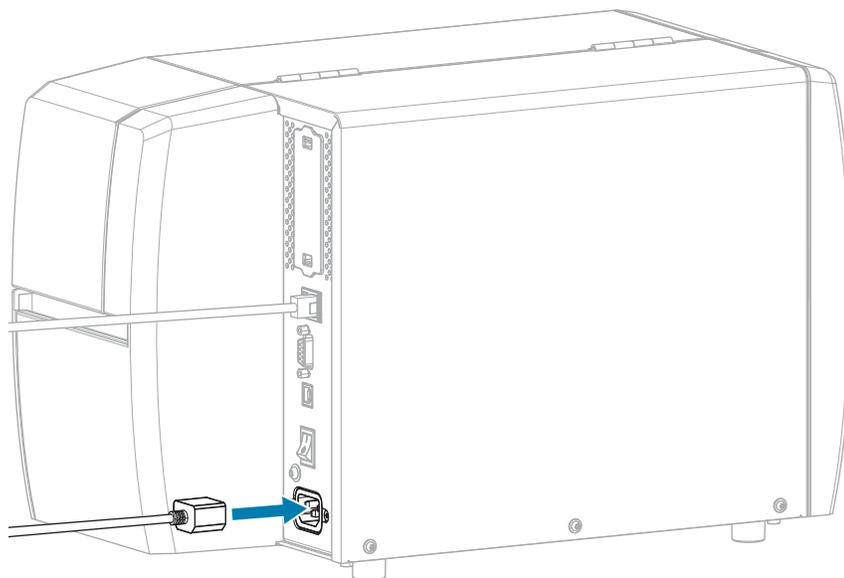
有線プリントサーバー (イーサネット) 接続を使用するには、ローカルエリアネットワーク (VLAN) と通信するようにプリンタを設定する必要があります。

Zebra プリントサーバーの詳細については、『ZebraNet 有線プリントサーバーおよびワイヤレスプリントサーバーユーザーガイド』を参照してください。このガイドの最新版は、[zebra.com/manuals](http://zebra.com/manuals) でダウンロードできます。

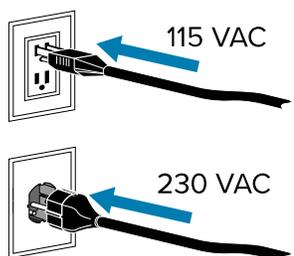
1. ドライバをインストールしたら ([ドライバのインストール](#) (18ページ) を参照)、ネットワークに接続するイーサネットケーブルに、プリンタを接続します。



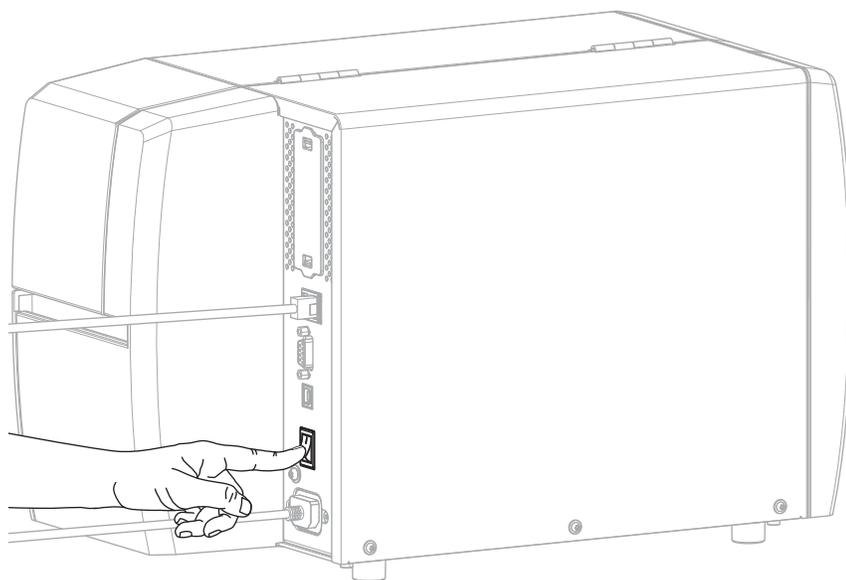
2. AC 電源コードをプリンタ背面の AC 電源コネクタに接続します。



3. AC 電源コードを適切な電源コンセントに差し込みます。



4. プリンタをオン (I) にします。



プリンタがネットワークとの通信を試行します。成功した場合は、LAN のゲートウェイとサブネットの値と、IP アドレスが取得されます。

## プリンタのセットアップ

5. ホーム画面で、[プリンタ情報] タブをタッチします。ディスプレイをチェックして、プリンタに IP アドレスが割り当てられたかどうか確認します。

| プリンタの IP アドレス:                    | 操作  |
|-----------------------------------|---|
| 0.0.0.0<br>または<br>000,000,000,000 | ネットワーク ランプが消灯しているか、赤色に点灯していません(詳細については、 <a href="#">インジケータ ライト</a> (148ページ) を参照)。<br><br><b>a.</b> プリンタの背面にあるイーサネット コネクタを確認します。点灯または点滅しているランプがない場合、イーサネット接続はアクティブではありません。コードの両端が正しく接続されていること、および接続しているネットワーク ポートがアクティブであることを確認します。この問題が解決すると、プリンタは自動的に接続されます。<br><br><b>b.</b> 必要に応じて、次のプリンタ設定を行い、静的 IP アドレスを設定し、ネットワークをリセットします。ご使用のネットワークの正しい値については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 IP プロトコル]</a> - 値を [すべて] から [確定] に変更します。</li><li>• <a href="#">[接続] &gt; [有線] &gt; [有線ゲートウェイ]</a> - LAN のゲートウェイ値に一致します。</li><li>• <a href="#">[接続] &gt; [有線] &gt; [有線サブネット]</a> - LAN のサブネット値に一致します。</li><li>• <a href="#">[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 IP アドレス]</a> - 一意の IP アドレスをプリンタに割り当てます。</li></ul> |
| その他の任意の値                          | 接続に成功しました。ネットワーク ランプは、ネットワークにより、緑色または黄色に点灯します(詳細については、 <a href="#">インジケータ ライト</a> (148ページ) を参照)。  |

6. ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、ネットワークをリセットします ([\[接続\] > \[ネットワーク\]](#) を参照)。

### 無線ネットワークへのプリンタ接続

プリンタのオプションのワイヤレス プリント サーバーを使用する場合は、ワイヤレス プリント サーバーを介して無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) と通信するようにプリンタを設定する必要があります。

Zebra プリント サーバーの詳細については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレス プリント サーバー ユーザー ガイド』を参照してください。このガイドの最新版は、[zebra.com/manuals](http://zebra.com/manuals) でダウンロードできます。

1. [ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続](#) (18ページ) の手順に従って、ドライバをインストールします。
2. 必要に応じて、ワイヤレス ルーターが使用する値と一致する ESSID 値を指定します。使用する ESSID 値については、ネットワーク管理者に確認してください。値を変更する方法については、[\[接続\] > \[ネットワーク\] > \[ESSID\]](#) を参照してください。

3. 必要な場合は、以下のプリンタ設定を行います。ご使用のネットワークの正しい値については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
  - [\[接続\] > \[WLAN\] > \[WLAN ゲートウェイ\]](#) - WLAN のゲートウェイ値に一致します。
  - [\[接続\] > \[WLAN\] > \[WLAN サブネット\]](#) - WLAN のサブネット値に一致します。
4. ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、ネットワークをリセットします ([\[接続\] > \[ネットワーク\]](#) を参照)。
5. それでもプリンタが接続されない場合は、次の追加設定を行って静的 IP アドレスを設定することを確認してから、ネットワークを再度リセットしてください。ご使用のネットワークの正しい値については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
  - [\[接続\] > \[WLAN\] > \[WLAN IP プロトコル\]](#) - 値を [すべて] から [確定] に変更します。
  - [\[接続\] > \[WLAN\] > \[WLAN IP アドレス\]](#) - 一意の IP アドレスをプリンタに割り当てます。

### 最初にプリンタ ドライバをインストールしなかった場合の対処方法

ドライバをインストールする前に Zebra プリンタを接続すると、そのプリンタは [不明なデバイス] として表示されます。

1. [ドライバのインストールと Windows ベースのコンピュータとの接続](#) (18ページ) の説明に従って、ドライバをダウンロードしてインストールします。
2. [Windows] メニューから [コントロール パネル] を開きます。
3. [\[デバイスとプリンタ\]](#) をクリックします。

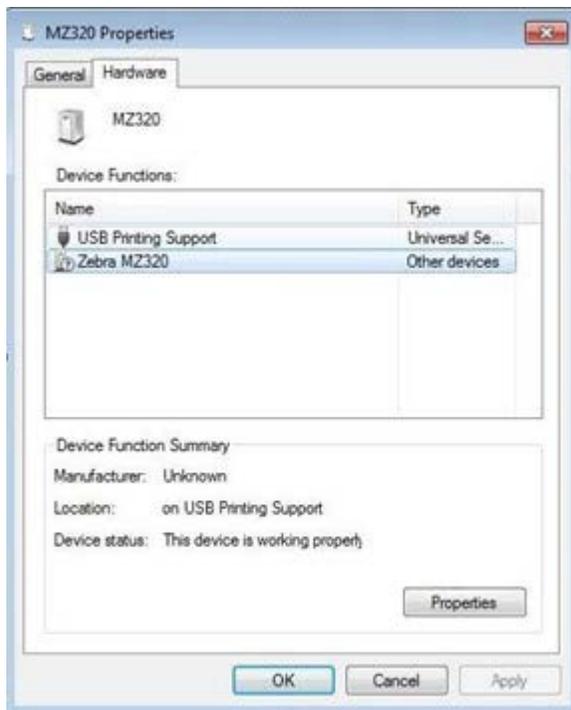
この例では、MZ320 が正しくインストールされていない Zebra プリンタです。



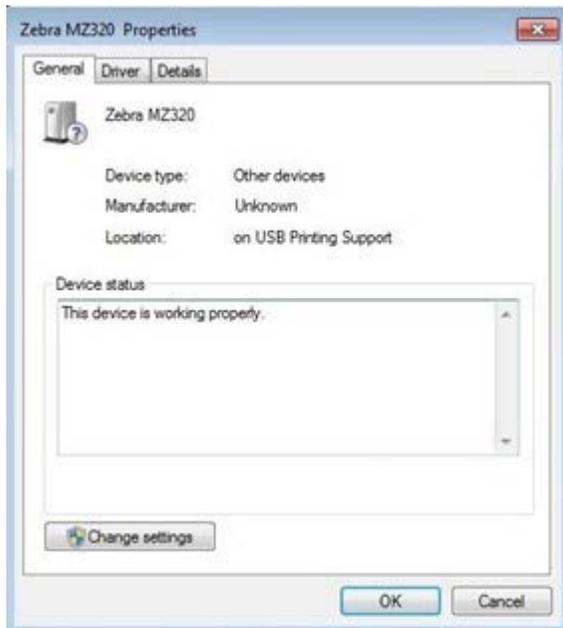
4. デバイスを右クリックして、[プロパティ] を選択します。  
デバイスのプロパティが表示されます。



5. [ハードウェア] タブをクリックします。



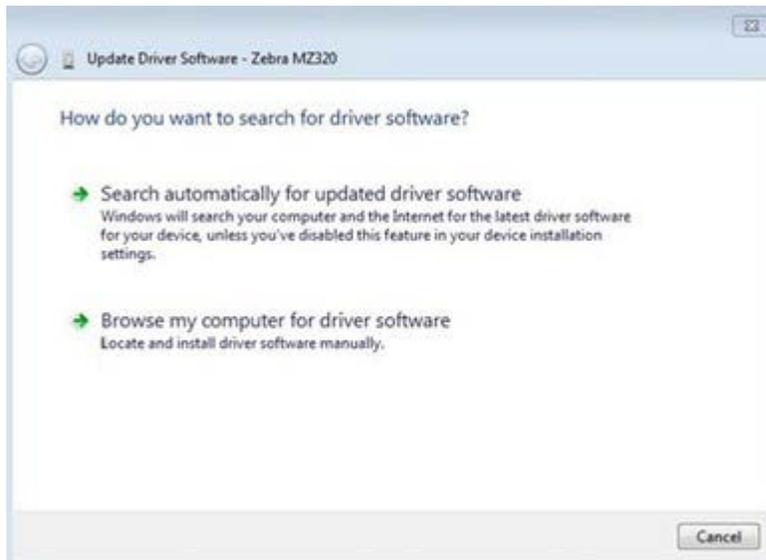
6. **[デバイスの機能]** リストで Zebra プリンタを選択し、**[プロパティ]** をクリックします。  
プロパティが表示されます。



7. **[設定の変更]** をクリックし、**[ドライバ]** タブをクリックします。



8. **[ドライバの更新]** をクリックします。



9. **[コンピュータを参照してドライバを検索]** をクリックします。  
10. **[参照...]** をクリックして、**[ダウンロード]** フォルダに移動します。  
11. **[OK]** をクリックして、フォルダを選択します。

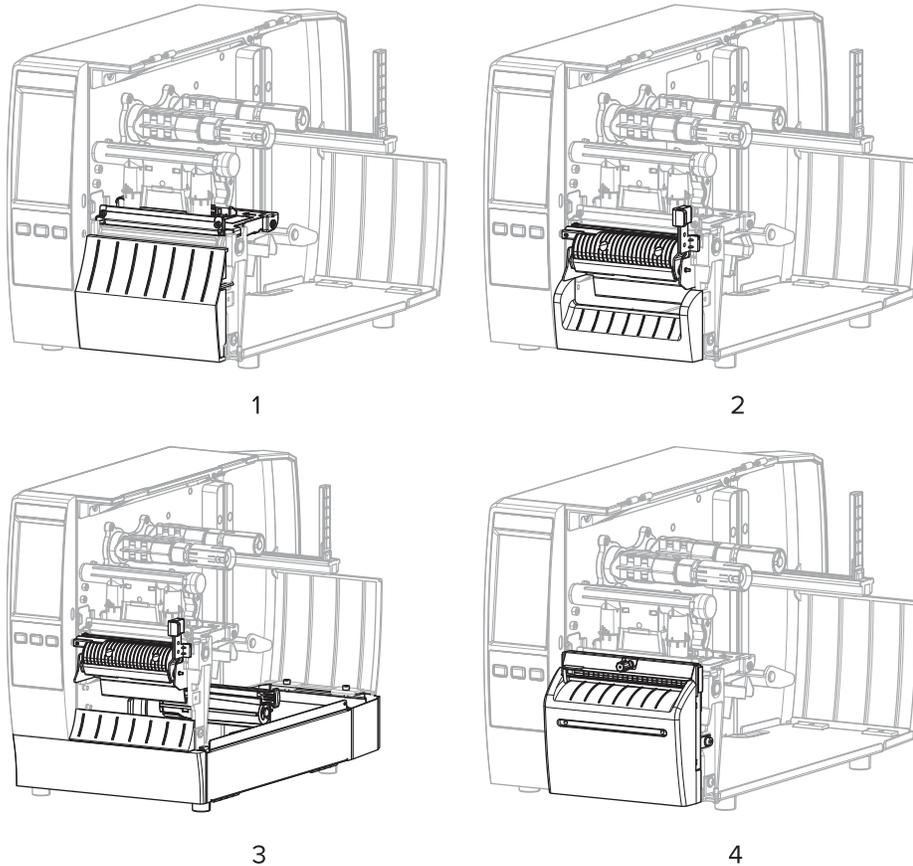


12. **[Next] (次へ)** をクリックします。  
デバイスが正しいドライバを使用するようにアップデートされます。

## 用紙処理方法の決定

用紙をセットする前に、使用している用紙と使用可能なプリンタ オプションに一致する用紙処理方式を決定します。

図4 プリンタ オプション



|   |                   |   |           |
|---|-------------------|---|-----------|
| 1 | 切り取り (標準)         | 2 | 剥離オプション   |
| 3 | ライナー巻き取り付き剥離オプション | 4 | カッターオプション |

表2 用紙処理方式およびプリンタ オプション

| 方法   | 必須のプリンタ オプション                      | 説明  |
|------|------------------------------------|---|
| 切り取り | 任意のプリンタ オプションおよびほとんどの用紙タイプで使用できます。 | プリンタは、ラベルフォーマットを受信すると、そのフォーマットを印刷します。プリンタのオペレータは、プリンタの停止時に印刷されたラベルを切り取ることができます。 |

表2 用紙処理方式およびプリンタ オプション (Continued)

| 方法  | 必須のプリンタオプション                                     | 説明   |
|---|--|--|
| 剥離  | 剥離またはライナー巻き取りオプション                               | プリンタは、印刷中に台紙からラベルを剥離し、ラベルが取り除かれるまで一時停止します。空の台紙はプリンタの前部から取り出すことができます。または、ライナー巻き取りスピンドルまたは巻き取りスピンドルに巻き取られます。 |
| カッター  | カッター オプション                                       | プリンタはラベルが1枚印刷されるたびに、ラベルとラベルの間を切断します。   |
| 遅延カット   | カッター オプション                                       | プリンタは遅延カット ZPL コマンド (~JK) を待機してから、最後に印刷されたラベルを切り離します。  |
| アプリケーション  | アプリケーション ポートの接続が必要です。このモードはラベルを貼り付ける機械とともに使用します。 | プリンタはアプリケーションから信号を受け取ると、印刷を行います。認定サービス技術者は、アプリケーション インタフェースの詳細についてサービスガイドを参照してください。                        |
|  <b>注:</b> [台紙なし剥離]、[台紙なし巻き取り]、[台紙なし切り取り]、[台紙なしカット]、[台紙なし遅延カット] は、後で使用するために予約されているオプションです。 |  |  |

1. ホーム画面で、[メニュー]>[印刷]>[イメージ調整]>[用紙処理]の順にタッチします。  
用紙の処理オプションが表示されます。



2. 使用する用紙および使用可能なプリンタ オプションに一致する方式を選択してください。
3. [ホーム] アイコンをタッチしてホーム画面に戻ります。

次もご参照ください  
[用紙](#)

## 用紙の装着

いずれのコレクション方式であっても、ロール用紙または折り畳み用紙の装着については、このセクションの説明に従ってください。



**重要:** 印字ヘッドが開いている近くで作業をする際、プリンタの電源は必ずしも切る必要はありませんが、Zebraでは、万一に備えて電源をオフにすることを推奨します。電源を切ると、ラベルフォーマットなどの一時設定はすべて失われるため、印刷を再開する前に再度読み込む必要があります。

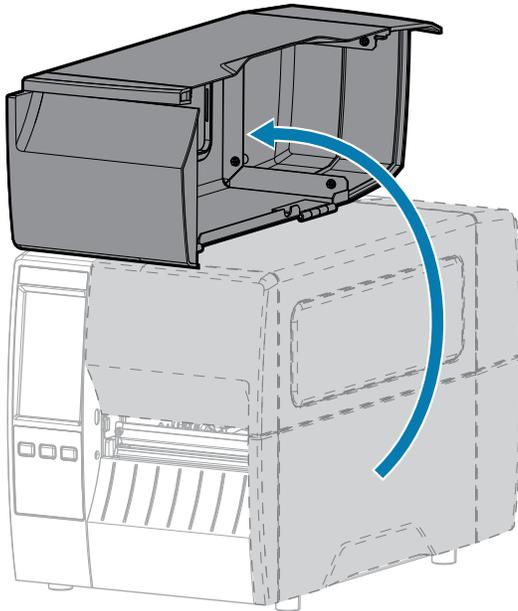


**注:** ロール用紙と折り畳み用紙の用紙経路は同じです。

## プリンタへの用紙の挿入

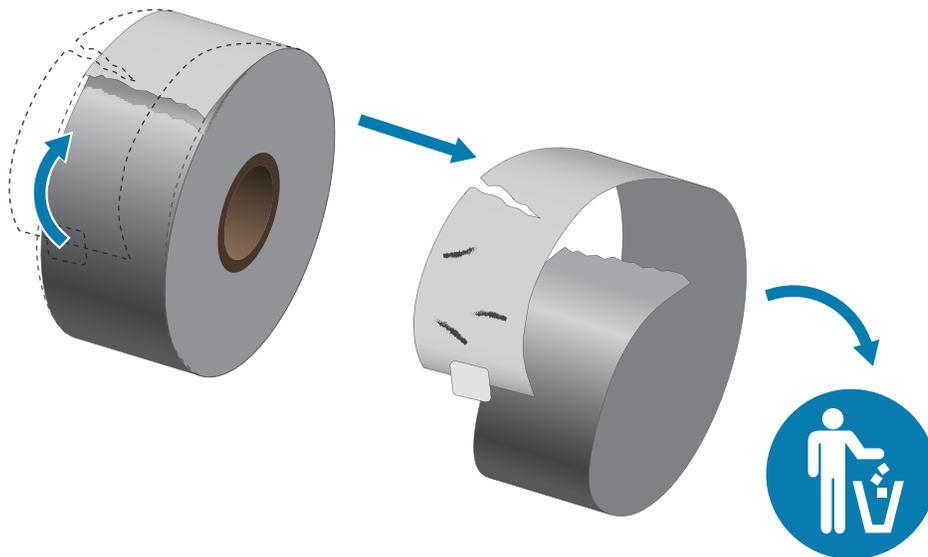
ロール用紙と折り畳み用紙の用紙装着経路は同じです。ロール紙は、このセクションのほとんどの画像に表示されています。

1. 用紙カバーを開けます。



## プリンタのセットアップ

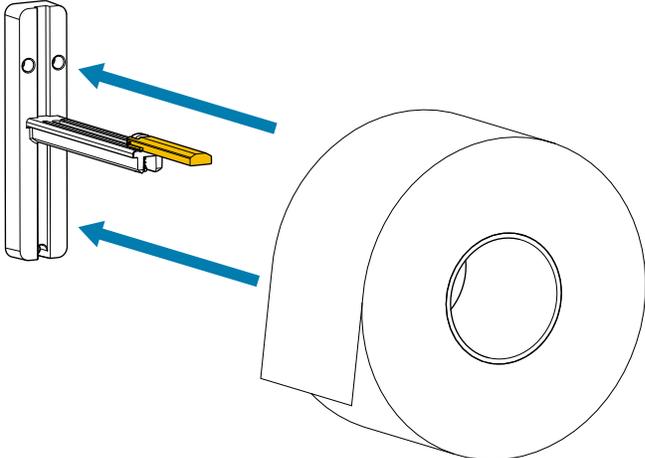
2. 破れや汚れのあるタグやラベル、接着剤やテープでくっついたタグやラベルをすべて取り除いて廃棄します。

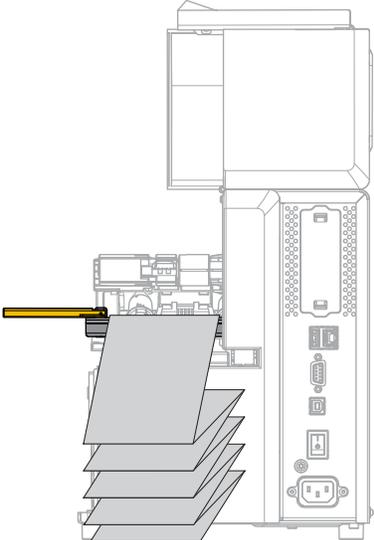
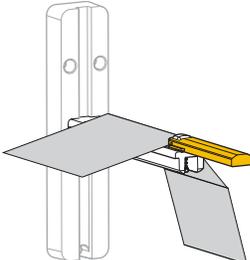


3. 用紙サプライガイドを引き出して押し下げます。

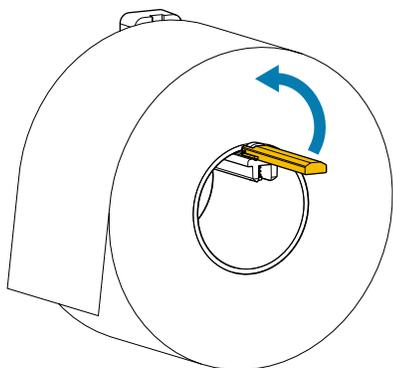


4. プリンタにロール用紙または折り畳み用紙を挿入します。

| 用紙のタイプ   | 取り扱い説明   |
|--|--|
| ロール用紙<br> | 用紙のロールを用紙サプライハンガーに装着します。ロールを一番奥まで押し込みます。<br> |

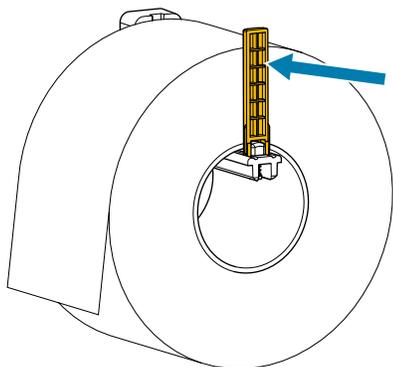
| 用紙のタイプ  | 取り扱い説明  |
|---|---|
| <p>折り畳み用紙</p>  | <p><b>a.</b> プリンタの背面から折り畳み用紙を挿入します。</p>  <p><b>b.</b> 用紙を用紙サプライハンガーに掛けます。</p>  |

5. 用紙サプライガイドを押し上げます。



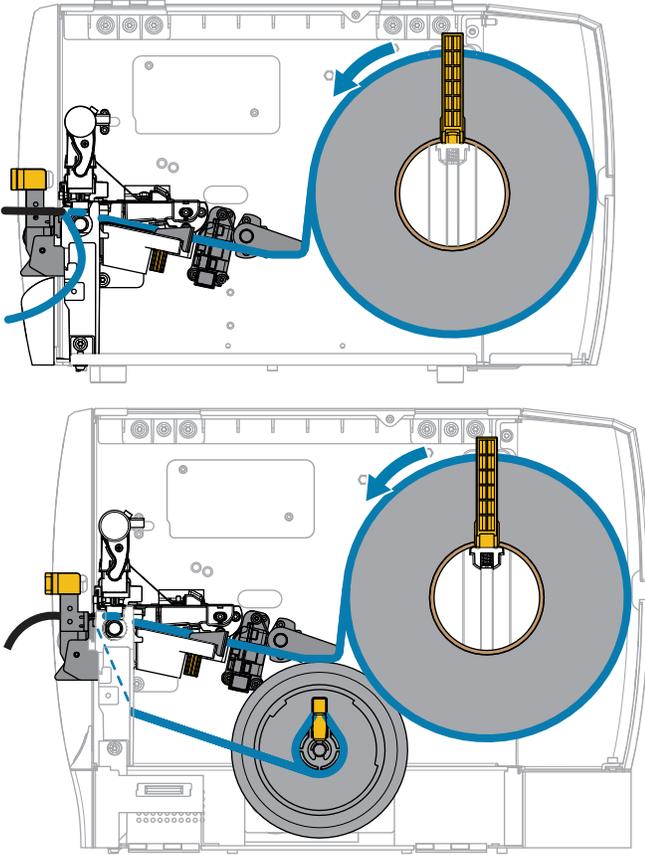
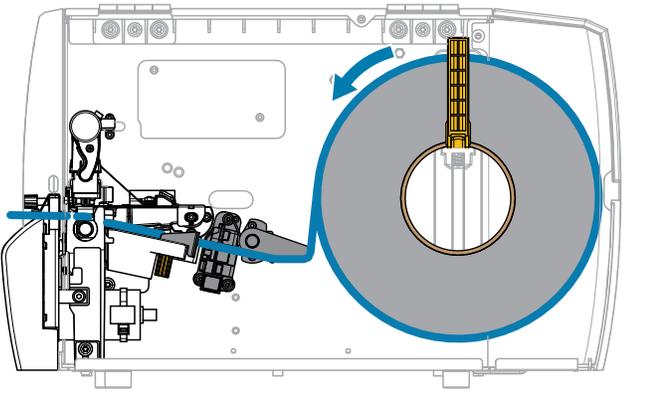
## プリンタのセットアップ

6. 用紙サプライガイドを、ロールの端に触れるくらいまで内側にスライドさせます。



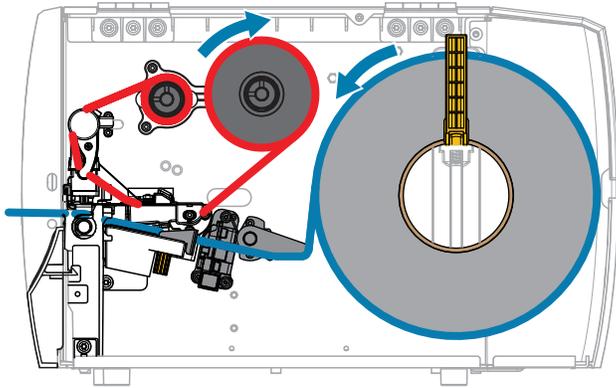
7. 使用するコレクション方式の選択(用紙処理方法の決定 (34ページ) を参照)。

| 使用する用紙  | 操作   |
|---|--|
| <p>切り取り</p> <p>The top diagram shows a paper roll with a blue arrow indicating the paper path. A red circle highlights the cutting mechanism. The bottom diagram shows the paper path leading to a collection bin, with a blue arrow indicating the direction of the paper.</p> | <p>切り取りモードの使用 (41ページ) に進みます。</p>               |
| <p>剥離 (ライナー巻き取り付き/なし)</p>   | <p>剥離モードの使用 (ライナー巻き取り付き/なし) (44ページ) に進みます。</p> |

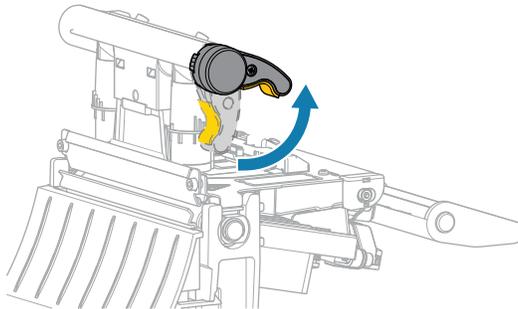
| 使用する用紙   | 操作  |
|--|---|
|    |   |
| <p data-bbox="337 1138 652 1171"><b>カッターまたは遅延カット</b></p>  | <p data-bbox="1149 1138 1448 1270">カッターモードまたは遅延カットモードの使用（50ページ）に進みます。</p> |

## 切り取りモードの使用

ロール用紙と折り畳み用紙の用紙装着経路は同じです。ロール紙は、このセクションの画像に表示されています。

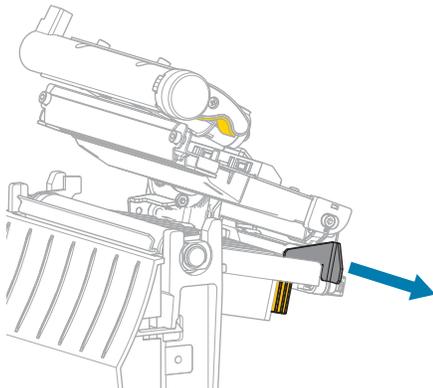


1. プリンタに用紙を挿入します。プリンタへの用紙の挿入 (36ページ) を参照してください。
2. 印字ヘッド アセンブリをラッチ解除します。



印字ヘッド レバーが上方向に回転すると、印字ヘッド アセンブリが上方向に旋回します。

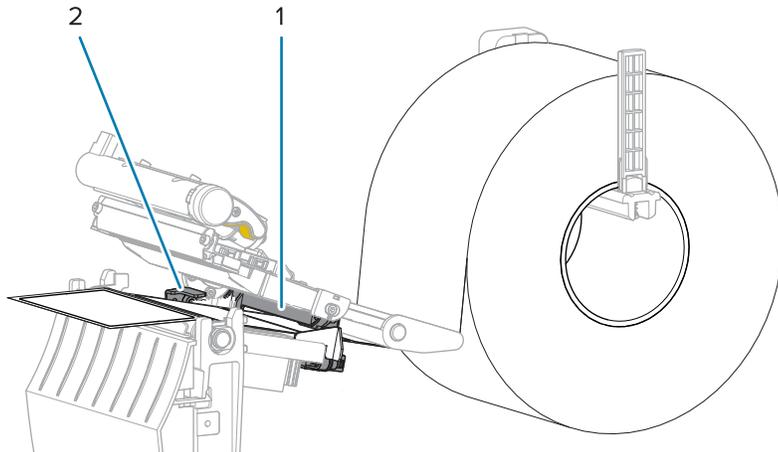
3. 外側の用紙ガイドを完全に引き出します。



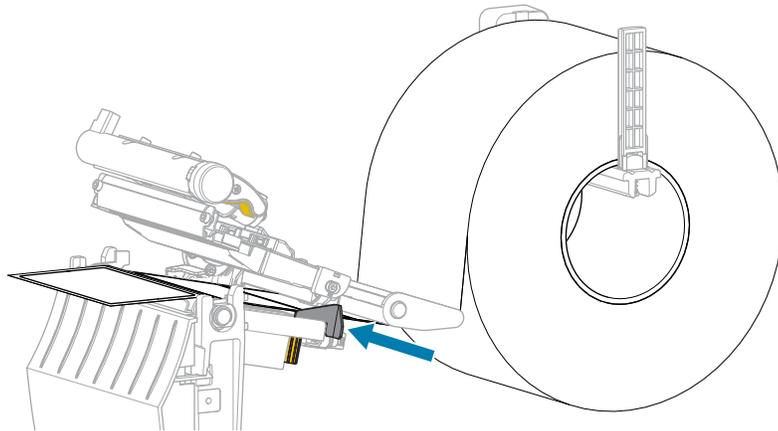
4. 図に示すように用紙をセットします。用紙が透過式用紙センサーのスロット内 (1) と内部用紙ガイドの下 (2) を通っていることを確認します。用紙は透過式センサーのスロットの奥に軽く触れる程度にします。



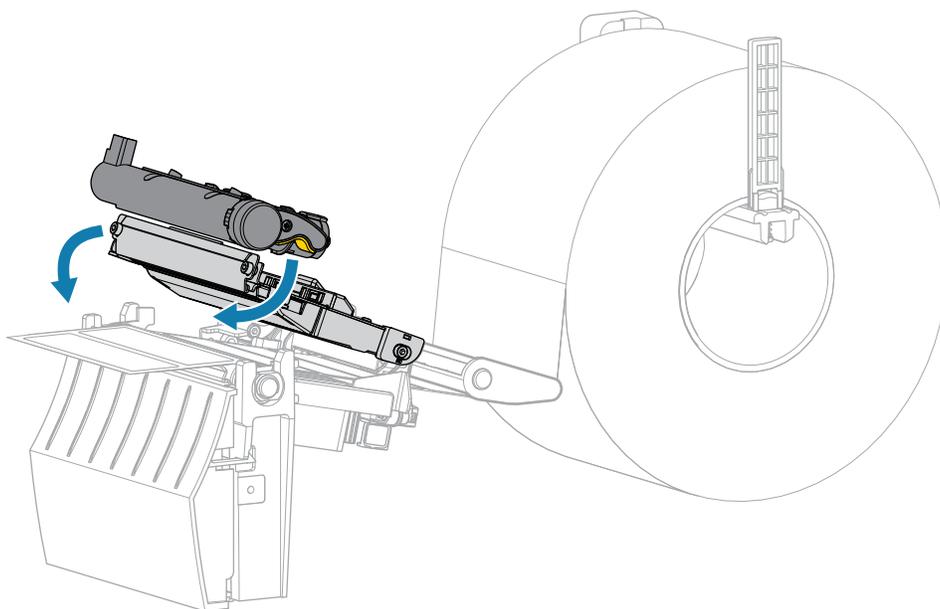
**注意—熱い表面：** 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。



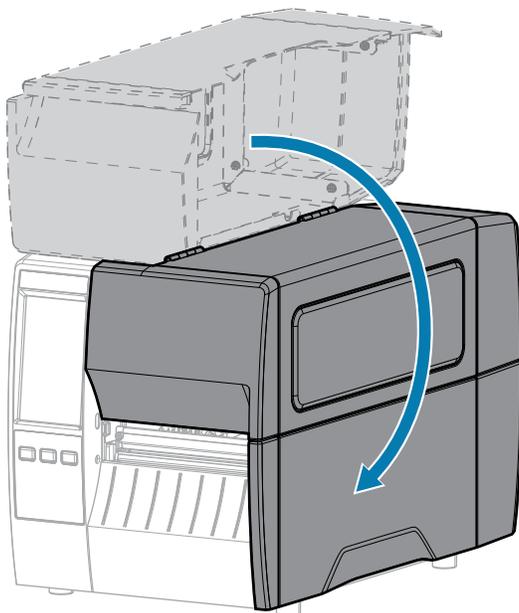
5. 外側の用紙ガイドをスライドさせ、用紙の端に軽く触れるようにします。



6. 印字ヘッドアセンブリを閉じます。



7. 用紙カバーを閉じます。



8. プリンタを切り取りモードに設定します ([印刷メニュー]>[ラベル位置]>[コレクション方式] を参照)。
9. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、**PAUSE (一時停止)** を押します。  
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル キャリブレードを実行するか、またはラベルをフィードします。
10. 最適な結果を得るには、プリンタをキャリブレードします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレード (111ページ) を参照してください。
11. **FEED (フィード)** キーと **CANCEL (キャンセル)** キーの両方を 2 秒間押したままにして、プリンタが設定ラベルを印刷できることを確認します。

## 剥離モードの使用 (ライナー巻き取り付き/なし)

剥離オプションとライナー巻き取りオプションの両方で、用紙装着経路の開始は同じです。剥離オプションは、両方に適用されるグラフィックに示されています。

図5 剥離オプション

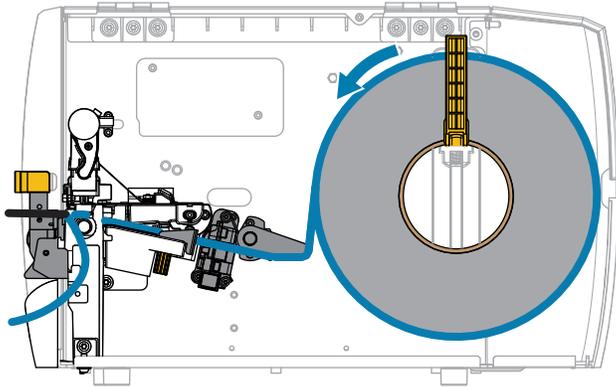
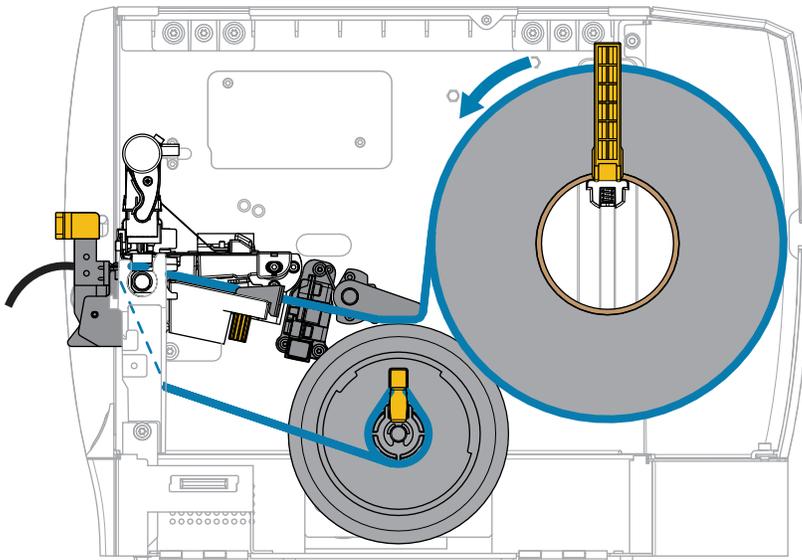
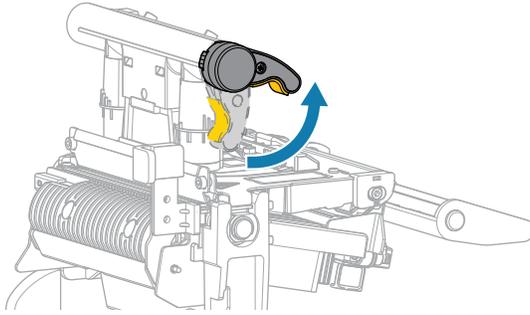


図6 ライナー巻き取りオプション



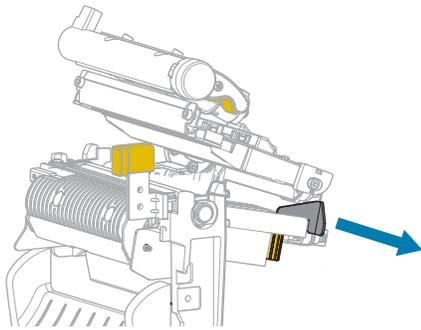
1. プリンタに用紙を挿入します。プリンタへの用紙の挿入 (36ページ) を参照してください。

2. 印字ヘッド アセンブリをラッチ解除します。



印字ヘッド レバーが上方向に回転すると、印字ヘッド アセンブリが上方向に旋回します。

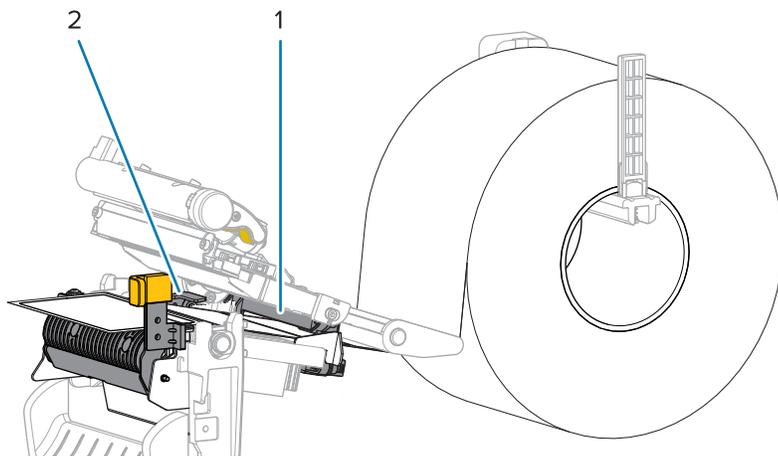
3. 外側の用紙ガイドを完全に引き出します。



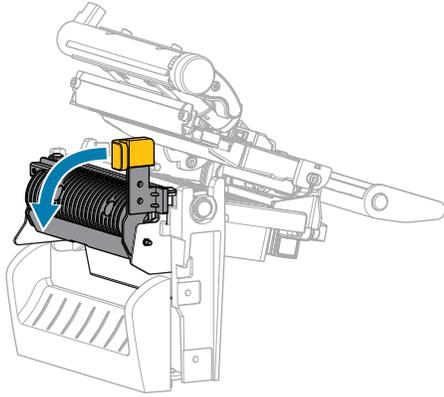
4. 図に示すように用紙をセットします。用紙が透過式用紙センサーのスロット内(1)と内部用紙ガイドの下(2)を通っていることを確認します。用紙は透過式センサーのスロットの奥に軽く触れる程度にします。



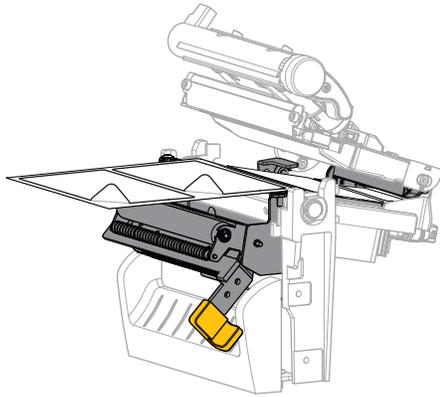
**注意—熱い表面：** 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。



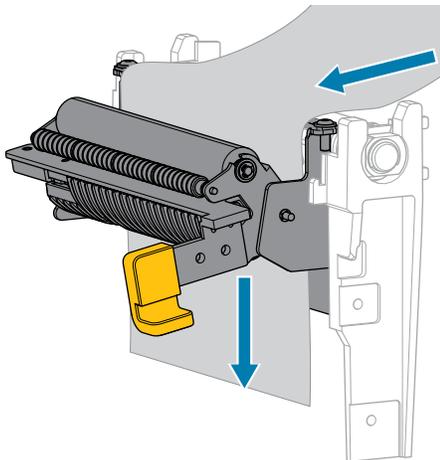
5. 剥離機構解除レバーを押し下げ、剥離アセンブリを開きます。



6. プリンタから用紙を約 500mm (18 インチ) 引き出します。この露出した部分からラベルを剥がして廃棄し、ライナーだけを残します。



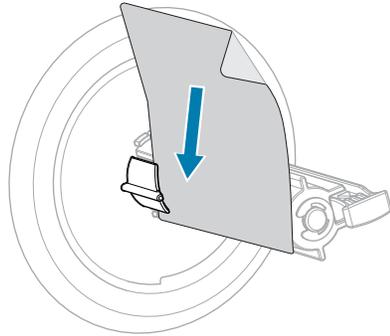
7. 剥離アセンブリの後ろにライナーをフィードします。ライナーの端がプリンタの外側に出ていることを確認します。



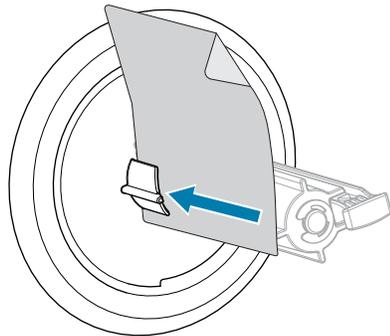
## プリンタのセットアップ

8. ライナー巻き取り付きで剥離モードを使用する場合のみ、この手順を実行します。ご使用のプリンタにライナー巻き取りオプションがインストールされている必要があります。ライナー巻き取りを使用していない場合は、この手順を省略します。

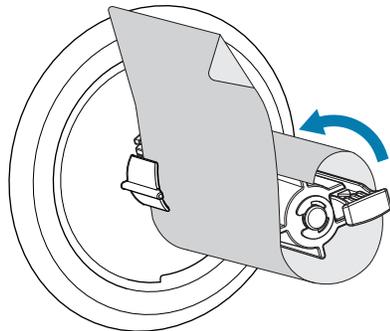
a) ライナーをライナー巻き取りスピンドルのスロットに通します。



b) ライナーを、ライナー巻き取りスピンドルアセンブリのバックプレートに触れるまで押し込みます。



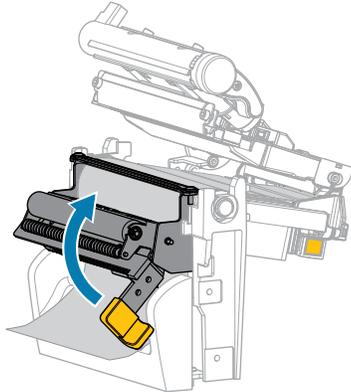
c) ライナーをライナー巻き取りスピンドルに巻き付けてからスピンドルを逆時計回りに回して、ライナーをピンと張ります。



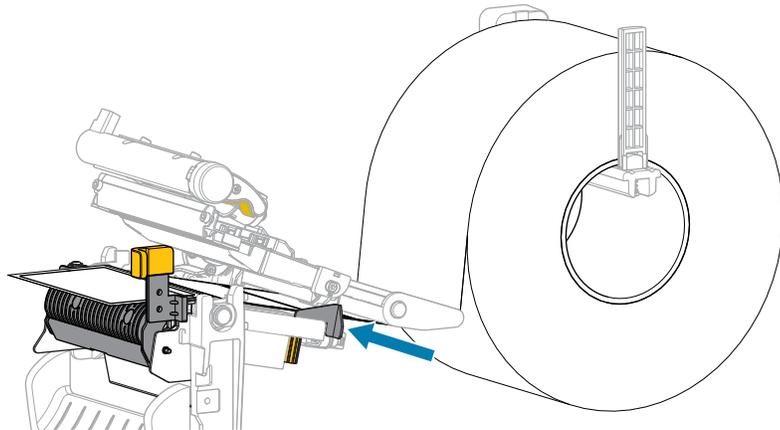
9. 剥離機構解除レバーを使用して、剥離アセンブリを閉じます。



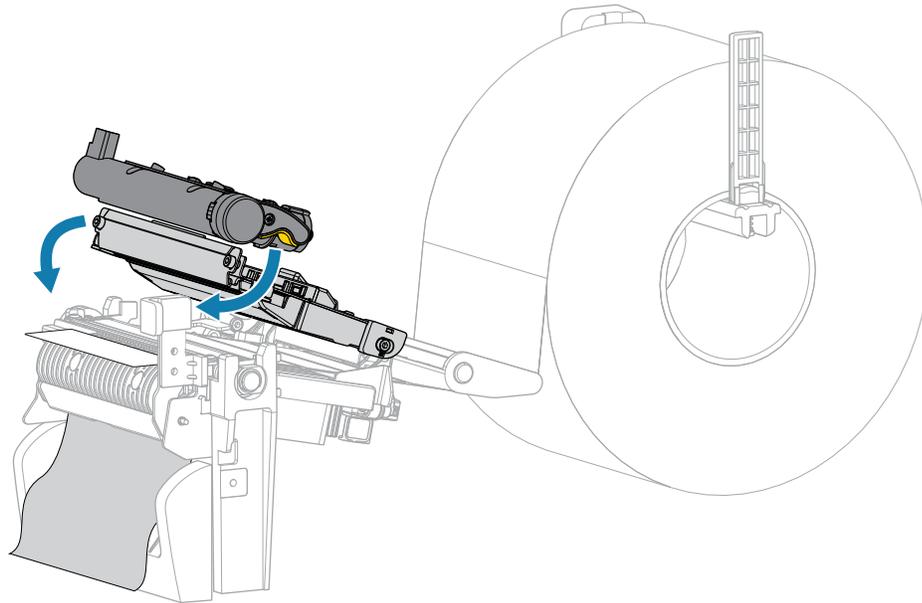
**注意：**剥離アセンブリを閉じるには、剥離機構解除レバーを使用し、右手で操作してください。閉じる際、絶対に左手を添えないでください。剥離ローラーまたはアセンブリの上端に指がはさまれる可能性があります。



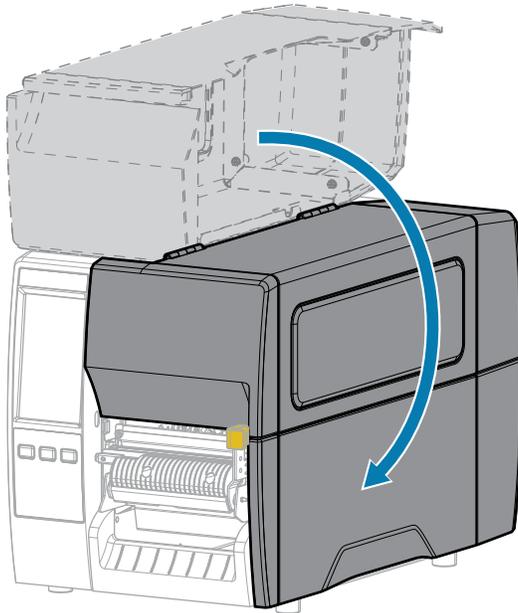
10. 外側の用紙ガイドをスライドさせ、用紙の端に軽く触れるようにします。



11. 印字ヘッドアセンブリを閉じます。

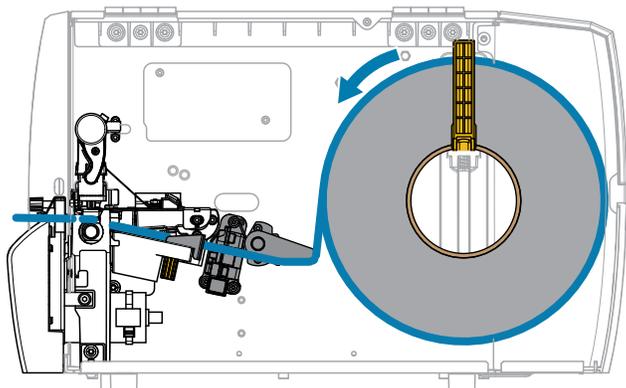


12. 用紙カバーを閉じます。

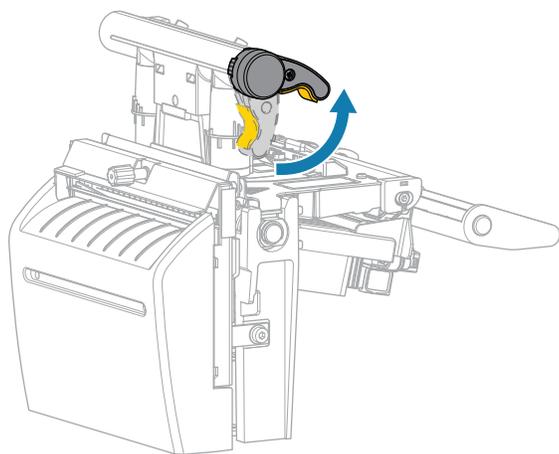


13. プリンタを剥離モードに設定します ([印刷メニュー]>[ラベル位置]>[コレクション方式] を参照)。
14. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、**PAUSE (一時停止)** を押します。  
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル キャリブレードを実行するか、またはラベルをフィードします。
15. 最適な結果を得るには、プリンタをキャリブレードします。 [リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレード](#) (111ページ) を参照してください。
16. **FEED (フィード)** キーと **CANCEL (キャンセル)** キーの両方を2秒間押したままにして、プリンタが設定ラベルを印刷できることを確認します。

## カッターモードまたは遅延カットモードの使用

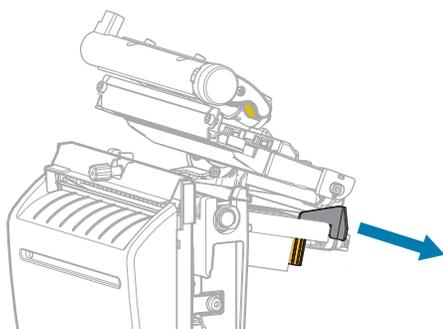


1. 印字ヘッドアセンブリをラッチ解除します。



印字ヘッドレバーが上方方向に回転すると、印字ヘッドアセンブリが上方方向に旋回します。

2. 外側の用紙ガイドを完全に引き出します。



## プリンタのセットアップ

3. 図に示すように用紙をセットします。

a) 用紙が透過式用紙センサーのスロット内 (1) と内部用紙ガイドの下 (2) を通っていることを確認します。用紙は透過式センサーのスロットの奥に軽く触れる程度にします。

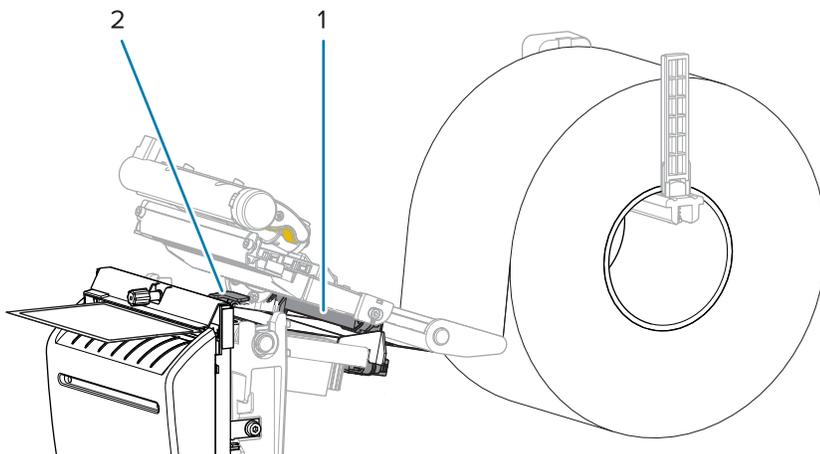


**注意—熱い表面：** 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

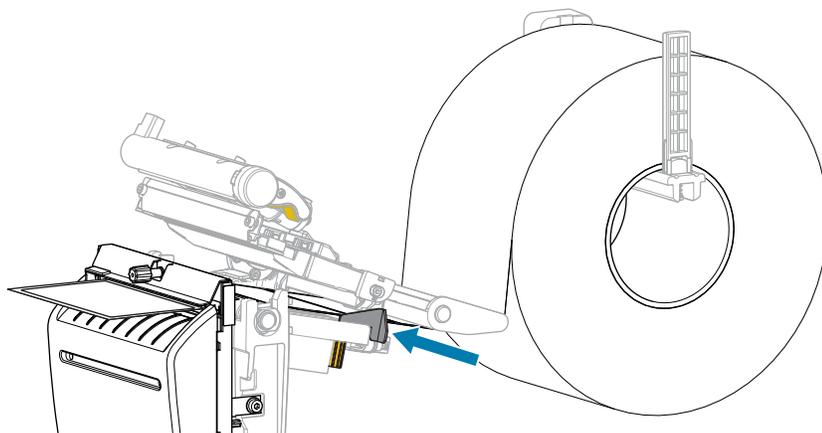
b) カッターを通して用紙をフィードします。



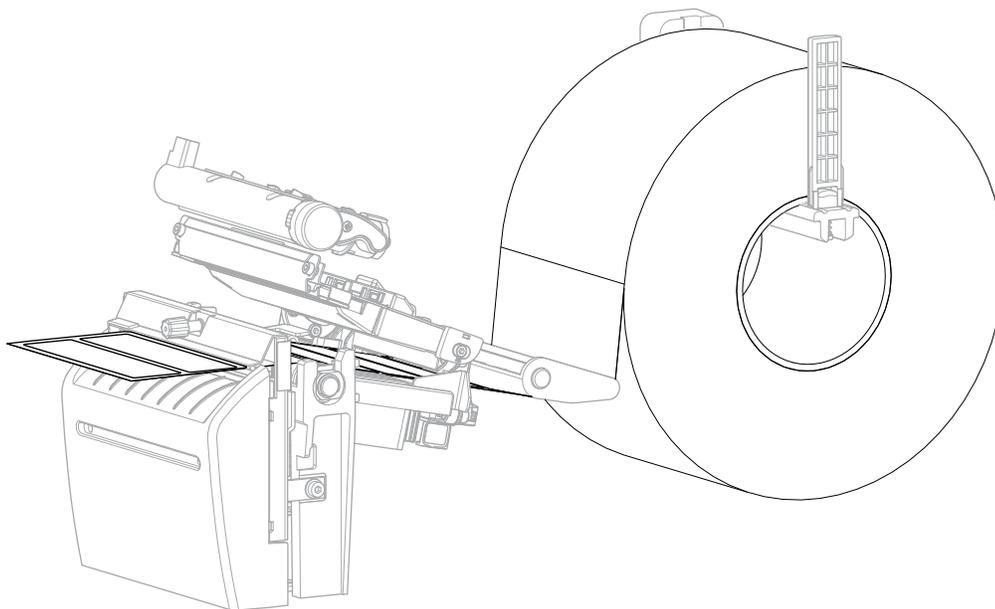
**注意：** カッターの刃は鋭利です。指で刃に触れたり、こすったりしないでください。



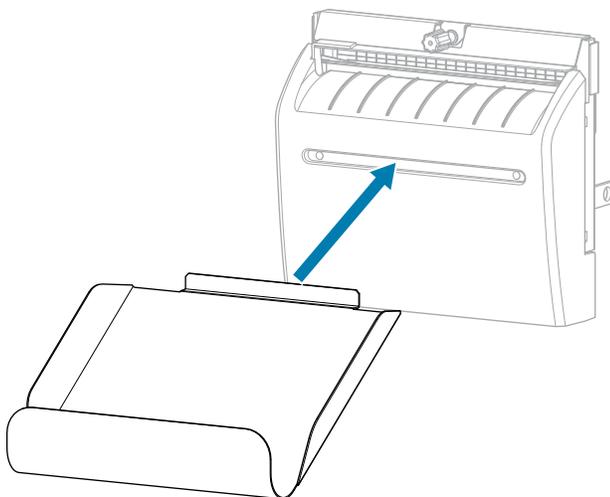
4. 外側の用紙ガイドをスライドさせ、用紙の端に軽く触れるようにします。



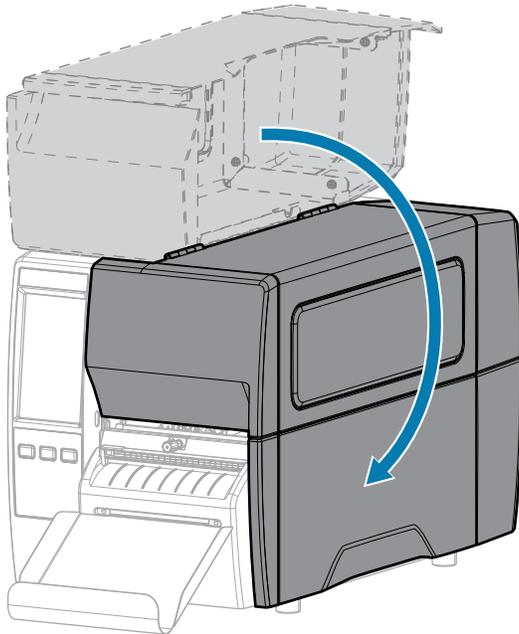
5. 印字ヘッドアセンブリを閉じます。



6. 必要に応じて、カッターキャッチトレイをカッター前面のスロットに挿入します。



7. 用紙カバーを閉じます。



8. プリンタをカッターモードに設定します ([印刷メニュー]>[ラベル位置]>[コレクション方式]を参照)。
9. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、**PAUSE (一時停止)** を押します。  
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリブレーションを実行するか、またはラベルをフィードします。
10. 最適な結果を得るには、プリンタをキャリブレーションします。リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション (111ページ) を参照してください。
11. **FEED (フィード)** キーと **CANCEL (キャンセル)** キーの両方を2秒間押したままにして、プリンタが設定ラベルを印刷できることを確認します。  
これで、切り取りモードの用紙装着は完了です。

## リボンのセット



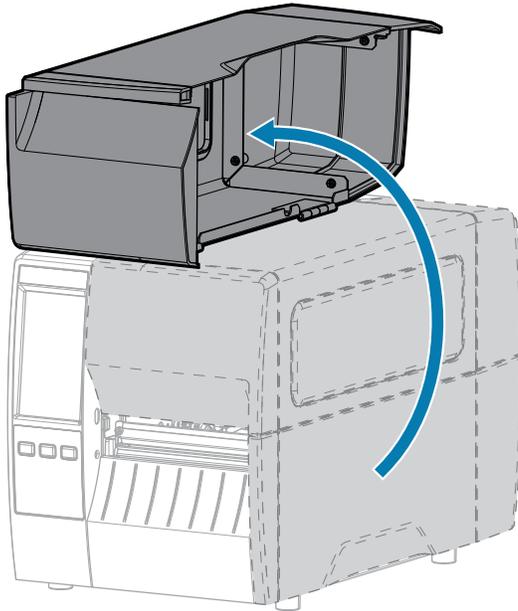
**注:** このセクションは、熱転写オプションが装着されたプリンタのみに適用されます。

リボンを使用するのは熱転写ラベルのみです。ダイレクトサーマルラベルの場合は、プリンタにリボンをセットしないでください。特定の用紙でリボンを使用する必要があるかどうか判別するには、[リボン](#) (13ページ) を参照してください。

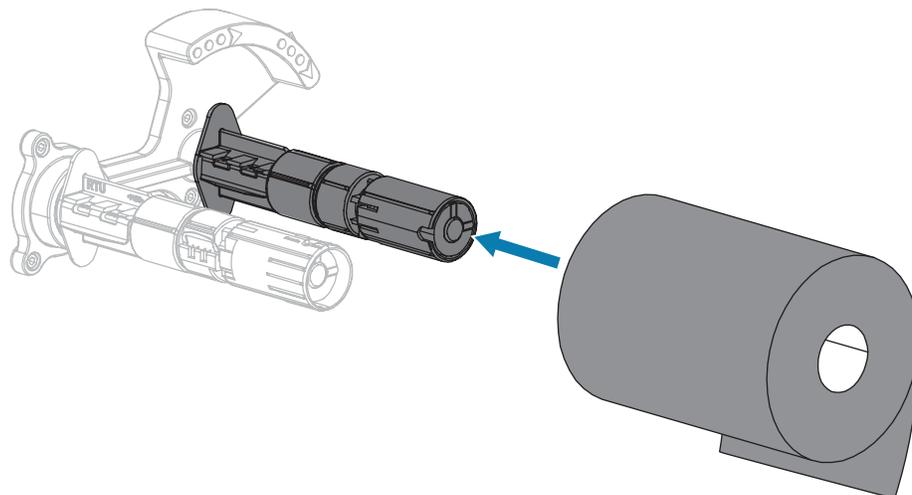


**重要:** 印字ヘッドの磨耗を防ぐために、用紙より幅の広いリボンを使用してください。外側がコーティングされたリボンでなければなりません。

1. 用紙カバーを開けます。

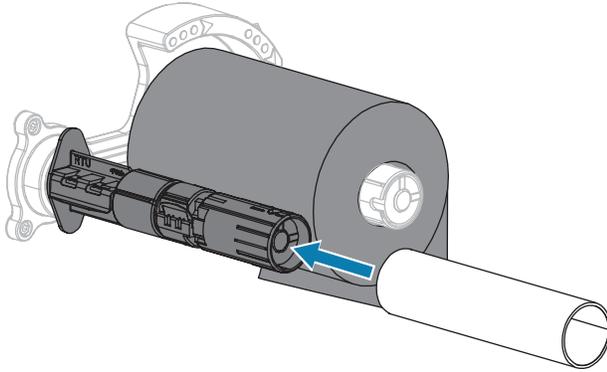


2. リボンのロールをリボンサプライスピンドルに装着し、リボンの巻き終わり部分を図のように垂らします。ロールを一番奥まで押し込みます。



## プリンタのセットアップ

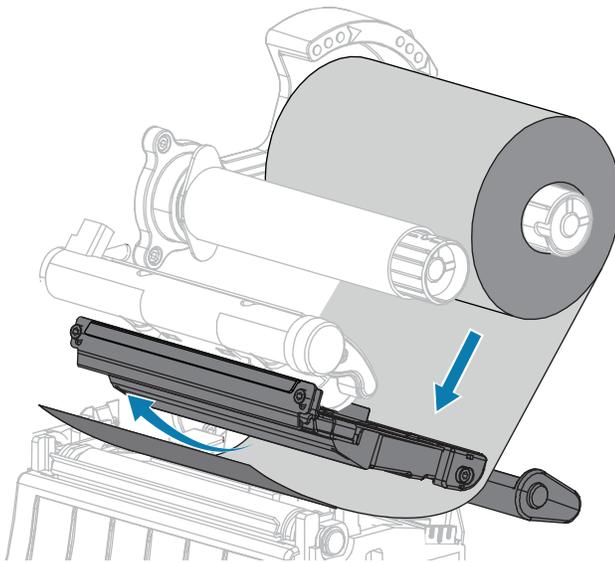
3. お買い上げ時のプリンタには、リボン巻き取りスピンドルに空の巻芯が付いています。この巻芯がなくなってしまう場合は、リボン巻き取りスピンドルに空の巻芯を取り付けてください。巻芯を一番奥まで押し込みます。



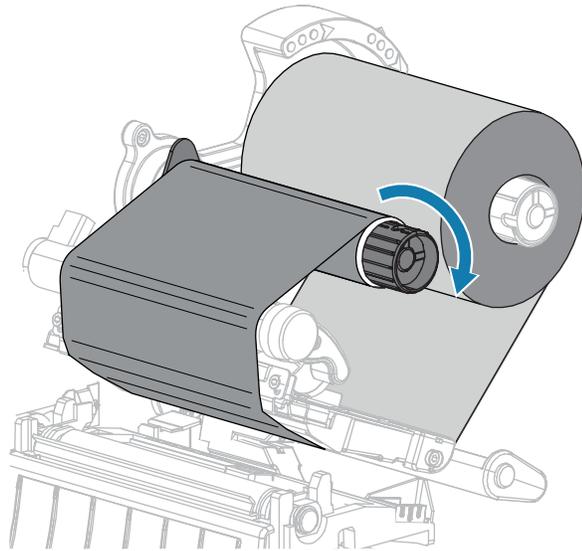
4. 図に示すように、リボンは印字ヘッド アセンブリの下を通します。



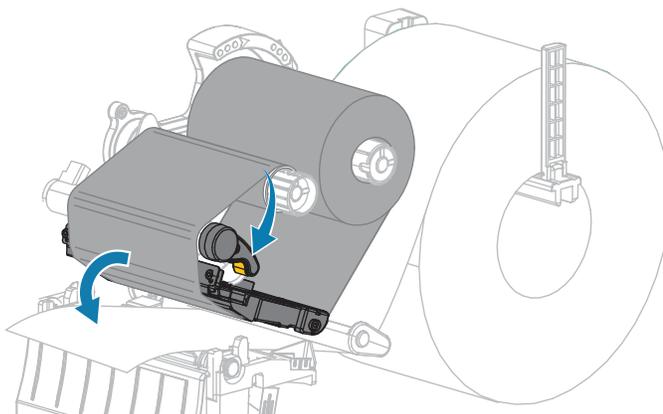
**注:** 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。



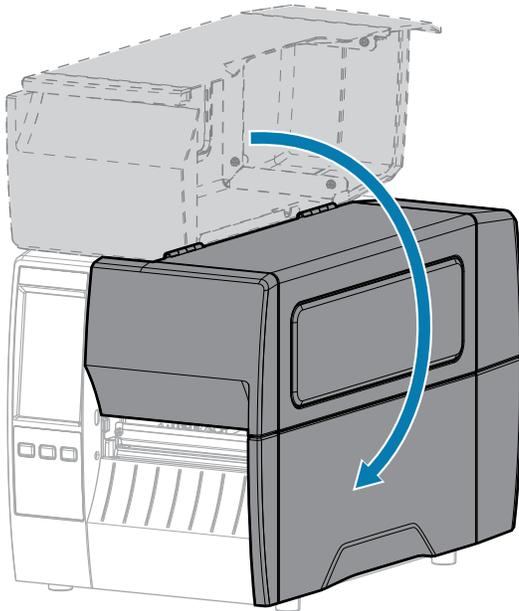
5. 印字ヘッド アセンブリの下でできる限り奥までリボンをたどります。
  - a) リボンをリボン巻き取りスピンドルの巻芯に巻きつけます。
  - b) 示されている方向にスピンドルを数回回して、リボンの締め付けと調整を行います。



6. 用紙が装着済みの場合は、印字ヘッド オープンレバーを印字ヘッドが固定位置でロックされるまで下方に回します。  
用紙が装着されていない場合は、[用紙の装着](#)に進みます。



7. 用紙カバーを閉じます。



8. 必要な場合は、PAUSE (一時停止) を押して印刷可能にします。

## 印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷

印刷ウィザードでは、プリンタを設定し、テスト ラベルを印刷して、テスト ラベルの結果に基づいて印刷品質を調整します。



**重要：**ウィザードを使用する際は、ホストからプリンタにデータを送信しないでください。

最適な結果を得るためには、**[印刷ウィザード]** または **[すべてをウィザードに設定]** を実行するときは全幅の用紙を使用してください。用紙が印刷するイメージよりも小さい場合、イメージが断ち切れたり、複数のラベルにまたがって印刷される結果になることがあります。

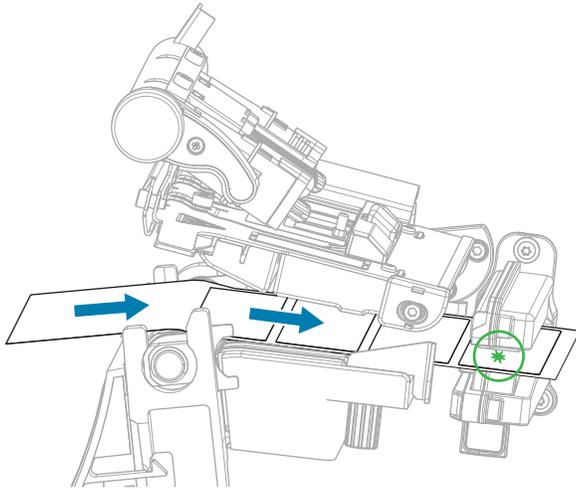
プリンタのセットアップ手順を完了してプリンタのセットアップ ウィザードを実行したら、このセクションを使用してテスト ラベルを印刷します。このラベルを印刷すると、接続が機能しているかどうか、印刷設定の調整が必要かどうか分かります。

1. ホーム画面で **[ウィザード]** > **[印刷]** > **[発行開始]** をタッチします。
2. プロンプトに従って、以下の情報を指定します。
  - プリントタイプ (熱転写または感熱)
  - ラベルタイプ (連続、ギャップ/切れ込み、またはマーク)
  - ラベル幅
  - コレクション方式 (切り取り、剥離、巻き取り、カッター、遅延カット、台紙なし剥離、台紙なし巻き取り、台紙なし切り取り、またはアプリケーション)

上記を指定すると、ウィザードは用紙を装着してから用紙センサー上にラベルを置くように指示します。

## プリンタのセットアップ

- ラベルが用紙センサーの緑色のランプの上にくるように用紙を装着してから、チェックマークをタッチします。

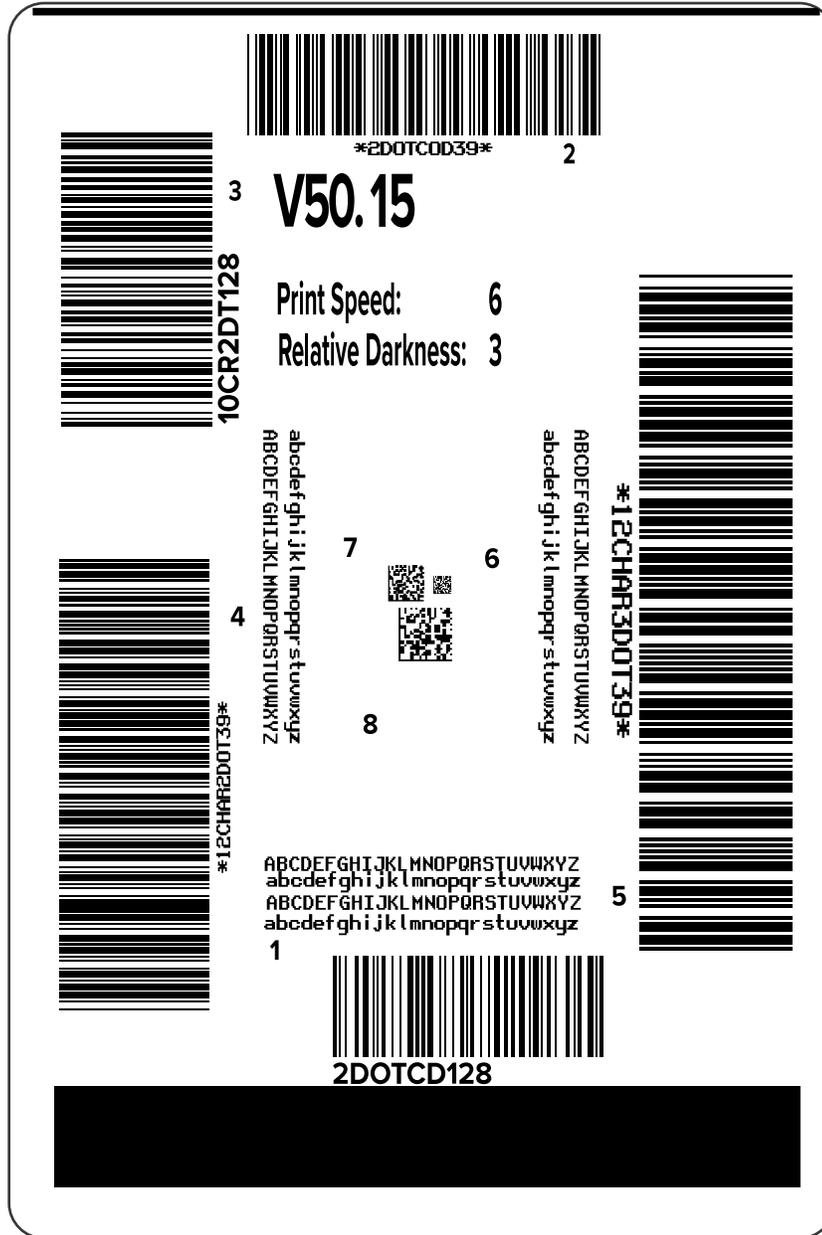


- プロンプトで、印字ヘッドを閉じてから、次のチェックマークをタッチします。  
プリンタはキャリブレーションしてから、テストラベルを印刷するかどうかの確認を求めます。
- プロンプトに従って、プリンタの自動キャリブレーションの完了を確認します。

## プリンタのセットアップ

6. テスト ラベルを印刷するよう求められたら、チェックマークをタッチします。

これと同様のテスト ラベルが印刷されます。ラベルがイメージより小さい場合は、テスト ラベルの一部のみが印刷されます。

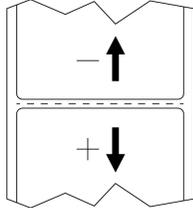


7. 切り取りバー上のラベルの位置を確認します。必要に応じて、この用紙位置が印刷後に切り取りバーの上にくるように移動します。

- ラベル間のスペースが切り取りバーの上にくる場合は、次の手順に進みます。
- ラベル間のスペースが切り取りバーに直接当たらない場合は、印刷後に用紙の位置を切り取りバーの上にくるように移動します。

数値を小さくすると、指定したドット数だけ用紙が引っ込みます (切り取り線が印刷されたラベルの端に近くなります)。

数値を大きくすると、用紙がプリンタの外へ出ます (切り取り線が次のラベルの先端に近くなります)。



8. テスト ラベル上のイメージの品質を調べます。テスト ラベル上のバーコードとテキストの品質に満足ですか? 詳細については、[バーコード品質の評価](#) (135ページ) を参照してください。

- [はい] の場合は、チェックマークをタッチして、プリント品質に影響を与える可能性のあるその他の問題を確認します。[印刷または印刷品質の問題](#) (151ページ) を参照してください。
- [いいえ] の場合は、プリンタのメニュー システムから濃度設定と速度設定を変更して印刷品質を手動で調整するか、印刷品質アシスタンス ウィザードを実行します。[印字品質アシスタント ウィザードの使用](#) を参照してください。

# プリンタの設定と調整

このセクションではプリンタの設定とプリンタの調整について説明します。

## プリンタ設定の変更

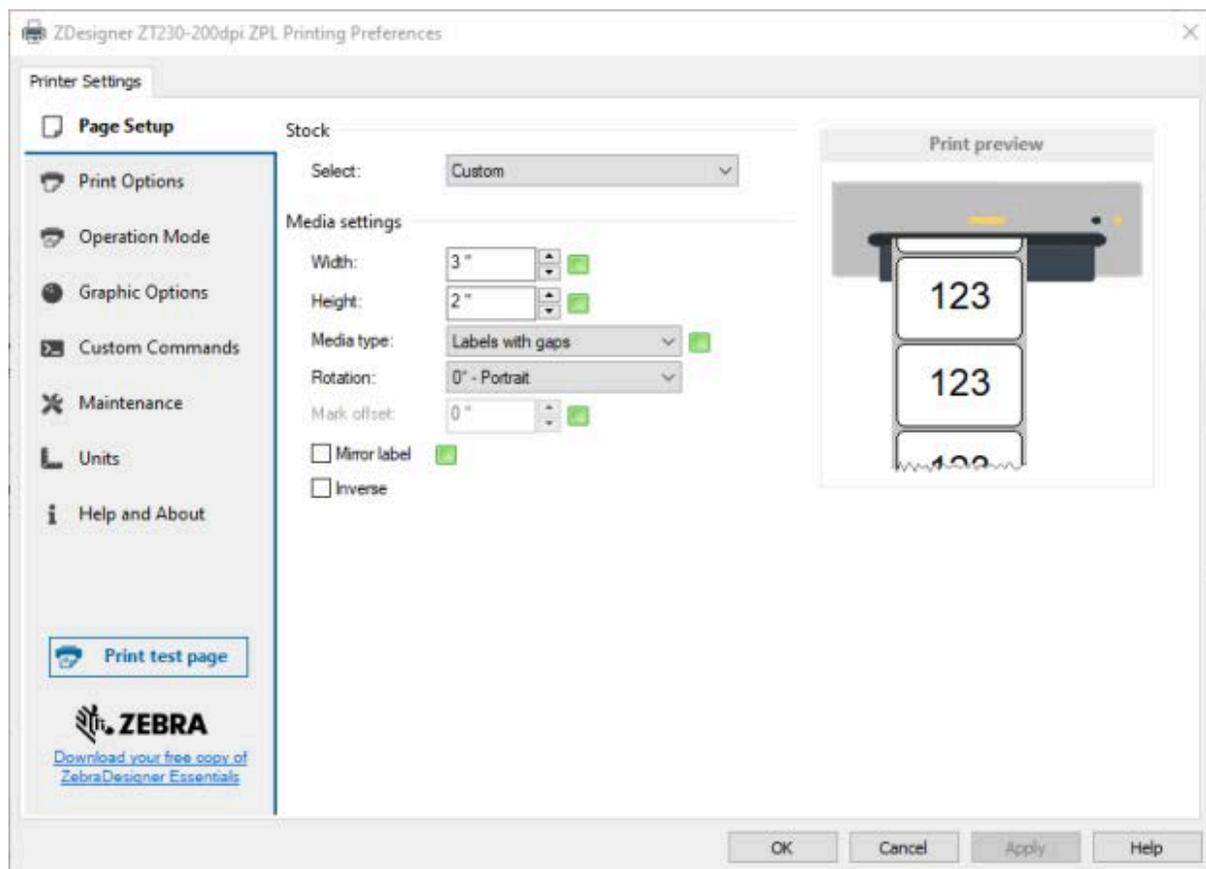
このセクションでは、変更可能なプリンタ設定について説明すると共に、プリンタ設定の変更に使用するツールも特定します。これらのツールには、次のようなものがあります。

- 以前にインストールされた Windows ドライバ(詳細については、[Windowsドライバによるプリンタ設定の変更](#) (61ページ) を参照)。
- プリンタ ウィザード([プリンタ ウィザード](#) (63ページ) を参照)。
- プリンタのユーザー メニュー (詳細については、[ユーザー メニュー](#) (64ページ) を参照)。
- Zebra Printer Setup Utilities:
  - [Windows コンピュータ](#)
  - [Android デバイス](#)
  - [Apple デバイス](#)
- ZPL コマンドと Set/Get/Do (SGD) コマンド (詳細については、『Zebra プログラミング ガイド』を参照)。
- プリンタに有線またはワイヤレスのプリント サーバー接続が有効になっているときのプリンタの Web ページ (詳細については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレス プリント サーバー ユーザー ガイド』を参照)。

## Windowsドライバによるプリンタ設定の変更

1. Windowsの [スタート] メニューから、[プリンタとスキャナ] に移動します。
2. 使用可能なプリンタのリストで目的のプリンタをクリックし、[管理] をクリックします。

3. [印刷設定] をクリックします。  
プリンタの [ZDesigner] ウィンドウが表示されます。



4. 必要に応じて設定を変更し、続いて [OK] をクリックします。

## プリンタ ウィザード

プリンタ ウィザードでは、各種のプリンタ設定および機能のセットアッププロセスの手順が表示されます。

以下のウィザードを利用できます。

- [すべてをウィザードに設定] - すべてのウィザードを順番に実行します。
- [システム] ウィザード - 印刷関連以外のオペレーティング システム設定を行います。
- [接続] ウィザード - プリンタの接続オプションを設定します。
- [印刷] ウィザード - 重要な印刷パラメータと機能を設定します。[印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷](#) (57ページ) を参照してください。
- [RFID] ウィザード - RFID サブシステムの動作を設定します。

ホーム画面で [**ウィザード**] をタッチすると、利用可能なオプションが表示されます。

いずれかのウィザードによって設定された個々の設定について詳しくは、[ユーザー メニュー](#) (64ページ) を参照してください。



### 重要:

ウィザードを使用する際は、ホストからプリンタにデータを送信しないでください。

最適な結果を得るためには、[印刷ウィザード] または [すべてをウィザードに設定] を実行するときは全幅の用紙を使用してください。印刷するイメージよりも用紙が短い場合、イメージが断ち切れたり、複数のラベルにまたがって印刷されたりすることがあります。

## ユーザーメニュー

プリンタのユーザーメニューを使用し、必要に応じてプリンタを設定します。

これらの各メニューの詳細については、[システムメニュー](#)（65ページ）、[接続メニュー](#)（75ページ）、[印刷メニュー](#)（90ページ）、[RFIDメニュー](#)（101ページ）、および[保管メニュー](#)（108ページ）を参照してください。



プリンタの設定は、ユーザーメニューから変更することも、オプションで以下の方法を使用して変更することもできます(このセクションのユーザーメニューの説明には、必要に応じてこれらのオプションの方法に関する情報が含まれています)。

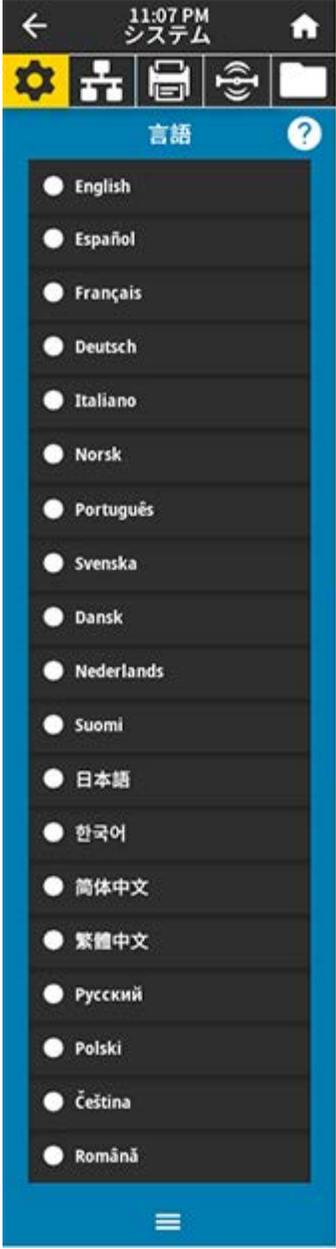
- ZPL コマンドと Set/Get/Do (SGD) コマンド(詳細については、『Zebra プログラミング ガイド』([zebra.com/manuals](http://zebra.com/manuals)) を参照してください)。

## プリンタの設定と調整

- プリンタに有線またはワイヤレスのプリント サーバー接続が有効になっているときのプリンタの Web ページ。詳細については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレス プリント サーバー ユーザー ガイド』 ([zebra.com/manuals](http://zebra.com/manuals)) を参照してください。

また、プリンタのウィザードを使用して設定の一部を変更することもできます ([プリンタ ウィザード](#) (63ページ) を参照)。

### システム メニュー

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明  |      |   |              |     |                 |                  |
|---|--|------|---|--------------|-----|-----------------|------------------|
|  <p>The screenshot shows a mobile application interface for a printer. At the top, there's a status bar with a back arrow, the time '11:07 PM', and the text 'システム' (System). Below that are several icons: a gear (Settings), a printer, a Wi-Fi symbol, and a folder. The main content area is titled '言語' (Language) and features a list of language options, each with a radio button. The options are: English, Español, Français, Deutsch, Italiano, Norsk, Português, Svenska, Dansk, Nederlands, Suomi, 日本語, 한국어, 简体中文, 繁體中文, Русский, Polski, Čeština, and Română. A hamburger menu icon is visible at the bottom.</p> | <p><b>[システム] &gt; [言語]</b></p> <p>必要に応じてプリンタの表示言語を変更します。この変更内容は、以下の表示に反映されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面</li> <li>ユーザー メニュー</li> <li>エラー メッセージ</li> <li>プリンタ設定ラベル、ネットワーク設定ラベル、およびユーザーメニューで印刷を選択できるその他のラベル</li> </ul> <table border="1" data-bbox="662 873 1520 1356"> <tr> <td>有効値:</td> <td>英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ノルウェー語、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、チェコ語、日本語、韓国語、ルーマニア語、ロシア語、ポーランド語、簡体字中国語、繁体字中国語<br/>このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語が見つけやすくなっています。</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^KL</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>display.language</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Language] (言語)</b></p> | 有効値: | 英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ノルウェー語、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、チェコ語、日本語、韓国語、ルーマニア語、ロシア語、ポーランド語、簡体字中国語、繁体字中国語<br>このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語が見つけやすくなっています。 | 関連 ZPL コマンド: | ^KL | 使用される SGD コマンド: | display.language |
| 有効値:  | 英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ノルウェー語、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、チェコ語、日本語、韓国語、ルーマニア語、ロシア語、ポーランド語、簡体字中国語、繁体字中国語<br>このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語が見つけやすくなっています。  |      |   |              |     |                 |                  |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^KL  |      |   |              |     |                 |                  |
| 使用される SGD コマンド:   | display.language   |      |   |              |     |                 |                  |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |  |                 |   |              |                               |                 |                      |               |  |
|---|---|--|-----------------|---|--------------|-------------------------------|-----------------|----------------------|---------------|--|
|    | <p>[システム] &gt; [プログラム言語] &gt; [診断モード]</p> <p>プリンタが受信するすべてのデータの 16 進値をプリンタで出力させるには、この診断ツールを使用します(詳細については、<a href="#">通信診断モードの使用</a> (141ページ) を参照してください)。</p> <table border="1" data-bbox="656 394 1529 1188"> <tr> <td data-bbox="656 394 844 861">有効値:</td> <td data-bbox="844 394 1529 861"> <p>## - プリンタは、データが表す可能性のあるフォーマット済みラベルを印刷するのではなく、受信したデータバイトのテキストと 16 進数表現を印刷します。</p> <p>E: #### - プリンタは情報を E: ドライブに保存します。</p> <p>USB ### - USB ホスト メモリ デバイスがある場合、プリンタはそのデバイスに情報を保存します。</p> <p>## - プリンタの通常動作モード。電源を入れ直しても、プリンタは [##] モードに戻ります。</p> <p> <b>注:</b> このコマンドは、ネットワーク パケット トレースを収集しません。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 861 844 957">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="844 861 1529 957"> <p>~JD で有効</p> <p>~JE で無効</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 957 844 1075">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="844 957 1529 1075"> <p>input.capture</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 1075 844 1188">コントロールパネルのキー:</td> <td data-bbox="844 1075 1529 1188"> <p>プリンタがレディ状態のときに、<b>PAUSE (一時停止)</b> と <b>FEED (フィード)</b> を 2 秒間長押しします。</p> </td> </tr> </table> |  | 有効値:            | <p>## - プリンタは、データが表す可能性のあるフォーマット済みラベルを印刷するのではなく、受信したデータバイトのテキストと 16 進数表現を印刷します。</p> <p>E: #### - プリンタは情報を E: ドライブに保存します。</p> <p>USB ### - USB ホスト メモリ デバイスがある場合、プリンタはそのデバイスに情報を保存します。</p> <p>## - プリンタの通常動作モード。電源を入れ直しても、プリンタは [##] モードに戻ります。</p> <p> <b>注:</b> このコマンドは、ネットワーク パケット トレースを収集しません。</p> | 関連 ZPL コマンド: | <p>~JD で有効</p> <p>~JE で無効</p> | 使用される SGD コマンド: | <p>input.capture</p> | コントロールパネルのキー: | <p>プリンタがレディ状態のときに、<b>PAUSE (一時停止)</b> と <b>FEED (フィード)</b> を 2 秒間長押しします。</p> |
| 有効値:  | <p>## - プリンタは、データが表す可能性のあるフォーマット済みラベルを印刷するのではなく、受信したデータバイトのテキストと 16 進数表現を印刷します。</p> <p>E: #### - プリンタは情報を E: ドライブに保存します。</p> <p>USB ### - USB ホスト メモリ デバイスがある場合、プリンタはそのデバイスに情報を保存します。</p> <p>## - プリンタの通常動作モード。電源を入れ直しても、プリンタは [##] モードに戻ります。</p> <p> <b>注:</b> このコマンドは、ネットワーク パケット トレースを収集しません。</p>   |  |                 |   |              |                               |                 |                      |               |  |
| 関連 ZPL コマンド:  | <p>~JD で有効</p> <p>~JE で無効</p>   |  |                 |   |              |                               |                 |                      |               |  |
| 使用される SGD コマンド:   | <p>input.capture</p>  |  |                 |   |              |                               |                 |                      |               |  |
| コントロールパネルのキー:   | <p>プリンタがレディ状態のときに、<b>PAUSE (一時停止)</b> と <b>FEED (フィード)</b> を 2 秒間長押しします。</p>  |  |                 |   |              |                               |                 |                      |               |  |
|  | <p>[システム] &gt; [プログラム言語] &gt; [コマンド言語]</p> <p> <b>注:</b> すべてのプリンタですべての値が使用できるわけではありません。! U1 getvar "allcv" コマンドを使用して、プリンタがサポートする値の範囲を確認します。使用しているファームウェアバージョンによっては、表示されている値以外の値を使用できる場合があります。</p> <p> <b>注:</b> "zpl" と "hybrid_xml_zpl" は同等です。setvar が "zpl" に設定されている場合、getvar の結果は常に "hybrid_xml_zpl" になります。</p> <p>適切なコマンド言語を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="656 1591 1529 1816"> <tr> <td data-bbox="656 1591 844 1816">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="844 1591 1529 1816"> <p>device.languages</p> </td> </tr> </table>   |  | 使用される SGD コマンド: | <p>device.languages</p>   |              |                               |                 |                      |               |  |
| 使用される SGD コマンド:   | <p>device.languages</p>   |  |                 |   |              |                               |                 |                      |               |  |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明  |
|---|--|
|  <p>← 15:21 システム</p> <p>エミュレーション ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● APL-I</li> <li>● APL-D</li> </ul> <p>≡</p> | <p><b>[システム] &gt; [プログラム言語] &gt; [エミュレーション]</b></p> <p>プリンタにエミュレーション アプリケーションがインストールされている場合、このユーザー メニューからこれらのアプリケーションの表示または有効化/無効化が可能です。</p> <p>詳細については、適切なエミュレーションのユーザー ガイドを参照するか、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。</p> |

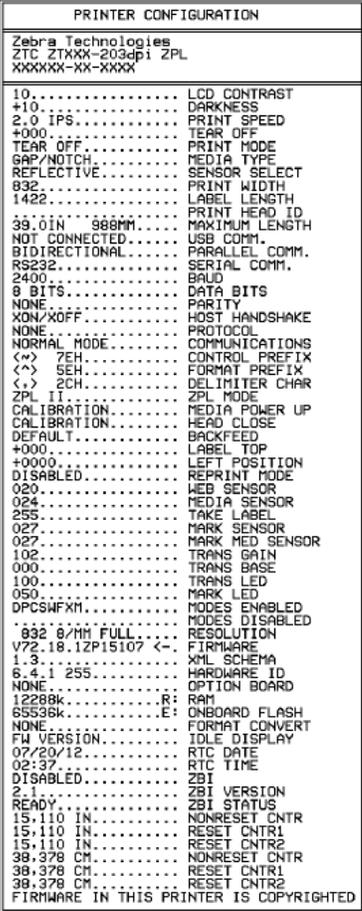
| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |  |
|---|---|--|
|  | <p><b>[システム] &gt; [プログラム言語] &gt; [ZBI]</b></p> <p>Zebra Basic Interpreter (ZBI 2.0™) は、プログラミング オプションで、ご使用のプリンタ用にご購入いただけます。このオプションをご購入される方は、詳細について最寄りの Zebra 販売代理店にお問い合わせください。</p> <p>ZBI プログラムがプリンタにすでにダウンロード済みの場合は、このメニュー項目を使用して ZBI プログラムを選択すると実行できます。プログラムがプリンタに存在しない場合は、[なし]が表示されます。</p> <p>ZBI プログラムがダウンロードされているのに何も実行されていない場合、プリンタは利用可能なプログラムをすべてリストします。そのうちの1つを実行するには、プログラム名の下にある <b>[実行]</b> (白く強調表示) をタッチします。</p> <p>プログラムの実行後は、そのプログラムのみがリストされます。プログラムを終了するには、<b>[停止]</b> (白く強調表示) をタッチします。</p>  |  |
| <p>使用される SGD コマンド:</p>  |   | <p>zbi.key - 有効な ZBI 2.0 ライセンスがプリンタにインストールされているかどうかを示します。</p> <p>zbi.enable - ZBI 2.0 オプションがプリンタで有効か無効かを示します。</p> <p> <b>注:</b> ZBI 機能を使用するには、zbi.key を [##] に設定し、zbi.enable を [##] に設定する必要があります。</p> |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |                           |
|--|---|---------------------------|
|   | <p>[システム] &gt; [設定] &gt; [Time Format 表示]<br/>プリンタで使用する時刻の表示形式を選択します。</p>   |                           |
|  | 有効値:  | 12 時間、24 時間               |
|  | 使用される SGD コマンド:   | device.idle_display_value |
|  | <p>[システム] &gt; [設定] &gt; [パスワード レベル]<br/>ユーザー メニュー項目のパスワード保護のレベルを選択します。</p> |                           |
|  | 有効値:  | 選択済み、すべて、なし               |
|  | 使用される SGD コマンド:   | display.password.level    |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |  |      |   |              |     |                 |                      |                |  |
|--|--|--|------|---|--------------|-----|-----------------|----------------------|----------------|--|
|   | <p><b>[システム] &gt; [設定] &gt; [パスワードを設定]</b></p> <p>前のパラメータで保護されるメニュー項目に新しいプリンタ パスワードを設定します。デフォルトのプリンタ パスワードは 1234 です。</p> <table border="1" data-bbox="656 363 1529 852"> <tr> <td data-bbox="656 363 846 415">有効値:</td> <td data-bbox="846 363 1529 415">数値 0 ~ 9</td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 415 846 852">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="846 415 1529 852">^KP</td> </tr> </table>   |  | 有効値: | 数値 0 ~ 9  | 関連 ZPL コマンド: | ^KP |                 |                      |                |  |
| 有効値:   | 数値 0 ~ 9   |  |      |   |              |     |                 |                      |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^KP  |  |      |   |              |     |                 |                      |                |  |
|  | <p><b>[システム] &gt; [設定] &gt; [電源投入時の動作]</b></p> <p>電源投入シーケンス時に行うプリンタの動作を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="656 947 1529 1770"> <tr> <td data-bbox="656 947 846 1451">有効値:</td> <td data-bbox="846 947 1529 1451"> <p>キャリブレーション - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。</p> <p>長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。</p> <p>短キャリブレーション - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 1451 846 1539">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="846 1451 1529 1539">^MF</td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 1539 846 1661">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="846 1539 1529 1661">ezpl.power_up_action</td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 1661 846 1770">プリンタの Web ページ:</td> <td data-bbox="846 1661 1529 1770"><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b></td> </tr> </table> |  | 有効値: | <p>キャリブレーション - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。</p> <p>長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。</p> <p>短キャリブレーション - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。</p> | 関連 ZPL コマンド: | ^MF | 使用される SGD コマンド: | ezpl.power_up_action | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b> |
| 有効値:   | <p>キャリブレーション - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。</p> <p>長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。</p> <p>短キャリブレーション - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。</p>  |  |      |   |              |     |                 |                      |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^MF  |  |      |   |              |     |                 |                      |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | ezpl.power_up_action   |  |      |   |              |     |                 |                      |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b>   |  |      |   |              |     |                 |                      |                |  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |  |      |   |                 |                       |                 |                        |                |  |
|--|--|--|------|---|-----------------|-----------------------|-----------------|------------------------|----------------|--|
|  <p>02:23 PM システム</p> <p>← [設定] [印刷] [無線] [ファイル]</p> <p>印字Head閉時動作 ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> キャリブレーション</li> <li><input type="radio"/> フィード</li> <li><input type="radio"/> 長さ</li> <li><input type="radio"/> 動作しない</li> <li><input type="radio"/> 短キャリブレーション</li> </ul> <p>≡</p> | <p><b>[システム] &gt; [設定] &gt; [印字 Head 閉時動作]</b><br/>                     印字ヘッドを閉めた時のプリンタの動作を設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="656 331 846 835">有効値:</td> <td data-bbox="846 331 1529 835"> <p>キャリブレーション - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。</p> <p>長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。</p> <p>短キャリブレーション - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 842 846 919">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="846 842 1529 919">^MF</td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 926 846 1037">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="846 926 1529 1037">ezpl.head_close_action</td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 1043 846 1157">プリンタの Web ページ:</td> <td data-bbox="846 1043 1529 1157"><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b></td> </tr> </table> |  | 有効値: | <p>キャリブレーション - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。</p> <p>長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。</p> <p>短キャリブレーション - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。</p> | 関連 ZPL コマンド:    | ^MF                   | 使用される SGD コマンド: | ezpl.head_close_action | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b> |
| 有効値:   | <p>キャリブレーション - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>フィード - ラベルが最初の登録ポイントにフィードされます。</p> <p>長さ - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。</p> <p>動作しません - プリンタに用紙送りをさせません。手動でウェブが正確な位置にあることを確認するか、FEED (フィード) を押して次のウェブの位置決めを行う必要があります。</p> <p>短キャリブレーション - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。</p>  |  |      |   |                 |                       |                 |                        |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^MF  |  |      |   |                 |                       |                 |                        |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | ezpl.head_close_action   |  |      |   |                 |                       |                 |                        |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b>   |  |      |   |                 |                       |                 |                        |                |  |
|  <p>15:12 システム</p> <p>← [設定] [印刷] [無線] [ファイル]</p> <p>バッチ・カウンタ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> Yes</li> <li><input type="radio"/> No</li> </ul> <p>≡</p>   | <p><b>[システム] &gt; [設定] &gt; [Batch Counter] (バッチ カウンタ)</b><br/>                     プリンタのコントロールパネルにバッチ カウンタを表示するかどうかを設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="656 1283 846 1331">有効値:</td> <td data-bbox="846 1283 1529 1331">[はい]、[いいえ]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="656 1337 846 1782">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="846 1337 1529 1782">display.batch_counter</td> </tr> </table>  |  | 有効値: | [はい]、[いいえ]  | 使用される SGD コマンド: | display.batch_counter |                 |                        |                |  |
| 有効値:   | [はい]、[いいえ]   |  |      |   |                 |                       |                 |                        |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | display.batch_counter  |  |      |   |                 |                       |                 |                        |                |  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |
|--|---|
|   | <p>[システム] &gt; [設定] &gt; [画面キャリブレーション]<br/>各十字線をタッチして画面を調整します。</p>  |
|  | <p>[システム] &gt; [設定] &gt; [デフォルトに戻す]<br/>特定のプリンタ、プリントサーバー、およびネットワークの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要がありますので、注意してください。このメニュー項目は、それぞれ異なるデフォルト値を持つ2つのユーザーメニューから利用可能です。</p>  |
| <p>有効値:</p>  | <p>プリンタ - ネットワーク設定以外のすべてのプリンタ設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要がありますので、注意してください。</p> <p>ネットワーク - プリンタの有線またはワイヤレスのプリントサーバーを再初期化します。ワイヤレスプリントサーバーの場合、プリンタとワイヤレスネットワークとの再関連付けも行われます。</p> <p>最終保存 - 最後の確定保存から設定を読み込みます。</p> |
| <p>関連 ZPL コマンド:</p>  | <p>プリンタ - ^JUF<br/>ネットワーク - ^JUN<br/>最終保存 - ^JUR</p>  |
| <p>コントロールパネルのキー:</p>   | <p>プリンタ - プリンタのパワーアップ時に <b>FEED (フィード)</b> と <b>PAUSE (一時停止)</b> を長押しして、プリンタパラメータを工場出荷時の値にリセットします。</p> <p>ネットワーク - プリンタの電源投入時に <b>CANCEL (キャンセル)</b> と <b>PAUSE (一時停止)</b> を長押しして、ネットワークパラメータを工場出荷時の値にリセットします。</p> <p>最終保存 - N/A</p>              |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |   |
|--|---|---|
|  | <p>プリンタの Web ページ:</p>   | <p>プリンタ - [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Restore Default Configuration] (デフォルトのコンフィグに再定義してください)</p> <p>ネットワーク - [Print Server Settings] (プリントサーバー設定) &gt; [Reset Print Server] (プリントサーバーのリセット)</p> <p>最終保存 - [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Restore Saved Configuration] (保存された設定の復元)</p> |
|  | <p>[システム] &gt; [設定] &gt; [印刷: システム設定]</p> <p>プリンタ設定ラベルを印刷します。以下は、サンプルラベルです。</p> |    |
|  | <p>関連 ZPL コマンド:</p>   | <p>~WC</p>  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |   |
|--|--|---|
|  | コントロールパネルのキー:  | 以下のいずれかを実行します。* <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタの電源投入時に、<b>CANCEL (キャンセル)</b> を長押しします(旧称キャンセルセルフテスト)。</li> <li>プリンタがレディ状態のときに、<b>FEED (フィード)</b> と <b>CANCEL (キャンセル)</b> を 2 秒間長押しします。</li> </ul>  <b>注:</b> * プリンタ設定ラベルとネットワーク設定レベルを印刷します。 |
|  | プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷)*</b><br> <b>注:</b> * プリンタ設定ラベルとネットワーク設定レベルを印刷します。  |
|  | <b>[Sシステム] &gt; [省エネ] &gt; [Energy Star]</b> <p>ENERGY STAR モードが有効な場合、タイムアウトの時間を過ぎるとプリンタは「スリープ」モードに入り、電力消費を減らします。コントロールパネルの任意のボタンを押すと、プリンタはアクティブ状態に戻ります。</p> |   |
| 有効値:   | オン、オフ  |   |
| 使用される SGD コマンド:  | <code>power.energy_star.enable</code><br><code>power.energy_star_timeout</code> (Energy Star が呼び出される前のアイドル時間の長さを設定する)  |   |

接続メニュー

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |   |
|--|---|---|
|   | <p><b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b></p> <p>このオプションは有線またはワイヤレス プリント サーバーをリセットし、ネットワーク設定に対して行った変更を保存します。</p> <p><b>!</b> <b>重要:</b> ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、プリント サーバーをリセットする必要があります。</p> |   |
|  | <p>関連 ZPL コマンド:</p>   | <p>~WR</p>  |
|  | <p>プリンタの Web ページ:</p>   | <p><b>[Print Server Settings] (プリント サーバーの設定) &gt; [Reset Print Server] (プリント サーバーのリセット)</b></p> |
|  | <p><b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [1次ネットワーク]</b></p> <p>有線とワイヤレス プリント サーバーのどちらが1次と見なされるかどうかを表示または変更します。どちらのサーバーが1次と考えるかどうかを選択できます。</p>  |   |
| <p>有効値:</p>  | <p>有線、WLAN</p>  |   |
| <p>関連 ZPL コマンド:</p>  | <p>^NC</p>  |   |
| <p>使用される SGD コマンド:</p>   | <p>ip.primary_network</p>   |   |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |                 |                   |
|--|--|-----------------|-------------------|
|   | <p><b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [IP ポート]</b></p> <p>このプリンタ設定は、TCP プリント サービスがリスンしている内蔵有線プリント サーバーのアダプタのポート番号を参照します。ホストからの通常の TCP 通信は、このポートに送信される必要があります。</p> <table border="1" data-bbox="706 430 1518 541"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>ip.port</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b></p>  | 使用される SGD コマンド: | ip.port           |
| 使用される SGD コマンド:  | ip.port  |                 |                   |
|  | <p><b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [IP 代替ポート]</b></p> <p>このコマンドは、代替 TCP ポートのポート番号を設定します。</p> <p> <b>注:</b> このコマンドをサポートするプリント サーバーは、1 次ポートと代替ポートの両方の接続を同時に監視します。</p> <table border="1" data-bbox="706 1039 1518 1150"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>ip.port_alternate</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b></p> | 使用される SGD コマンド: | ip.port_alternate |
| 使用される SGD コマンド:  | ip.port_alternate  |                 |                   |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |  |
|--|--|--|
|   | <p>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [印刷: ネットワーク情報]</p> <p>プリント サーバーまたは取り付けられている Bluetooth デバイスの設定を印刷します。以下は、サンプル ラベルです。</p> <pre> Network Configuration ----- Zebra Technologies ZTC ZTXXX-XXXXp1 ZPL XXXXXXXXXXXX  Wired..... PRIMARY NETWORK PrintServer..... LOAD LAN FRONT INTERNAL WIRED..... ACTIVE PRINTSRVR  Wired* ALL..... IP PROTOCOL 192.168.000.017... IP ADDRESS 255.255.255.000... SUBNET 192.168.000.254... GATEWAY 000.000.000.000... WINS SERVER IP YES..... TIMEOUT CHECKING 300..... TIMEOUT VALUE 000..... ARP INTERVAL S100..... BASE RAW PORT S200..... JSON CONFIG PORT  Wireless ALL..... IP PROTOCOL 000.000.000.000... IP ADDRESS 255.255.255.000... SUBNET 000.000.000.000... GATEWAY 000.000.000.000... WINS SERVER IP YES..... TIMEOUT CHECKING 300..... TIMEOUT VALUE 000..... ARP INTERVAL S100..... BASE RAW PORT S200..... JSON CONFIG PORT INSERTED..... CARD INSERTED 02dfH..... CARD MFG ID 9134H..... CARD PRODUCT ID ac:3f:a4:b2:05:9c.. MAC ADDRESS YES..... DRIVER INSTALLED INFRASTRUCTURE... OPERATING MODE 125..... ESSID 1.0..... CURRENT TX RATE OPEN..... WEP TYPE WPA PSK..... WLAN SECURITY 1..... WEP INDEX 000..... PDR SIGNAL LONG..... PREAMBLE NO..... ASSOCIATED ON..... PULSE ENABLED 15..... PULSE RATE OFF..... INTL MODE USA/CANADA..... REGION CODE USA/CANADA..... COUNTRY CODE 0x7FF..... CHANNEL MASK  Bluetooth 4.3.ip1..... FIRMWARE 02/13/2015..... DATE on..... DISCOVERABLE 3.0/4.0..... RADIO VERSION on..... ENABLED ac:3f:a4:b2:05:9d.. MAC ADDRESS 76J16270088s..... FRIENDLY NAME no..... CONNECTED 1..... MIN SECURITY MODE nc..... CONN SECURITY MODE supported..... IOS  FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED                     </pre> |  |
| <p>関連 ZPL コマンド:</p>  | <p>~WL</p>   |  |
| <p>コントロールパネルのキー:</p>   | <p>以下のいずれかを実行します。*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタの電源投入時に、<b>CANCEL (キャンセル)</b> を長押しします(旧称キャンセルセルフテスト)。</li> <li>プリンタがレディ状態のときに、<b>FEED (フィード)</b> と <b>CANCEL (キャンセル)</b> を 2 秒間長押しします。</li> </ul>  |  |
| <p>プリンタの Web ページ:</p>  | <p>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷)*</p>   |  |
| <p> 注: * プリンタ設定ラベルとネットワーク設定レベルを印刷します。</p> |  |  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |      |       |                 |                                |                |  |
|--|--|------|-------|-----------------|--------------------------------|----------------|--|
|   | <p><b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [FIPS Enabled] (FIPS 対応)</b><br/>この設定はこのプリンタでは変更できません。</p>   |      |       |                 |                                |                |  |
|  | <p><b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ビジビリティエージェント]</b><br/>プリンタは有線またはワイヤレス ネットワークに接続されている場合、暗号化され証明書で認証された Web socket 接続を使用するクラウドベースの Zebra Printer Connector を介して、Zebra の Asset Visibility Service への接続を試みます。プリンタが検出データと設定、およびアラート データを送信します。ラベルフォーマットで印刷されたデータは転送されません。<br/>この機能をオプトアウトするには、この設定を無効にします。詳細については、アプリケーションノート「Opting Out of the Asset Visibility Agent」 (<a href="http://zebra.com">zebra.com</a>) を参照してください。</p> <table border="1" data-bbox="706 1228 1521 1539"> <tr> <td data-bbox="706 1228 876 1276">有効値:</td> <td data-bbox="876 1228 1521 1276">オン、オフ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="706 1276 876 1396">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="876 1276 1521 1396">weblink.zebra_connector.enable</td> </tr> <tr> <td data-bbox="706 1396 876 1539">プリンタの Web ページ:</td> <td data-bbox="876 1396 1521 1539"><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Configuration] (ネットワーク設定) &gt; [Cloud Connect Settings] (クラウド接続設定)</b></td> </tr> </table> | 有効値: | オン、オフ | 使用される SGD コマンド: | weblink.zebra_connector.enable | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Configuration] (ネットワーク設定) &gt; [Cloud Connect Settings] (クラウド接続設定)</b> |
| 有効値:   | オン、オフ  |      |       |                 |                                |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | weblink.zebra_connector.enable   |      |       |                 |                                |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Configuration] (ネットワーク設定) &gt; [Cloud Connect Settings] (クラウド接続設定)</b>   |      |       |                 |                                |                |  |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
|---|---|------|---|--------------|-----|-----------------|----------------------------|----------------|---|
|    | <p><b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 IP プロトコル]</b></p> <p>このパラメータは、ユーザー (固定) またはサーバー (動的) のどちらが有線プリントサーバーの IP アドレスを選択するかを示します。動的オプションを選択した場合、このパラメータは、プリントサーバーがサーバーから IP アドレスを受信する方法を指定します。</p> <p><b>!</b> <b>重要:</b> ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、プリントサーバーをリセットする必要があります (<b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b> を参照してください)。</p> <table border="1" data-bbox="708 615 1518 1035"> <tr> <td>有効値:</td> <td>[すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP &amp; BOOTP]、[確定]</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>internal_wired.ip.protocol</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b></td> </tr> </table> | 有効値: | [すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定] | 関連 ZPL コマンド: | ^ND | 使用される SGD コマンド: | internal_wired.ip.protocol | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b> |
| 有効値:  | [すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定]   |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^ND   |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
| 使用される SGD コマンド:   | internal_wired.ip.protocol  |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
| プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b>   |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
|  | <p><b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 IP アドレス]</b></p> <p>プリンタの有線 IP アドレスを表示し、必要に応じて変更します。この設定に対する変更を保存するには、<b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 IP プロトコル]</b> を <b>[確定]</b> に設定してから、プリントサーバーをリセットします (<b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b> を参照)。</p> <table border="1" data-bbox="708 1276 1518 1663"> <tr> <td>有効値:</td> <td>000 ~ 255 (各フィールド)</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>internal_wired.ip.addr</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b></td> </tr> </table>   | 有効値: | 000 ~ 255 (各フィールド)                                    | 関連 ZPL コマンド: | ^ND | 使用される SGD コマンド: | internal_wired.ip.addr     | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b> |
| 有効値:  | 000 ~ 255 (各フィールド)  |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^ND   |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
| 使用される SGD コマンド:   | internal_wired.ip.addr  |      |   |              |     |                 |                            |                |   |
| プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b>   |      |   |              |     |                 |                            |                |   |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
|--|---|------|--------------------|--------------|-----|-----------------|---------------------------|----------------|---|
|   | <p><b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線サブネット]</b></p> <p>有線サブネット マスクを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、<b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 IP プロトコル]</b> を <b>[確定]</b> に設定してから、プリント サーバーをリセットします (<b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b> を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>000 ~ 255 (各フィールド)</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>internal_wired.ip.netmask</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b></td> </tr> </table>     | 有効値: | 000 ~ 255 (各フィールド) | 関連 ZPL コマンド: | ^ND | 使用される SGD コマンド: | internal_wired.ip.netmask | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b> |
| 有効値:   | 000 ~ 255 (各フィールド)  |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^ND   |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
| 使用される SGD コマンド:  | internal_wired.ip.netmask   |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b>   |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
|  | <p><b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線ゲートウェイ]</b></p> <p>デフォルトの有線ゲートウェイを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、<b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 IP プロトコル]</b> を <b>[確定]</b> に設定してから、プリント サーバーをリセットします (<b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b> を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>000 ~ 255 (各フィールド)</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>internal_wired.ip.gateway</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b></td> </tr> </table> | 有効値: | 000 ~ 255 (各フィールド) | 関連 ZPL コマンド: | ^ND | 使用される SGD コマンド: | internal_wired.ip.gateway | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b> |
| 有効値:   | 000 ~ 255 (各フィールド)  |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^ND   |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
| 使用される SGD コマンド:  | internal_wired.ip.gateway   |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b>   |      |                    |              |     |                 |                           |                |   |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |  |                 |   |              |     |                 |                  |
|--|---|--|-----------------|---|--------------|-----|-----------------|------------------|
|   | <p><b>[接続] &gt; [有線] &gt; [有線 MAC アドレス]</b></p> <p>有線プリント サーバーの Media Access Control (MAC) アドレスを表示します。この値は変更できません。</p> <table border="1" data-bbox="699 363 1526 478"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>internal_wired.mac_addr</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [TCP/IP Settings] (TCP/IP 設定)</b></p>  |  | 使用される SGD コマンド: | internal_wired.mac_addr                               |              |     |                 |                  |
| 使用される SGD コマンド:  | internal_wired.mac_addr   |  |                 |   |              |     |                 |                  |
|  | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi IP プロトコル]</b></p> <p>このパラメータは、ユーザー (確定) またはサーバー (動的) のどちらかでワイヤレス プリント サーバーの IP アドレスを選択するのを示します。動的オプションを選択した場合、このパラメータは、プリント サーバーがサーバーから IP アドレスを受信する方法を指定します。</p> <p> <b>注:</b> ネットワーク設定で行った変更内容を反映させるには、プリントサーバーをリセットする必要があります(<a href="#">[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</a>を参照してください)。</p> <table border="1" data-bbox="699 1247 1526 1325"> <tr> <td>有効値:</td> <td>[すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP &amp; BOOTP]、[確定]</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="699 1325 1526 1413"> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="699 1413 1526 1528"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.ip.protocol</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b></p> |  | 有効値:            | [すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定] | 関連 ZPL コマンド: | ^ND | 使用される SGD コマンド: | wlan.ip.protocol |
| 有効値:   | [すべて]、[収集のみ]、[RARP]、[BOOTP]、[HCP]、[DHCP & BOOTP]、[確定]   |  |                 |   |              |     |                 |                  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^ND   |  |                 |   |              |     |                 |                  |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.ip.protocol  |  |                 |   |              |     |                 |                  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
|--|--|------|--------------------|--------------|-----|-----------------|-----------------|----------------|--|
|   | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi IP アドレス]</b></p> <p>プリンタのワイヤレス IP アドレスを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、<b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi IP プロトコル]</b> を <b>[確定]</b> に設定してから、プリントサーバーをリセットします (<b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b> を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>000 ~ 255 (各フィールド)</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.ip.addr</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b></td> </tr> </table> | 有効値: | 000 ~ 255 (各フィールド) | 関連 ZPL コマンド: | ^ND | 使用される SGD コマンド: | wlan.ip.addr    | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b> |
| 有効値:   | 000 ~ 255 (各フィールド)   |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^ND  |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.ip.addr   |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b>   |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
|  | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi サブネット]</b></p> <p>ワイヤレスのサブネットマスクを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、<b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi IP プロトコル]</b> を <b>[確定]</b> に設定してから、プリントサーバーをリセットします (<b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b> を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>000 - 255 (各フィールド)</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.ip.netmask</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b></td> </tr> </table>    | 有効値: | 000 - 255 (各フィールド) | 関連 ZPL コマンド: | ^ND | 使用される SGD コマンド: | wlan.ip.netmask | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b> |
| 有効値:   | 000 - 255 (各フィールド)   |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^ND  |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.ip.netmask  |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b>   |      |                    |              |     |                 |                 |                |  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |                 |                    |                |  |                 |                 |                |  |
|--|--|-----------------|--------------------|----------------|--|-----------------|-----------------|----------------|--|
|   | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi ゲートウェイ]</b></p> <p>デフォルトのワイヤレス ゲートウェイを表示し、必要に応じて変更します。</p> <p>この設定に対する変更を保存するには、<b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi IP プロトコル]</b> を <b>[確定]</b> に設定してから、プリントサーバーをリセットします (<b>[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</b> を参照)。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>000 ~ 255 (各フィールド)</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^ND</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.ip.gateway</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b></td> </tr> </table> | 有効値:            | 000 ~ 255 (各フィールド) | 関連 ZPL コマンド:   | ^ND  | 使用される SGD コマンド: | wlan.ip.gateway | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b> |
| 有効値:   | 000 ~ 255 (各フィールド)   |                 |                    |                |  |                 |                 |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^ND  |                 |                    |                |  |                 |                 |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.ip.gateway  |                 |                    |                |  |                 |                 |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b>   |                 |                    |                |  |                 |                 |                |  |
|  | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi MAC アドレス]</b></p> <p>ワイヤレス プリント サーバーの Media Access Control (MAC) アドレスを表示します。この値は変更できません。</p> <table border="1"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.mac_addr</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b></td> </tr> </table>   | 使用される SGD コマンド: | wlan.mac_addr      | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b> |                 |                 |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.mac_addr  |                 |                    |                |  |                 |                 |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b>   |                 |                    |                |  |                 |                 |                |  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |              |                           |                 |               |
|--|---|--------------|---------------------------|-----------------|---------------|
|   | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [ESSID]</b></p> <p>Extended Service Set Identification (ESSID) は、ご使用のワイヤレス ネットワークの ID です。現在の無線構成の ESSID を指定します。</p> <table border="1" data-bbox="699 394 1526 447"> <tr> <td>有効値:</td> <td>32 文字の英数字文字列 (デフォルトは 125)</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="699 451 1526 562"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.essid</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス設定)</b></p> | 有効値:         | 32 文字の英数字文字列 (デフォルトは 125) | 使用される SGD コマンド: | wlan.essid    |
| 有効値:   | 32 文字の英数字文字列 (デフォルトは 125)   |              |                           |                 |               |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.essid  |              |                           |                 |               |
|  | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi セキュリティ]</b></p> <p>ワイヤレス ネットワークで使用しているセキュリティ タイプを選択します。</p> <table border="1" data-bbox="699 982 1526 1066"> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^WX</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="699 1071 1526 1182"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.security</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications Setup] (ネットワーク通信設定) &gt; [Wireless Encryption Setup] (ワイヤレス暗号化セットアップ)</b></p>  | 関連 ZPL コマンド: | ^WX                       | 使用される SGD コマンド: | wlan.security |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^WX   |              |                           |                 |               |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.security   |              |                           |                 |               |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |                 |                   |                 |                      |
|--|--|-----------------|-------------------|-----------------|----------------------|
|   | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi 帯域]</b><br/>Wi-Fi 経由で接続する優先バンドを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="708 331 1521 499"> <tr> <td>有効値:</td> <td>2.4、5、なし</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.band_preference</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Network Communications] (ネットワーク通信) &gt; [Wireless Setup] (ワイヤレス セットアップ)</b></p>  | 有効値:            | 2.4、5、なし          | 使用される SGD コマンド: | wlan.band_preference |
| 有効値:   | 2.4、5、なし   |                 |                   |                 |                      |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.band_preference   |                 |                   |                 |                      |
|  | <p><b>[接続] &gt; [Wi-Fi] &gt; [Wi-Fi 国コード]</b><br/>国コードは、現在ワイヤレスが設定されている、規制対象の国/地域を定義します。</p> <p><b>!</b> <b>重要:</b> 国コードのリストはプリンタごとに固有であり、プリンタ モデルとその無線通信設定によって異なります。この国コードリストは、いつでも、予告なしに、ファームウェアの更新とともに変更、追加、または削除されることがあります。</p> <p>ご使用のプリンタで対象となっている国コードを確認するには、! U1 getvar "wlan" コマンドを発行します。これで、WLAN 設定に関するすべてのコマンドが返されます。結果で wlan.country.code コマンドを見つけて、ご使用のプリンタで対象となっている国コードを表示します。</p> <table border="1" data-bbox="708 1350 1521 1482"> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>wlan.country_code</td> </tr> </table> | 使用される SGD コマンド: | wlan.country_code |                 |                      |
| 使用される SGD コマンド:  | wlan.country_code  |                 |                   |                 |                      |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |      |  |                 |                        |
|--|--|------|--|-----------------|------------------------|
|   | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [Bluetooth]</b></p> <p>Bluetooth デバイス ペアリングに関して、プリンタを検出可能にするかどうか選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="699 363 873 457">有効値:</td> <td data-bbox="873 363 1515 457">オン - Bluetooth 無線を有効にします。<br/>オフ - Bluetooth 無線を無効にします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 457 873 852">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 457 1515 852">bluetooth.enable</td> </tr> </table>                          | 有効値: | オン - Bluetooth 無線を有効にします。<br>オフ - Bluetooth 無線を無効にします。           | 使用される SGD コマンド: | bluetooth.enable       |
| 有効値:   | オン - Bluetooth 無線を有効にします。<br>オフ - Bluetooth 無線を無効にします。   |      |  |                 |                        |
| 使用される SGD コマンド:  | bluetooth.enable   |      |  |                 |                        |
|  | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [Bluetooth 検出]</b></p> <p>Bluetooth デバイス ペアリングに関して、プリンタを検出可能にするかどうか選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="699 978 873 1073">有効値:</td> <td data-bbox="873 978 1515 1073">オン - Bluetooth 検出可能モードを有効にします。<br/>オフ - Bluetooth 検出可能モードを無効にします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 1073 873 1465">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 1073 1515 1465">bluetooth.discoverable</td> </tr> </table> | 有効値: | オン - Bluetooth 検出可能モードを有効にします。<br>オフ - Bluetooth 検出可能モードを無効にします。 | 使用される SGD コマンド: | bluetooth.discoverable |
| 有効値:   | オン - Bluetooth 検出可能モードを有効にします。<br>オフ - Bluetooth 検出可能モードを無効にします。   |      |  |                 |                        |
| 使用される SGD コマンド:  | bluetooth.discoverable   |      |  |                 |                        |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |      |               |                 |                                 |
|--|--|------|---------------|-----------------|---------------------------------|
|  <p>The screenshot shows the 'Friendly Name' (親しみやすい名前) settings screen. At the top, the time is 14:58 and the status is 'Connected' (接続). Below the title bar, there are icons for settings, printer status, and connectivity. The main area displays the current name 'Zebra' above a QWERTY keyboard. A checkmark is visible at the bottom, indicating the name has been saved.</p>                                      | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [親しみやすい名前]</b></p> <p>このコマンドは、サービス検索時に使用される解りやすい名前を設定します。変更を有効にするには、プリンタの電源を入れ直すか、device.reset コマンドを発行する必要があります (<a href="#">[接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット]</a> を参照)。</p> <p>親しみやすい名前を設定しない場合は、デフォルトでプリンタのシリアル番号に設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="708 506 1521 842"> <tr> <td>有効値:</td> <td>17 文字のテキスト文字列</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>bluetooth.friendly_name</td> </tr> </table>             | 有効値: | 17 文字のテキスト文字列 | 使用される SGD コマンド: | bluetooth.friendly_name         |
| 有効値:   | 17 文字のテキスト文字列  |      |               |                 |                                 |
| 使用される SGD コマンド:  | bluetooth.friendly_name  |      |               |                 |                                 |
|  <p>The screenshot shows the 'Minimum Security Mode' (最小セキュリティモード) settings screen. At the top, the time is 03:41 PM and the status is 'Connected' (接続). Below the title bar, there are icons for settings, printer status, and connectivity. The main area displays four radio button options labeled 1, 2, 3, and 4. Option 1 is selected. A question mark icon is visible in the top right corner of the menu area.</p> | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [最小セキュリティ モード]</b></p> <p>このプリンタ設定パラメータは、Bluetooth 最小セキュリティ モードを設定します。最小セキュリティ モードは、プリンタ無線バージョンとプリンタ ファームウェアに応じて、さまざまなレベルのセキュリティに対応します。詳細については、『Zebra プログラミングガイド』 (<a href="http://zebra.com/manuals">zebra.com/manuals</a>) を参照してください。</p> <table border="1" data-bbox="708 1079 1521 1457"> <tr> <td>有効値:</td> <td>1、2、3、4</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>bluetooth.minimum_security_mode</td> </tr> </table> | 有効値: | 1、2、3、4       | 使用される SGD コマンド: | bluetooth.minimum_security_mode |
| 有効値:   | 1、2、3、4  |      |               |                 |                                 |
| 使用される SGD コマンド:  | bluetooth.minimum_security_mode  |      |               |                 |                                 |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |                          |
|---|---|--------------------------|
|  <p>The screenshot shows the Bluetooth settings menu with the following items: Bluetooth (On), Bluetooth 検出 (Off), 親しみやすい名前 (Updating...), 最小セキュリティ・モード (1), 仕様バージョン (4.1), Bluetooth MAC アドレス (98:07:2D:78:C1:14), and Bluetooth 認証ピン (*****).</p>  | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [仕様バージョン]</b><br/>このパラメータは Bluetooth ライブラリのバージョン番号を表示します。</p> <p>使用される SGD コマンド:</p> | <p>bluetooth.version</p> |
|  <p>The screenshot shows the Bluetooth settings menu with the following items: Bluetooth (On), Bluetooth 検出 (Off), 親しみやすい名前 (Updating...), 最小セキュリティ・モード (1), 仕様バージョン (4.1), Bluetooth MAC アドレス (98:07:2D:78:C1:14), and Bluetooth 認証ピン (*****).</p> | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [MAC アドレス]</b><br/>このパラメータは Bluetooth デバイス アドレスを表示します。</p> <p>使用される SGD コマンド:</p>    | <p>bluetooth.address</p> |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |  |                 |  |                 |                   |
|--|--|--|-----------------|--|-----------------|-------------------|
|   | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [Bluetooth 認証ピン]</b><br/>Bluetooth 認証の有効時に使用する PIN を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="699 331 1529 852"> <tr> <td data-bbox="699 331 878 852">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="878 331 1529 852">                     bluetooth.bluetooth_pin (PIN を設定)<br/>                     bluetooth.authentication (認証を有効にする)                 </td> </tr> </table>  |  | 使用される SGD コマンド: | bluetooth.bluetooth_pin (PIN を設定)<br>bluetooth.authentication (認証を有効にする) |                 |                   |
| 使用される SGD コマンド:  | bluetooth.bluetooth_pin (PIN を設定)<br>bluetooth.authentication (認証を有効にする)   |  |                 |  |                 |                   |
|  | <p><b>[接続] &gt; [Bluetooth] &gt; [Bluetooth ボンディング]</b><br/>プリンタに正常に接続しているデバイスについて、Bluetooth スタックがリンク キーをボンディングするか、保存するかを制御します。</p> <table border="1" data-bbox="699 1010 1529 1472"> <tr> <td data-bbox="699 1010 878 1104">有効値:</td> <td data-bbox="878 1010 1529 1104">                     オン - IBluetooth ボンディングを有効にします。<br/>                     オフ - IBluetooth ボンディングを無効にします。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 1104 878 1472">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="878 1104 1529 1472">                     bluetooth.bonding                 </td> </tr> </table> |  | 有効値:            | オン - IBluetooth ボンディングを有効にします。<br>オフ - IBluetooth ボンディングを無効にします。         | 使用される SGD コマンド: | bluetooth.bonding |
| 有効値:   | オン - IBluetooth ボンディングを有効にします。<br>オフ - IBluetooth ボンディングを無効にします。   |  |                 |  |                 |                   |
| 使用される SGD コマンド:  | bluetooth.bonding  |  |                 |  |                 |                   |

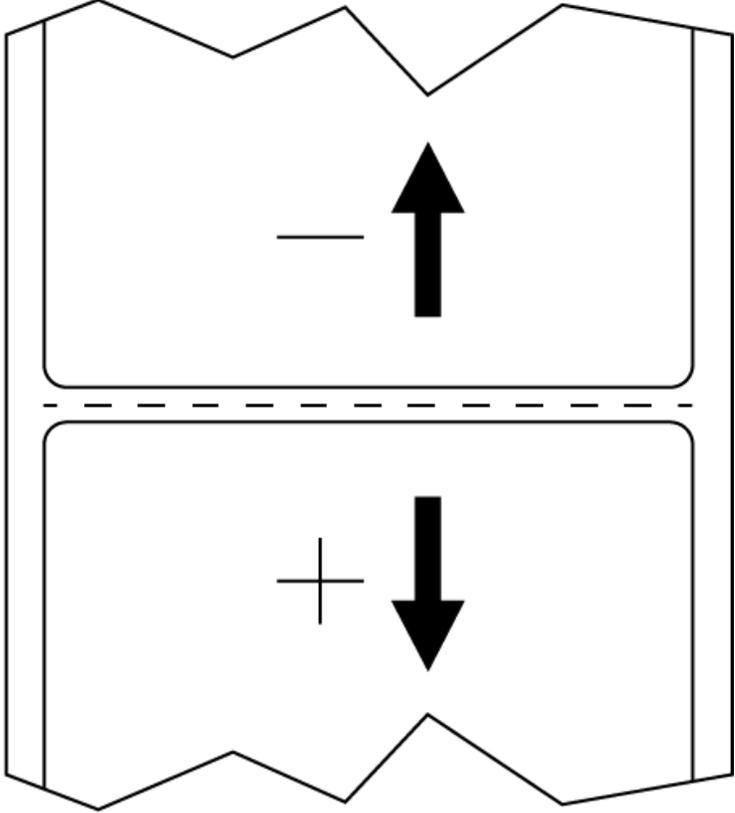
印刷メニュー

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |      |            |              |            |                 |             |                |   |
|--|---|------|------------|--------------|------------|-----------------|-------------|----------------|---|
|   | <p><b>[印刷] &gt; [印字品質] &gt; [濃度]</b></p> <p>印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>0.0 ~ 30.0</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^MD<br/>~SD</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>print.tone</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Darkness] (印字濃度)</b></td> </tr> </table> | 有効値: | 0.0 ~ 30.0 | 関連 ZPL コマンド: | ^MD<br>~SD | 使用される SGD コマンド: | print.tone  | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Darkness] (印字濃度)</b>    |
| 有効値:   | 0.0 ~ 30.0  |      |            |              |            |                 |             |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^MD<br>~SD  |      |            |              |            |                 |             |                |   |
| 使用される SGD コマンド:  | print.tone  |      |            |              |            |                 |             |                |   |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Darkness] (印字濃度)</b>  |      |            |              |            |                 |             |                |   |
|  | <p><b>[印刷] &gt; [印字品質] &gt; [印字速度]</b></p> <p>ラベル印刷の速度を、1 秒あたりのインチ数 (ips) で選択します。通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>2 ~ 14ips</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^PR</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>media.speed</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Print Speed] (印字速度)</b></td> </tr> </table>   | 有効値: | 2 ~ 14ips  | 関連 ZPL コマンド: | ^PR        | 使用される SGD コマンド: | media.speed | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Print Speed] (印字速度)</b> |
| 有効値:   | 2 ~ 14ips   |      |            |              |            |                 |             |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^PR   |      |            |              |            |                 |             |                |   |
| 使用される SGD コマンド:  | media.speed   |      |            |              |            |                 |             |                |   |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Print Speed] (印字速度)</b>   |      |            |              |            |                 |             |                |   |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
|--|---|------|--|--------------|-----|-----------------|-------------------|----------------|--|
|   | <p><b>[印刷] &gt; [印字品質] &gt; [印刷タイプ]</b><br/>                     プリンタで印刷にリボンを使用する必要があるかどうかを指定します。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="699 363 873 510">有効値:</td> <td data-bbox="873 363 1529 510"> <ul style="list-style-type: none"> <li>熱転写 - リボンと熱転写用紙を使用します。</li> <li>感熱 - 感熱用紙を使用し、リボンは使用しません。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 510 873 594">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="873 510 1529 594">^MT</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 594 873 709">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 594 1529 709">ezpl.print_method</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 709 873 852">プリンタの Web ページ:</td> <td data-bbox="873 709 1529 852"> <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定) &gt; [Print Method] (印字方式)</b> </td> </tr> </table>   | 有効値: | <ul style="list-style-type: none"> <li>熱転写 - リボンと熱転写用紙を使用します。</li> <li>感熱 - 感熱用紙を使用し、リボンは使用しません。</li> </ul>  | 関連 ZPL コマンド: | ^MT | 使用される SGD コマンド: | ezpl.print_method | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定) &gt; [Print Method] (印字方式)</b> |
| 有効値:   | <ul style="list-style-type: none"> <li>熱転写 - リボンと熱転写用紙を使用します。</li> <li>感熱 - 感熱用紙を使用し、リボンは使用しません。</li> </ul>   |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^MT   |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | ezpl.print_method   |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定) &gt; [Print Method] (印字方式)</b>  |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
|  | <p><b>[印刷] &gt; [印字品質] &gt; [ラベルタイプ]</b><br/>                     使用する用紙のタイプを選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="699 957 873 1171">有効値:</td> <td data-bbox="873 957 1529 1171">                     [連続]、[ギャップ/切れ込み]、[マーク]<br/> <b>[連続]</b> を選択した場合は、ラベルフォーマットでラベルの長さ (ZPL を使用する場合は ^LL) も指定する必要があります。各種の単票用紙に <b>[ギャップ/切れ込み]</b> または <b>[マーク]</b> を選択する場合、プリンタは用紙をフィードしてラベル長を算出します。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 1171 873 1255">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="873 1171 1529 1255">^MN</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 1255 873 1371">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 1255 1529 1371">ezpl.media_type</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 1371 873 1484">プリンタの Web ページ:</td> <td data-bbox="873 1371 1529 1484"> <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定) &gt; [Media Type] (用紙タイプ)</b> </td> </tr> </table> | 有効値: | [連続]、[ギャップ/切れ込み]、[マーク]<br><b>[連続]</b> を選択した場合は、ラベルフォーマットでラベルの長さ (ZPL を使用する場合は ^LL) も指定する必要があります。各種の単票用紙に <b>[ギャップ/切れ込み]</b> または <b>[マーク]</b> を選択する場合、プリンタは用紙をフィードしてラベル長を算出します。 | 関連 ZPL コマンド: | ^MN | 使用される SGD コマンド: | ezpl.media_type   | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定) &gt; [Media Type] (用紙タイプ)</b>  |
| 有効値:   | [連続]、[ギャップ/切れ込み]、[マーク]<br><b>[連続]</b> を選択した場合は、ラベルフォーマットでラベルの長さ (ZPL を使用する場合は ^LL) も指定する必要があります。各種の単票用紙に <b>[ギャップ/切れ込み]</b> または <b>[マーク]</b> を選択する場合、プリンタは用紙をフィードしてラベル長を算出します。  |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^MN   |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
| 使用される SGD コマンド:  | ezpl.media_type   |      |  |              |     |                 |                   |                |  |
| プリンタの Web ページ:   | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定) &gt; [Media Type] (用紙タイプ)</b>   |      |  |              |     |                 |                   |                |  |

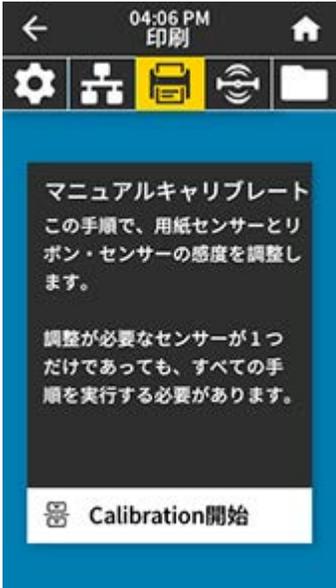
| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |   |
|--|--|---|
|   | <p><b>[印刷] &gt; [印字品質] &gt; [ラベル長]</b></p> <p>キャリブレーション済みのラベル長をドットで表示します。この値は、次のいずれかの条件でのみ変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタが連続用紙用に設定されています</li> <li>• ^LL の 2 番目のパラメータは Y に設定されています</li> </ul> |   |
|  | <p><b>[印刷] &gt; [印字品質] &gt; [ラベル幅 (ドット数)]</b></p> <p>使用するラベルの幅をドット数で指定します。デフォルト値は、印字ヘッドの DPI 値に基づいたプリンタの最大幅です。</p> <p>有効値:</p>   | <p>関連 ZPL コマンド: ^LL</p> <p> <b>注:</b> 指定する幅が狭すぎると、ラベルフォーマットの一部が用紙に印刷されない場合があります。設定する幅が広すぎると、フォーマットメモリを浪費し、ラベル外やプラテンローラー上に印刷がはみ出る可能性があります。^POI ZPL II コマンドを使用してイメージが反転されている場合、この設定はラベルフォーマットの縦位置に影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>203dpi = 0002 ~ 832<br/>300dpi = 0002 ~ 1248</p> <p>関連 ZPL コマンド: ^PW</p> <p>使用される SGD コマンド: ezpl.print_width</p> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定) &gt; [Print Width] (印字幅)</b></p> |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |      |  |              |     |                 |                 |                |   |
|---|---|------|--|--------------|-----|-----------------|-----------------|----------------|---|
|  | <p><b>[印刷] &gt; [イメージ調整] &gt; [用紙処理]</b><br/>                     ご使用のプリンタで利用できるオプションと互換性のある用紙処理方式を選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="704 365 873 512">有効値:</td> <td data-bbox="873 365 1521 512">切り取り、剥離、巻き取り、カッター、遅延カット、台紙なし剥離、台紙なし巻き取り、台紙なし切り取り、アプリケーションモード、台紙無しカット、台紙無し遅延カット</td> </tr> <tr> <td data-bbox="704 512 873 596">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="873 512 1521 596">^MM</td> </tr> <tr> <td data-bbox="704 596 873 716">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 596 1521 716">media.printmode</td> </tr> <tr> <td data-bbox="704 716 873 863">プリンタの Web ページ:</td> <td data-bbox="873 716 1521 863"><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Print Mode] (印字モード)</b></td> </tr> </table> | 有効値: | 切り取り、剥離、巻き取り、カッター、遅延カット、台紙なし剥離、台紙なし巻き取り、台紙なし切り取り、アプリケーションモード、台紙無しカット、台紙無し遅延カット | 関連 ZPL コマンド: | ^MM | 使用される SGD コマンド: | media.printmode | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Print Mode] (印字モード)</b> |
| 有効値:  | 切り取り、剥離、巻き取り、カッター、遅延カット、台紙なし剥離、台紙なし巻き取り、台紙なし切り取り、アプリケーションモード、台紙無しカット、台紙無し遅延カット  |      |  |              |     |                 |                 |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^MM   |      |  |              |     |                 |                 |                |   |
| 使用される SGD コマンド:   | media.printmode   |      |  |              |     |                 |                 |                |   |
| プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Print Mode] (印字モード)</b>   |      |  |              |     |                 |                 |                |   |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |
|---|---|
|  | <p><b>[印刷] &gt; [イメージ調整] &gt; [切り取り線オフセット]</b></p> <p>必要に応じて、この用紙位置が印刷後に切り取りバーの上にくるように移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 数値を小さくすると、指定したドット数だけ用紙が引っ込みます (切り取り線が印刷されたラベルの端に近くなります)。</li> <li>• 数値を大きくすると、用紙がプリンタの外へ出ます (切り取り線が次のラベルの先端に近くなります)。</li> </ul>  |
| 有効値:  | -120 ~ +120   |
| 関連 ZPL コマンド:  | ~TA   |
| 使用される SGD コマンド:   | ezpl.tear_off   |
| プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings]</b> (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > <b>[General Setup]</b> (基本設定) > <b>[Tear Off]</b> (切り取り)  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
|--|---|------|--------------|--------------|-----|-----------------|-------------------|----------------|---|
|   | <p>[印刷] &gt; [イメージ調整] &gt; [水平方向ラベル オフセット]<br/>必要に応じて、ラベル上のイメージの位置を水平方向にシフトします。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>-9999 ~ 9999</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^LS</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>zpl.left_position</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Advanced Setup] (詳細設定) &gt; [Left Position] (X 印字基点)</td> </tr> </table>             | 有効値: | -9999 ~ 9999 | 関連 ZPL コマンド: | ^LS | 使用される SGD コマンド: | zpl.left_position | プリンタの Web ページ: | [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Advanced Setup] (詳細設定) > [Left Position] (X 印字基点) |
| 有効値:   | -9999 ~ 9999  |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^LS   |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
| 使用される SGD コマンド:  | zpl.left_position   |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
| プリンタの Web ページ:   | [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [Advanced Setup] (詳細設定) > [Left Position] (X 印字基点)   |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
|  | <p>[印刷] &gt; [イメージ調整] &gt; [Vertical Label Offset] (垂直ラベル オフセット)<br/>必要に応じて、ラベル上のイメージの位置を垂直方向にシフトします。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>-120 ~ +120</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^LT</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>zpl.label_top</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [General Setup] (基本設定) &gt; [Label Top] (Y 印字基点)</td> </tr> </table> | 有効値: | -120 ~ +120  | 関連 ZPL コマンド: | ^LT | 使用される SGD コマンド: | zpl.label_top     | プリンタの Web ページ: | [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Label Top] (Y 印字基点)      |
| 有効値:   | -120 ~ +120   |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^LT   |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
| 使用される SGD コマンド:  | zpl.label_top   |      |              |              |     |                 |                   |                |   |
| プリンタの Web ページ:   | [View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > [General Setup] (基本設定) > [Label Top] (Y 印字基点)  |      |              |              |     |                 |                   |                |   |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明  |
|--|--|
|   | <p><b>[印刷] &gt; [イメージ調整] &gt; [Invert Label] (ラベルを反転)</b><br/>                     これがオンの場合、ラベルの向きは反転します。</p> <p>有効値:            オン、オフ</p> <p>関連 ZPL コマンド:    ^PO</p>  |
|  | <p><b>[印刷] &gt; [イメージ調整] &gt; [バックフィード]</b><br/>                     印刷に関連したバックフィードを指定</p> <p>有効値:            N = 標準 - ラベル印刷後、90 パーセントのバックフィード<br/>                     A = 印刷と切り取りの後、100 パーセントのバックフィード<br/>                     O = オフ - バックフィードを完全にオフにする<br/>                     B = 印刷と切り取りの後、0 パーセントのバックフィード、および次のラベルの印刷前は 100 パーセントのバックフィード<br/>                     10 ~ 90 = パーセント値</p> <p>関連 ZPL コマンド:    ~JS</p> |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |  |              |         |                 |                         |               |  |
|---|---|--|--------------|---------|-----------------|-------------------------|---------------|--|
|    | <p><b>[印刷] &gt; [センサー] &gt; [マニュアル キャリブレーション]</b></p> <p>用紙センサーとリボンセンサーの感度を調整するには、プリンタのキャリブレーションを行います。</p> <p>キャリブレーション手順を実行する方法の詳細については、<a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション</a> (111ページ) を参照してください。</p> <table border="1" data-bbox="699 472 1529 787"> <tr> <td data-bbox="699 472 873 556">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="873 472 1529 556">~JC</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 556 873 661">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 556 1529 661">ezpl.manual_calibration</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 661 873 787">コントロールパネルのキー:</td> <td data-bbox="873 661 1529 787">キャリブレーションを開始するには、<b>PAUSE (一時停止) + FEED (フィード) + CANCEL (キャンセル)</b> を 2 秒間長押しします。</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ:</p> <p>キャリブレーション手順は、Web ページからは開始できません。センサー キャリブレーション時に行われる設定については、次の Web ページを参照してください。</p> <p><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b></p> <p><b>!</b> <b>重要:</b> Zebra 技術サポートまたは認定技術者からの指示でない限り、これらの設定は変更しないでください。</p> |  | 関連 ZPL コマンド: | ~JC     | 使用される SGD コマンド: | ezpl.manual_calibration | コントロールパネルのキー: | キャリブレーションを開始するには、 <b>PAUSE (一時停止) + FEED (フィード) + CANCEL (キャンセル)</b> を 2 秒間長押しします。 |
| 関連 ZPL コマンド:  | ~JC   |  |              |         |                 |                         |               |  |
| 使用される SGD コマンド:   | ezpl.manual_calibration   |  |              |         |                 |                         |               |  |
| コントロールパネルのキー:   | キャリブレーションを開始するには、 <b>PAUSE (一時停止) + FEED (フィード) + CANCEL (キャンセル)</b> を 2 秒間長押しします。  |  |              |         |                 |                         |               |  |
|  | <p><b>[印刷] &gt; [センサー] &gt; [ラベル センサー]</b></p> <p>ラベルセンサーの感度を設定します。</p> <p><b>!</b> <b>重要:</b> この値は、センサーのキャリブレーション時に設定されます。Zebra 技術サポートまたは認定技術者からの指示でない限り、これらの設定は変更しないでください。</p> <table border="1" data-bbox="699 1417 1529 1575"> <tr> <td data-bbox="699 1417 873 1459">有効値:</td> <td data-bbox="873 1417 1529 1459">0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 1459 873 1575">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 1459 1529 1575">ezpl.label_sensor</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ:</p> <p><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Calibration] (キャリブレーション)</b></p>  |  | 有効値:         | 0 ~ 255 | 使用される SGD コマンド: | ezpl.label_sensor       |               |  |
| 有効値:  | 0 ~ 255   |  |              |         |                 |                         |               |  |
| 使用される SGD コマンド:   | ezpl.label_sensor   |  |              |         |                 |                         |               |  |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明  |              |         |               |   |                 |  |                |   |
|---|--|--------------|---------|---------------|---|-----------------|--|----------------|---|
|  <p>04:08 PM 印刷</p> <p>センサー・タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 反射器</li> <li>● 透過式</li> </ul>   | <p><b>[印刷] &gt; [センサー] &gt; [センサー タイプ]</b></p> <p>使用する用紙に適切な用紙センサーを選択します。通常、反射式センサーは黒マーク用紙用です。通常、透過式センサーは、その他の用紙タイプに使用されます。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効値:</td> <td>透過式、反射式</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^JS</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>device.sensor_select</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定)</b></td> </tr> </table>  | 有効値:         | 透過式、反射式 | 関連 ZPL コマンド:  | ^JS   | 使用される SGD コマンド: | device.sensor_select   | プリンタの Web ページ: | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定)</b> |
| 有効値:  | 透過式、反射式  |              |         |               |   |                 |  |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^JS  |              |         |               |   |                 |  |                |   |
| 使用される SGD コマンド:   | device.sensor_select   |              |         |               |   |                 |  |                |   |
| プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Media Setup] (用紙設定)</b>  |              |         |               |   |                 |  |                |   |
|  <p>08:23 PM 印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印字品質</li> <li>ラベル位置</li> <li>センサー</li> <li>♥ マニュアルキャリブプレート</li> <li>♥ ラベル・センサー 204</li> <li>♥ センサー・タイプ 透過式</li> <li>♥ 印刷: センサプロフィール</li> <li>印刷ステーション</li> </ul> | <p><b>[印刷] &gt; [センサー] &gt; [印刷: センサー プロフィール]</b></p> <p>実際のセンサー読み取り値と比較したセンサー設定を表示します。結果の解釈については、<a href="#">センサー プロフィール</a> (139ページ) を参照してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>~JG</td> </tr> <tr> <td>コントロールパネルのキー:</td> <td>プリンタの電源投入時に、<b>FEED (フィード)</b> と <b>CANCEL (キャンセル)</b> を長押しする。</td> </tr> <tr> <td>プリンタの Web ページ:</td> <td><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷) &gt;</b></td> </tr> </table> | 関連 ZPL コマンド: | ~JG     | コントロールパネルのキー: | プリンタの電源投入時に、 <b>FEED (フィード)</b> と <b>CANCEL (キャンセル)</b> を長押しする。 | プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷) &gt;</b> |                |   |
| 関連 ZPL コマンド:  | ~JG  |              |         |               |   |                 |  |                |   |
| コントロールパネルのキー:   | プリンタの電源投入時に、 <b>FEED (フィード)</b> と <b>CANCEL (キャンセル)</b> を長押しする。  |              |         |               |   |                 |  |                |   |
| プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷) &gt;</b>   |              |         |               |   |                 |  |                |   |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |  |                 |   |
|---|---|--|-----------------|---|
|    | <p><b>[印刷] &gt; [Print Station] (印刷ステーション)</b></p> <p>このメニュー項目では、USB キーボード、スケールやバーコードスキャナなど、データ入力装置 (HID) を使用して、ラベルフォーマットで変数フィールドに入力し、ラベルを印刷します。このオプションを使用するには、プリンタの E: ドライブに適切なラベルフォーマットを保存する必要があります。この機能を使用した演習については、<a href="#">USB ホストポートと Print Touch 機能の使用</a> (167 ページ) の演習を参照してください。</p> <p>プリンタの USB ホストポートに HID を接続したら、このユーザーメニューを使用してプリンタの E: ドライブにあるフォームを選択します。フォームにある各変数 ^FN フィールドの入力を求めるプロンプトが表示されたら、印刷する希望のラベル枚数を指定できます。</p> <p>この機能に関連する ^FN コマンドまたは SGD コマンドの使用に関する詳細は、『Zebra プログラミング ガイド』 (<a href="http://zebra.com/manuals">zebra.com/manuals</a>) を参照してください。</p> <p> <b>注:</b> このメニュー項目は、プリンタの USB ホストポートに USB デバイスが接続されている場合にのみ使用できません。</p> <table border="1" data-bbox="698 926 1526 1234"> <tr> <td data-bbox="698 926 873 1234">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="873 926 1526 1234"> <pre>usb.host.keyboard_input (ON に設定) usb.host.template_list usb.host.fn_field_list usb.host.fn_field_data usb.host.fn_last_field usb.host.template_print_amount</pre> </td> </tr> </table> |  | 使用される SGD コマンド: | <pre>usb.host.keyboard_input (ON に設定) usb.host.template_list usb.host.fn_field_list usb.host.fn_field_data usb.host.fn_last_field usb.host.template_print_amount</pre>  |
| 使用される SGD コマンド:   | <pre>usb.host.keyboard_input (ON に設定) usb.host.template_list usb.host.fn_field_list usb.host.fn_field_data usb.host.fn_last_field usb.host.template_print_amount</pre>  |  |                 |   |
|  | <p><b>[印刷] &gt; [アプリケーション] &gt; [Applicator Port Mode] (アプリケーションポートモード)</b></p> <p>アプリケーションポートの「発行終了」信号がどのように機能するかを制御します。</p> <table border="1" data-bbox="698 1398 1526 1862"> <tr> <td data-bbox="698 1398 873 1862">有効値:</td> <td data-bbox="873 1398 1526 1862"> <p>オフ</p> <p>1 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみローに設定されます。</p> <p>2 = 発行終了信号は通常はローに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみハイに設定されます。</p> <p>3 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ローに設定されます。</p> <p>4 = 発行終了信号は通常はローに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ハイに設定されます。</p> </td> </tr> </table>   |  | 有効値:            | <p>オフ</p> <p>1 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみローに設定されます。</p> <p>2 = 発行終了信号は通常はローに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみハイに設定されます。</p> <p>3 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ローに設定されます。</p> <p>4 = 発行終了信号は通常はローに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ハイに設定されます。</p> |
| 有効値:  | <p>オフ</p> <p>1 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみローに設定されます。</p> <p>2 = 発行終了信号は通常はローに設定され、プリンタがラベルを前に送り出している間のみハイに設定されます。</p> <p>3 = 発行終了信号は通常はハイに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ローに設定されます。</p> <p>4 = 発行終了信号は通常はローに設定され、ラベルが印刷され配置された場合 20ms 間ハイに設定されます。</p>   |  |                 |   |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |   |
|---|---|---|
|   | 関連 ZPL コマンド:  | ^JJ   |
|   | 使用される SGD コマンド:   | device.applicator.end_print   |
|   | <b>[印刷] &gt; [アプリケーター] &gt; [発行開始モード]</b><br>アプリケーター ポートの「発行開始」信号がレベル モードであるか、パルス モードであるかどうかを決定します。                                 |   |
|   | 有効値:  | パルス - 発行開始信号は次のラベルに対してアサートされる前に無効にする必要があります。<br>レベル - 発行開始信号は、次のラベルを印刷するために無効にする必要はありません。発行開始信号がローで、ラベルがフォーマットされている限り、ラベルは印刷されます。   |
|   | 関連 ZPL コマンド:  | ^JJ   |
|   | 使用される SGD コマンド:   | device.applicator.start_print   |
|  | <b>[印刷] &gt; [アプリケーター] &gt; [エラーで一時停止]</b><br>アプリケーター ポートのエラーをプリンタで処理する方法を決定します。この機能を有効にすると、[Service Required] (サービス要) ピンもアサートされます。 |   |
|   | 有効値:  | 有効、無効   |
|   | 使用される SGD コマンド:   | device.applicator.error_on_pause  |
|   | プリンタの Web ページ:  | <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Advanced Setup] (詳細設定) &gt; [Error on Pause] (エラーのため一時停止)</b> |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |  |
|---|---|--|
|  <p>メニュー表示: アプリケーター再発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Low</li> <li>○ High</li> </ul> | <p><b>[印刷] &gt; [アプリケーター] &gt; [アプリケーター再発行]</b></p> <p>アプリケーターがラベルを再印刷するために High 値または Low 値のどちらの値が必要かを指定します。</p> <p>~PR コマンドが有効または無効になります。有効になると、最後に印刷したラベルが再印刷されます。また、[ホーム] 画面の [再発行] ボタンも有効になります。</p> |  |
| <p>関連 ZPL コマンド:</p>   | <p>^JJ および ~PR</p>  |  |
| <p>使用される SGD コマンド:</p>  | <p>device.applicator.reprint</p>  |  |

## RFID メニュー

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明  |  |
|---|--|--|
|  <p>メニュー表示: RFID</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>RFID ステータス RFID Ok</li> <li>RFID テスト</li> <li>RFID キャリブレーション</li> <li>RFID 読み取りパワー 1</li> <li>RFID 書き込みパワー 2</li> <li>RFID アンテナ C3</li> <li>RFID 有効カウント 1</li> </ul> | <p><b>[RFID] &gt; [RFID ステータス]</b></p> <p>プリンタの RFID サブシステムのステータスを表示します。</p> |  |
| <p>関連 ZPL コマンド:</p>   | <p>^HL<br/>または<br/>~HL</p>   |  |
| <p>使用される SGD コマンド:</p>  | <p>rfid.error.response</p>   |  |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明  |   |
|---|--|---|
|  | <p><b>[RFID] &gt; [RFID テスト]</b></p> <p>RFID テストでは、プリンタがトランスポンダに対する読み取りと書き込みを試行します。このテストではプリンタに動きが生じません。</p> <p>RFID ラベルをテストするには、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トランスポンダが RFID アンテナ アレイに重なるように、RFID ラベルの位置を決めます。</li> <li>2. <b>[開始]</b> をタッチします。</li> </ol> <p>テストの結果がディスプレイに表示されます。</p> |  |
|   | <p>使用される SGD コマンド:</p>   | <p>rfid.tag.test.content および<br/>rfid.tag.test.execute</p>                          |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明  |              |        |                 |                    |                 |                          |
|---|--|--------------|--------|-----------------|--------------------|-----------------|--------------------------|
|    | <p><b>[RFID] &gt; [RFID キャリブレーション]</b></p> <p>RFID 用紙のタグ キャリブレーションを開始します(用紙およびリボンのキャリブレーションと同じではありません)。</p> <p>処理中、プリンタは用紙を動かし、RFID タグ位置のキャリブレーションを行い、使用されている RFID 用紙に最適な設定を特定します。</p> <p>これらの設定にはプログラミング位置、使用するアンテナ エレメント、使用する読み取り/書き込みのパワーレベルが含まれます(詳細については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照してください)。</p> <p> <b>注:</b> このコマンドを実行する前に、プリンタに RFID 用紙をセットしてプリンタのキャリブレーションを行い、印字ヘッドを閉じ、1 枚以上のラベルをフィードして、タグキャリブレーションが正確な位置から開始することを確認してください。</p> <p>キャリブレーションが行なわれているタグの前後のトランスポンダはすべてそのままにします。これにより、プリンタは、隣接するタグをエンコードしない RFID 設定を特定できます。タグキャリブレーション手順中にバックフィードできるように、プリンタの前面から用紙の一部がはみ出ているようにします。</p> <table border="1" data-bbox="699 961 1529 1161"> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^HR</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>rfid.tag.calibrate</td> </tr> </table> | 関連 ZPL コマンド: | ^HR    | 使用される SGD コマンド: | rfid.tag.calibrate |                 |                          |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^HR  |              |        |                 |                    |                 |                          |
| 使用される SGD コマンド:   | rfid.tag.calibrate   |              |        |                 |                    |                 |                          |
|  | <p><b>[RFID] &gt; [読み取りパワー]</b></p> <p>RFID タグのキャリブレーションに必要な読み取り出力に達しない場合は、値を指定できます。</p> <table border="1" data-bbox="699 1287 1529 1539"> <tr> <td>有効値:</td> <td>0 ~ 30</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^RW</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>rfid.reader_1.power.read</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [RFID Setup] (RFID 設定) &gt; [RFID READ PWR] (RFID 読み取りパワー)</b></p>   | 有効値:         | 0 ~ 30 | 関連 ZPL コマンド:    | ^RW                | 使用される SGD コマンド: | rfid.reader_1.power.read |
| 有効値:  | 0 ~ 30   |              |        |                 |                    |                 |                          |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^RW  |              |        |                 |                    |                 |                          |
| 使用される SGD コマンド:   | rfid.reader_1.power.read   |              |        |                 |                    |                 |                          |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |      |                            |              |     |                 |                            |
|--|---|------|----------------------------|--------------|-----|-----------------|----------------------------|
|   | <p><b>[RFID] &gt; [RFID 書き込みパワー]</b></p> <p>RFID タグのキャリブレーションに必要な書き込み出力に達しない場合は、値を指定できます。</p> <table border="1" data-bbox="699 363 1521 619"> <tr> <td>有効値:</td> <td>0 ~ 30</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^RW</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>rfid.reader_1.power.write</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [RFID Setup] (RFID 設定) &gt; [RFID WRITE PWR] (RFID 読み取りパワー)</b></p>                 | 有効値: | 0 ~ 30                     | 関連 ZPL コマンド: | ^RW | 使用される SGD コマンド: | rfid.reader_1.power.write  |
| 有効値:   | 0 ~ 30  |      |                            |              |     |                 |                            |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^RW   |      |                            |              |     |                 |                            |
| 使用される SGD コマンド:  | rfid.reader_1.power.write   |      |                            |              |     |                 |                            |
|  | <p><b>[RFID] &gt; [RFID アンテナ]</b></p> <p>RFID タグ キャリブレーションで希望するアンテナ選択ができない場合は、値を指定できます。</p> <table border="1" data-bbox="699 997 1521 1291"> <tr> <td>有効値:</td> <td>A1、A2、A3、A4<br/>B1、B2、B3、B4</td> </tr> <tr> <td>関連 ZPL コマンド:</td> <td>^RW</td> </tr> <tr> <td>使用される SGD コマンド:</td> <td>rfid.reader_1.antenna_port</td> </tr> </table> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [RFID Setup] (RFID 設定) &gt; [RFID ANTENNA] (RFID アンテナ)</b></p> | 有効値: | A1、A2、A3、A4<br>B1、B2、B3、B4 | 関連 ZPL コマンド: | ^RW | 使用される SGD コマンド: | rfid.reader_1.antenna_port |
| 有効値:   | A1、A2、A3、A4<br>B1、B2、B3、B4  |      |                            |              |     |                 |                            |
| 関連 ZPL コマンド:   | ^RW   |      |                            |              |     |                 |                            |
| 使用される SGD コマンド:  | rfid.reader_1.antenna_port  |      |                            |              |     |                 |                            |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |              |     |                 |                               |
|---|---|--------------|-----|-----------------|-------------------------------|
|  <p>有効カウントのリセット<br/>RFID 有効ラベル・カウンタを<br/>ゼロにリセットしますか?</p> <p>×      ✓</p> <p>RFID 無効カウント<br/>2</p> <p>RFID プログラミング位置<br/>F1</p> <p>RFIDデータ読取り</p> <p>RFID 国コード<br/>Europe</p>  | <p><b>[RFID] &gt; [有効カウントのリセット]</b><br/>RFID 有効ラベル カウンタをゼロにリセットします。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="699 331 873 415">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="876 331 1529 415">~RO</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 420 873 504">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="876 420 1529 504">odometer.rfid.valid_resetable</td> </tr> </table>      | 関連 ZPL コマンド: | ~RO | 使用される SGD コマンド: | odometer.rfid.valid_resetable |
| 関連 ZPL コマンド:  | ~RO   |              |     |                 |                               |
| 使用される SGD コマンド:   | odometer.rfid.valid_resetable   |              |     |                 |                               |
|  <p>無効カウントのリセット<br/>RFID 無効ラベル・カウンタを<br/>ゼロにリセットしますか?</p> <p>×      ✓</p> <p>RFID 無効カウント<br/>2</p> <p>RFID プログラミング位置<br/>F1</p> <p>RFIDデータ読取り</p> <p>RFID 国コード<br/>Europe</p> | <p><b>[RFID] &gt; [無効カウントのリセット]</b><br/>RFID 無効ラベル カウンタをゼロにリセットします。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="699 966 873 1050">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="876 966 1529 1050">~RO</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 1054 873 1138">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="876 1054 1529 1138">odometer.rfid.void_resetable</td> </tr> </table> | 関連 ZPL コマンド: | ~RO | 使用される SGD コマンド: | odometer.rfid.void_resetable  |
| 関連 ZPL コマンド:  | ~RO   |              |     |                 |                               |
| 使用される SGD コマンド:   | odometer.rfid.void_resetable  |              |     |                 |                               |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |      |  |              |     |                 |                       |                |  |
|---|---|------|--|--------------|-----|-----------------|-----------------------|----------------|--|
|  | <p><b>[RFID] &gt; [RFID プログラミング位置]</b></p> <p>RFID タグ キャリブレーションで、必要なプログラミング位置 (読み取り/書き込み位置) に達しない場合は、値を指定できます。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="699 365 873 680">有効値:</td> <td data-bbox="875 365 1521 680"> <p>F0 ~ Fxxx (xxx はミリメートル単位でのラベル長が 999 のいずれか短い方) - プリンタは、指定した分だけラベルを前方にフィードしてからプログラミングを開始します。</p> <p>B0 ~ B30 - プリンタは、指定した分だけラベルをバックフィードしてからプログラミングを開始します。バックフィードのため、後方のプログラミング位置を使用する場合に、プリンタに空の用紙ライナーがプリンタの前面から出るようにします。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 684 873 764">関連 ZPL コマンド:</td> <td data-bbox="875 684 1521 764">^RS</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 768 873 877">使用される SGD コマンド:</td> <td data-bbox="875 768 1521 877">rfid.position.program</td> </tr> <tr> <td data-bbox="699 882 873 991">プリンタの Web ページ:</td> <td data-bbox="875 882 1521 991"> <p><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [RFID Setup] (RFID 設定) &gt; [PROGRAM POSITION] (プログラム位置)</b></p> </td> </tr> </table> | 有効値: | <p>F0 ~ Fxxx (xxx はミリメートル単位でのラベル長が 999 のいずれか短い方) - プリンタは、指定した分だけラベルを前方にフィードしてからプログラミングを開始します。</p> <p>B0 ~ B30 - プリンタは、指定した分だけラベルをバックフィードしてからプログラミングを開始します。バックフィードのため、後方のプログラミング位置を使用する場合に、プリンタに空の用紙ライナーがプリンタの前面から出るようにします。</p> | 関連 ZPL コマンド: | ^RS | 使用される SGD コマンド: | rfid.position.program | プリンタの Web ページ: | <p><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [RFID Setup] (RFID 設定) &gt; [PROGRAM POSITION] (プログラム位置)</b></p> |
| 有効値:  | <p>F0 ~ Fxxx (xxx はミリメートル単位でのラベル長が 999 のいずれか短い方) - プリンタは、指定した分だけラベルを前方にフィードしてからプログラミングを開始します。</p> <p>B0 ~ B30 - プリンタは、指定した分だけラベルをバックフィードしてからプログラミングを開始します。バックフィードのため、後方のプログラミング位置を使用する場合に、プリンタに空の用紙ライナーがプリンタの前面から出るようにします。</p>  |      |  |              |     |                 |                       |                |  |
| 関連 ZPL コマンド:  | ^RS   |      |  |              |     |                 |                       |                |  |
| 使用される SGD コマンド:   | rfid.position.program   |      |  |              |     |                 |                       |                |  |
| プリンタの Web ページ:  | <p><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [RFID Setup] (RFID 設定) &gt; [PROGRAM POSITION] (プログラム位置)</b></p>  |      |  |              |     |                 |                       |                |  |

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明   |  |
|---|---|--|
|  <p>RFID データ読取り</p> <p>RFID ラベルの配置</p> <p>RFID チップから各種のデータを読み取ることができます。データを読み取る前に、RFID トランスポンダー・チップをRFID アンテナ配列に重なるようにセットします。</p> <p>RFID データ読取り</p> | <p><b>[RFID] &gt; [RFID データ読取り]</b></p> <p>RFID アンテナの上にある RFID タグから指定のタグ データを読み取って返します。タグ データの読み取り中は、プリンタは動作しません。印字ヘッドは開閉できません。</p> <p>RFID タグに保存されている情報を読み取って表示する場合は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トランスポンダが RFID アンテナの上になるように、RFID ラベルの位置を決めます。</li> <li>2. <b>[RFID データ読取り]</b> をタッチします。</li> </ol> <p>テストの結果がディスプレイに表示されます。</p>  |  |
| <p>関連 ZPL コマンド:</p>   | <p>^RF</p>  |  |
| <p>使用される SGD コマンド:</p>  | <p>rfid.tag.read.content<br/>rfid.tag.read.execute</p>  |  |

保管メニュー

| メニュー表示  | メニュー オプションの説明  |                            |
|---|--|----------------------------|
|    | <p><b>[保管] &gt; [USB] &gt; [コピー: ファイルを USB に]</b></p> <p>プリンタから USB フラッシュ ドライブに保存するファイルを選択します。</p> <p>プリンタから USB フラッシュ ドライブにファイルをコピーするには:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. USB フラッシュ ドライブをプリンタの USB ホスト ポートに挿入します。<br/>プリンタに使用可能なファイルがリスト表示されます。</li> <li>2. 目的のファイルの横にあるボックスをタッチします。[すべて選択] も利用できます。</li> <li>3. 選択したファイルをコピーするには、チェックマークをタッチします。</li> </ol>         |                            |
|   | <p>使用される SGD コマンド:</p>   | <p>usb.host.write_list</p> |
|   | <p><b>[保管] &gt; [USB] &gt; [コピー: ファイルをプリンタに]</b></p> <p>USB フラッシュ ドライブからプリンタにコピーするファイルを選択します。</p> <p>USB フラッシュ ドライブからコピーするファイルを選択するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. USB フラッシュ ドライブをプリンタの USB ホスト ポートに挿入します。<br/>プリンタに使用可能なファイルがリスト表示されます。</li> <li>2. 目的のファイルの横にあるボックスをタッチします。[すべて選択] も利用できます。</li> <li>3. 選択したファイルをコピーするには、チェック マークをタッチします。</li> </ol> |                            |
|  | <p>使用される SGD コマンド:</p>   | <p>usb.host.read_list</p>  |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |   |
|--|---|---|
|   | <p><b>[保管] &gt; [USB] &gt; [コピー: 設定を USB に]</b></p> <p>この機能を使用して、USB フラッシュドライブなどのプリンタの設定情報を、プリンタの USB ホストポートの1つに接続された USB 大容量記憶装置にコピーします。これによって、物理的にラベルを印刷しなくても、情報にアクセスできます。</p>  |   |
|  | <p><b>[保管] &gt; [USB] &gt; [印刷: USB から]</b></p> <p>USB フラッシュドライブから印刷するファイルを選択します。USB フラッシュドライブからファイルを印刷するには:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. USB フラッシュドライブをプリンタの USB ホストポートに挿入します。<br/>プリンタに使用可能なファイルがリスト表示されます。</li> <li>2. 目的のファイルの横にあるボックスをタッチします。[すべて選択] も利用できます。</li> <li>3. 選択したファイルを印刷するには、チェック マークをタッチします。</li> </ol> |   |
|  | <p>関連 ZPL コマンド:</p> <p>プリンタの Web ページ:</p>   | <p>^HH - ホスト コンピュータに返されたプリンタ設定情報を返します。</p> <p><b>[Printer Home Page] (プリンタのホームページ) &gt; [View Printer Configuration] (プリンタ設定の表示)</b><br/>(Web ブラウザでプリンタ設定情報を表示する)</p> <p><b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷)</b><br/>(ラベルに設定情報を印刷する)</p> <p>使用される SGD コマンド:</p> <p>usb.host.read_list</p> |

| メニュー表示   | メニュー オプションの説明   |
|--|---|
|  <p>The screenshot shows a mobile application interface with a top navigation bar containing a back arrow, the time '04:12 PM', the word '保管' (Storage), and a home icon. Below the navigation bar are several icons: a gear (Settings), a printer, a document, a Wi-Fi symbol, and a folder (selected). The main content area is titled 'USB' and 'アセット・リストの印刷' (Asset List Printing). It lists five options, each with a heart icon: '印刷: フォーマット' (Print: Format), '印刷: イメージ' (Print: Image), '印刷: フォント' (Print: Font), '印刷: バーコード' (Print: Barcode), and '印刷: すべて' (Print: All). A hamburger menu icon is at the bottom.</p>                             | <p><b>[保管] &gt; [アセット リストの印刷]</b><br/>以下の指定された情報を 1 つまたは複数のラベルに印刷します。</p> <p>有効値:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマット - プリンタの RAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリカードに格納されている使用可能なフォーマットを印刷します。</li> <li>イメージ - プリンタの RAM、フラッシュメモリ、またはオプションのメモリカードに格納されている使用可能なイメージを印刷します。</li> <li>フォント - プリンタで使用可能なフォント (標準プリンタフォント、および任意のオプションのフォントを含む) を印刷します。フォントは、RAM またはフラッシュメモリに保存されています。</li> <li>バーコード - プリンタで使用可能なバーコードを印刷します。バーコードは、RAM またはフラッシュメモリに保存されています。</li> <li>すべて - 前述のラベルに加え、プリンタ設定ラベルおよびネットワーク設定ラベルを印刷します。</li> </ul> <p>関連 ZPL コマンド: ^WD</p> <p>プリンタの Web ページ: <b>[View and Modify Printer Settings] (プリンタの設定の表示 &amp; 変更をします) &gt; [Print Listings on Label] (ラベルにリストを印刷)</b></p> |
|  <p>The screenshot shows a mobile application interface with a top navigation bar containing a back arrow, the time '16:02', the word 'Storage', and a home icon. Below the navigation bar are several icons: a gear (Settings), a printer, a document, a Wi-Fi symbol, and a folder (selected). The main content area is titled 'Print from E:'. It has a sub-header 'Printer Files' and the instruction 'Select all the files you want to copy.' Below this is a list of files with checkboxes: 'Select All', 'test_1', 'test_2', 'test_3', and 'test_4'. A checkmark is visible at the bottom of the list. A hamburger menu icon is at the bottom.</p> | <p><b>[保管] &gt; [Print from E:] (E から印刷:)</b><br/>プリンタに保存されている 1 つまたは複数のファイルを印刷します。</p>   |

## リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション

プリンタキャリブレーションは、用紙センサーとリボンセンサーの感度を調整します。印刷されるイメージの適切な位置合わせと最適な印刷品質も保証されます。

次の状況のときにキャリブレーションを実行します。

- リボンまたは用紙のサイズまたは種類を別のものに切り替えたとき。
- プリンタで次のいずれかの問題が発生したとき。
  - ラベルがスキップされる
  - 印刷されたイメージが左右または上下に歪む/ずれる
  - リボンがインストールされているときやなくなったときに、検出されない
  - 単票ラベルが連続ラベルとして扱われる

### 自動キャリブレーションの実行

[#####] または [#####] パラメータを使用して、自動キャリブレーション (CALIBRATE) または短キャリブレーション (SHORT CAL) を実行するようにプリンタを設定できます。

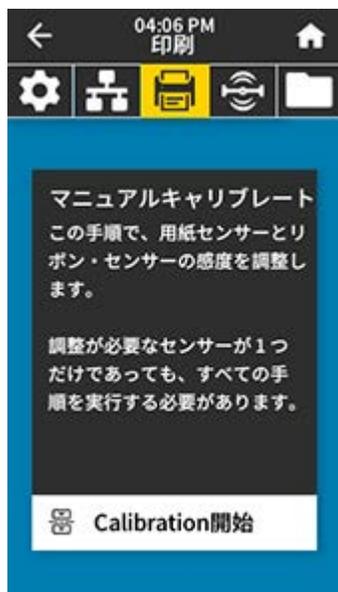
- ##### - センサー レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判定し、用紙を次のウェブまでフィードします。
- ##### - センサー ゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、ラベル長を判定して用紙を次のウェブまでフィードします。

詳細については、[電源投入時の動作](#)または[印字ヘッドを閉めた時の動作](#)を参照してください。

### 手動によるセンサー キャリブレーションの実行

印刷出力に問題がある場合は、プリンタを手動でキャリブレーションする必要があることがあります。

1. [印刷] > [センサー] > [マニュアルキャリブレーション] をタッチします。



2. [Calibration 開始] をタッチします。
3. 指示通り、キャリブレーション手順のステップに従います。



**重要:** 次の説明のとおり、キャリブレーション手順を実行してください。

- [次へ] をタッチして、次のプロンプトに進みます。
- この手順を実行時にコントロールパネルの **CANCEL (キャンセル)** を長押しすると、キャリブレーション処理をいつでもキャンセルできます。

表3 ZT231 用紙キャリブレーション シーケンス

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>11:14 印刷</p> <p>マニュアルキャリブレーション 1/15</p> <p>用紙アクセス用ドア開</p> <p>次へ</p>  | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリブレーション 2/15</p> <p>印刷ヘッド・アセンブリを開く</p> <p>次へ</p> | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリブレーション 3/15</p> <p>リボンを取り外す</p> <p>次へ</p>     |
| <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリブレーション 4/15</p> <p>用紙センサーの位置確認</p> <p>次へ</p> | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリブレーション 5/15</p> <p>ラベルを台紙から取り除く</p> <p>次へ</p>   | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリブレーション 6/15</p> <p>センサーの下まで後退する</p> <p>次へ</p> |

表3 ZT231 用紙キャリプレートシーケンス (Continued)

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリプレート<br/>7/15</p> <p>印字ヘッド・アセンブリを閉じる</p> <p>次へ</p> | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリプレート<br/>8/15</p> <p>余分な用紙を取り出す</p> <p>次へ</p>        | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリプレート<br/>9/15</p> <p>用紙キャリプレートを開始する</p> <p>続行するには、「校正する」ボタンを押します。</p> <p>校正する</p> |
| <p>用紙キャリプレート</p> <p>完了</p>  | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリプレート<br/>11/15</p> <p>リボンのキャリプレートを開始する</p> <p>次へ</p> | <p>12:26 印刷</p> <p>マニュアルキャリプレート<br/>12/15</p> <p>用紙を再装着する</p> <p>次へ</p>                                      |

表3 ZT231 用紙キャリブレーションシーケンス (Continued)



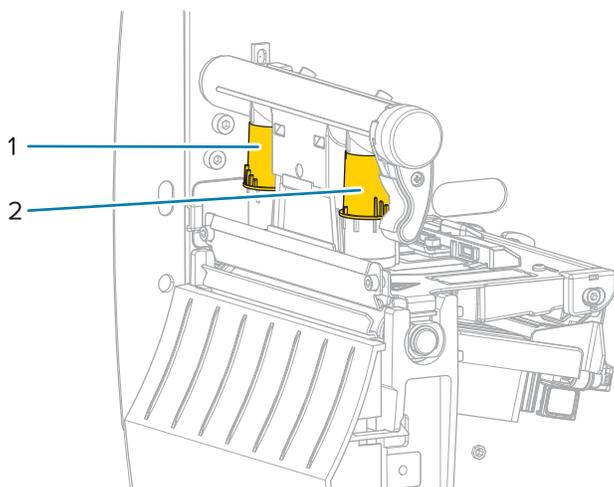
4. キャリブレーションが完了したら、**PAUSE (一時停止)** を押して一時停止モードを終了し、印刷を可能にします。

## 印字ヘッド圧力の調整

片側の印刷が薄すぎる場合や厚い用紙を使用する場合、または印刷中、用紙が左右にずれる場合は、印字ヘッドの圧力調整が必要となることがあります。良質の印刷を行うために必要な最低限の印字ヘッド圧力を使用します。

印字ヘッド圧力調整ダイヤルには、1～4の設定マーク (ハーフマーク単位の増分) があります。

図7 印字ヘッド圧力調整ダイヤル



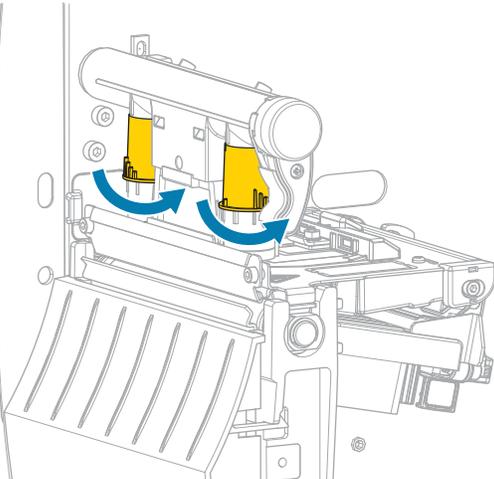
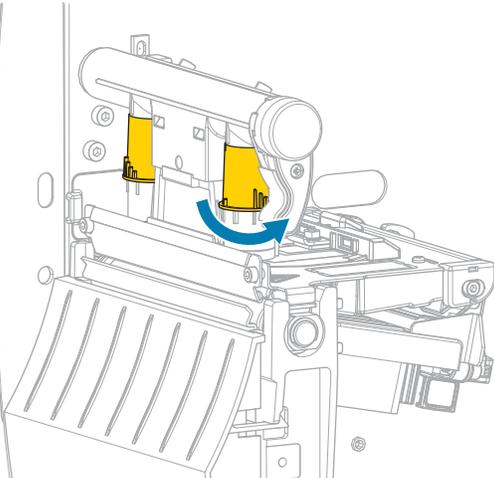
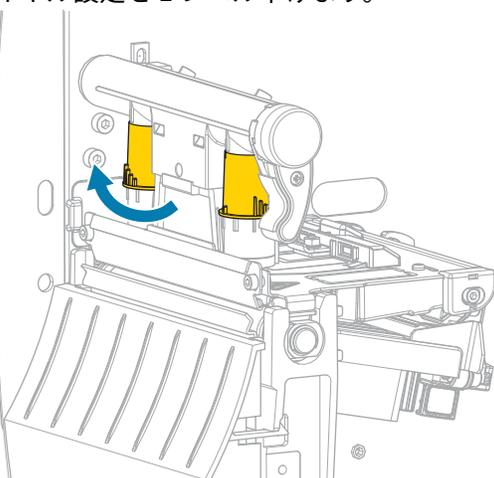
|   |        |
|---|--------|
| 1 | 内側ダイヤル |
| 2 | 外側ダイヤル |

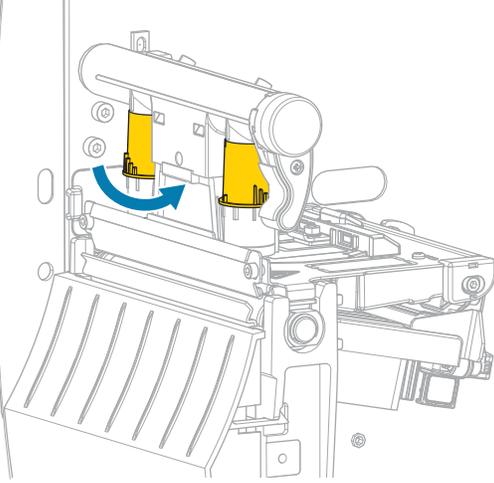
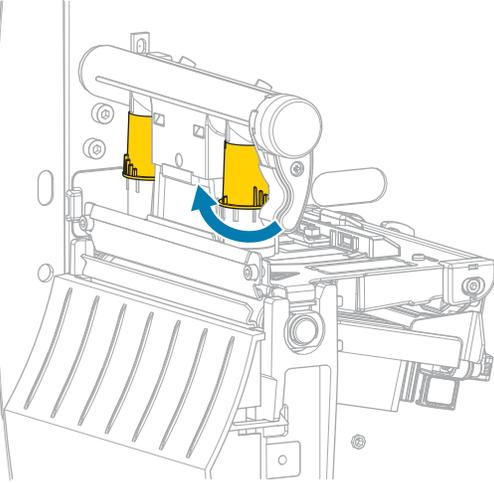
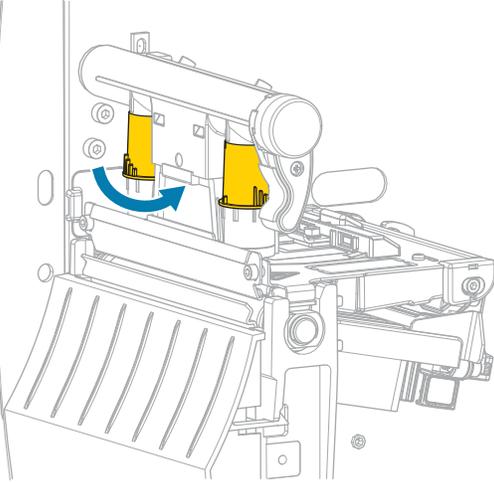
ご使用の用紙幅に基づいて、以下の圧力設定を始め、必要に応じて調整してください。

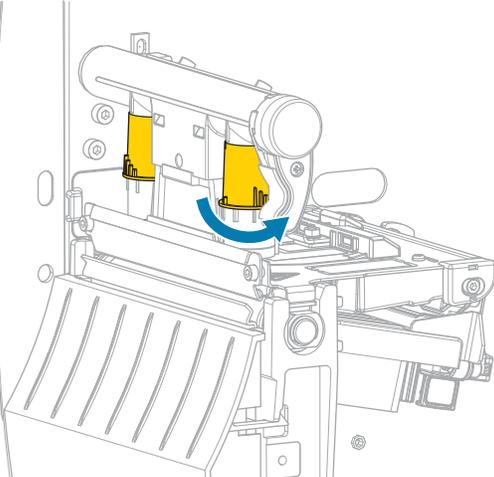
表4 印字ヘッド圧力の開始点

| 用紙幅                | 内側ダイヤル設定 | 外側ダイヤル設定 |
|--------------------|----------|----------|
| ≥ 89mm (≥ 3.5 インチ) | 2        | 2        |
| 76mm (3 インチ)       | 2.5      | 1.5      |
| 51mm (2 インチ)       | 3        | 1        |
| 25mm (1 インチ)       | 4        | 1        |

必要に応じて、印字ヘッド圧力調整ダイヤルを以下のように調整します。

| 用紙の状態                           | 操作  |
|---------------------------------|---|
| <p>良好な印字品質を得るために圧力を高める必要がある</p> | <p>両方のダイヤル値を 1 レベル上げます。</p>   |
| <p>印刷中に左へ移動する</p>               | <p>外側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p>  <p>または</p> <p>内側のダイヤル設定を 1 レベル下げます。</p>  |

| 用紙の状態                | 操作  |
|----------------------|---|
| <p>印刷中に右へ移動する</p>    | <p>内側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p>  <p>または</p> <p>外側のダイヤル設定を 1 レベル下げます。</p>  |
| <p>ラベル左側の印刷が薄すぎる</p> | <p>内側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p>    |

| 用紙の状態         | 操作  |
|---------------|---|
| ラベル右側の印刷が薄すぎる | <p>外側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p>  |

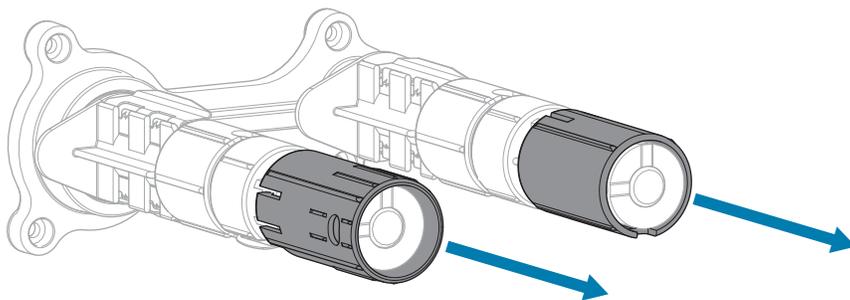
## リボン テンションの調整

プリンタが正常に動作するようにするには、リボン サプライ スピンドルとリボン巻き取りスピンドルで同じテンション設定 (標準テンションまたは低テンション) を使う必要があります。通常のアプリケーションでは、ここに示すような標準テンション設定を使用します。幅が狭いリボンを使用している場合やリボンに問題が発生している場合は、リボン テンションを低くする必要があることがあります。

### 標準テンション設定

リボン スピンドルを標準位置に設定するには、スピンドルのエンド キャップを引き出し、カチッと止まるまで伸ばします。ほとんどのアプリケーションでこの設定が使用されます。

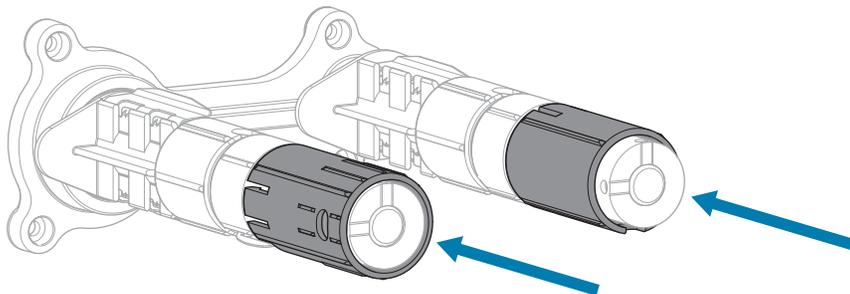
図 8 標準テンション設定 (スピンドルのエンド キャップを引き出した状態)



### 低テンション設定

リボン スピンドルを低テンション位置に設定するには、エンド キャップを押し込み、カチッと止まるまで縮めます。この設定は、リボンが原因でロールの先頭に擦り傷ができた場合や標準テンションにもかかわらずリボンがロールの端で停止した場合など、必要時にのみ使用します。

図 9 リボン スピンドル—低テンション設定 (スピンドルのエンド キャップを押し込んだ状態)



# 定期的なメンテナンス

このセクションでは、定期的なクリーニングおよびメンテナンスの手順について説明します。

## クリーニングのスケジュールと手順

定期的な予防メンテナンスは、通常のプリンタ操作で重要な要素です。ご使用のプリンタをきちんと手入れすることで、起こりうる問題の発生を最小限に抑え、印字品質の基準を保持することができます。

用紙やリボンが印字ヘッドを横切って移動するため、長期間の使用により、セラミックの保護コーティングが磨耗して剥がれ、最終的には印字エレメント (ドット) が劣化します。磨耗を防止するために、以下の点を心掛けてください。

- 印字ヘッドを頻繁にクリーニングします。
- 印字ヘッド圧力と加熱温度 (濃度) のバランスを最適化して、設定値を最小にしてください。
- 熱転写モードを使用しているときは、摩擦の大きなラベル用紙に印字ヘッドのエレメントが触れるのを防止するために、リボンは必ず用紙の幅以上のものをご使用ください。



**重要:** Zebra では、クリーニング液の使用によってこのプリンタに生じた損傷の責任は負いません。

個別のクリーニング手順については、次ページ以降で説明します。この表には、クリーニングの推奨スケジュールを示します。これらの間隔は、あくまで目安として記載しております。お客様の用途や用紙のタイプによっては、より頻繁なクリーニングが必要となる場合があります。

表 5 クリーニングの推奨スケジュール

| 部位                    | 方法    | 指定間隔  |
|-----------------------|-------|---|
| 印字ヘッド                 | 溶剤*   | ダイレクト サーマル モード: 用紙 1 ロール (または折り畳み用紙 500 フィート) を使用済み後に毎回。<br>熱転写モード: リボン 1 ロールを使用済み後に毎回。 |
| プラテン ローラー             | 溶剤*   |   |
| 用紙センサー                | 空気ブロー |   |
| リボンセンサー               | 空気ブロー |   |
| 用紙経路                  | 溶剤*   |   |
| リボン経路                 | 溶剤*   |   |
| ピンチ ローラー (剥離オプションの一部) | 溶剤*   |   |

表5 クリーニングの推奨スケジュール (Continued)

| 部位            |                        | 方法               | 指定間隔   |
|---------------|------------------------|------------------|--|
| カッター<br>モジュール | 連続用紙、感圧紙をカットする場合       | 溶剤*              | 用紙 1 ロールを使用済み後に毎回 (用途および用紙のタイプによってはそれより頻繁に)。 |
|               | タグストックまたはラベル台紙をカットする場合 | 溶剤* および<br>空気ブロー | 用紙 2 ロールから 3 ロールを使用済み後に毎回。                   |
| 切り取り/剥離バー     |                        | 溶剤*              | 月 1 回。                                       |
| ラベル剥離センサー     |                        | 空気ブロー            | 半年に 1 回。                                     |

\* Zebra では、予防メンテナンスキット (パーツ番号 47362) の使用をお勧めしています。予防メンテナンスキットの代わりに、99.7% のイソプロピルアルコールに浸した糸くずのでない布を使用することも可能です。

## 外装、用紙コンパートメント、およびセンサーのクリーニング

時間の経過とともに、ご使用のプリンタの外側にも内側にも、特に厳しい動作環境にある場合は、埃や汚れなどのゴミがたまります。

### プリンタの外装

プリンタの外装表面は、必要があれば、糸くずのでない布と、水で薄めた少量の洗剤を使用してクリーニングできます。ざらざらしたものや摩擦性のクリーニング液、クリーニング溶剤などは使用しないでください。



#### 重要:

Zebra では、クリーニング液の使用によってこのプリンタに生じた損傷の責任は負いません。

### 用紙コンパートメントとセンサー

センサーをクリーニングするには、次の手順を実行します。

1. ブラシ、空気ブローまたは掃除機を使用して、用紙経路およびリボン経路に溜まった用紙くずや埃を清掃します。
2. ブラシ、空気ブローまたは掃除機を使用して、センサーに溜まった用紙くずや埃を清掃します。

## 印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング

バーコードやグラフィックに空白が見られるなど、一貫した印刷品質が得られないときは、印字ヘッドが汚れている可能性があります。推奨されるクリーニングのスケジュールについては、[表5 クリーニングの推奨スケジュール](#) (120ページ) を参照してください。

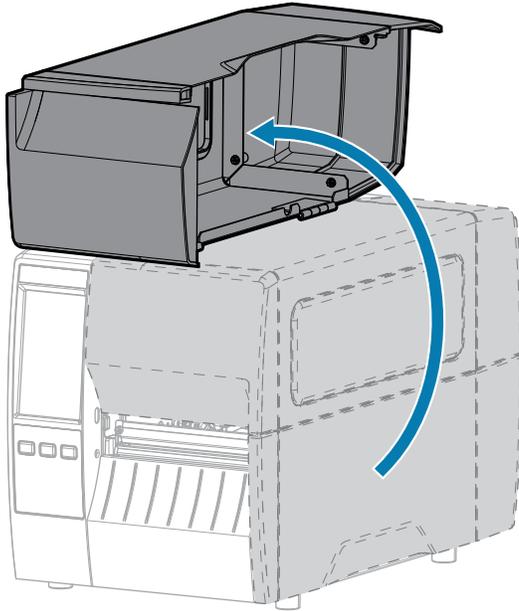


**注意—製品の損傷:** 剥離アセンブリが付いたプリンタでは、プラテンローラーのクリーニング中は剥離アセンブリを閉じておき、切り取り/剥離バーの変形の危険性を回避します。



**注意—ESD:** 印字ヘッドアセンブリに触れる前に、プリンタの金属フレームを触るか静電気除去リストストラップとマットを使用するなどして、蓄積した静電気をすべて除去してください。

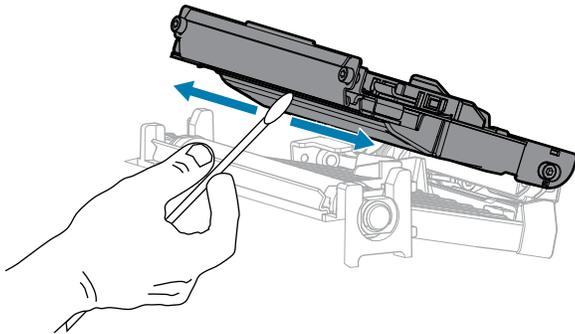
1. 用紙カバーを開けます。



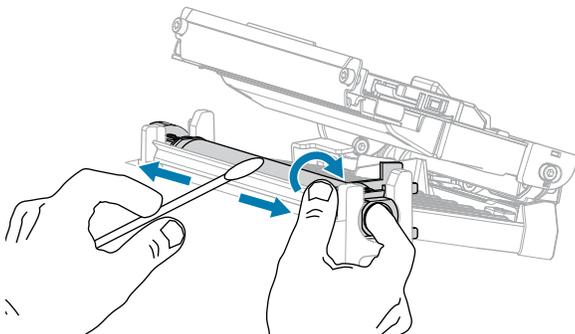
2. リボン(使用している場合)と用紙を取り外します。
3. Zebra 予防メンテナンスキットの綿棒を使用し、印字ヘッドアセンブリ上の茶色い帯を端から端まで拭き取ります。予防メンテナンスキットの代わりに、99.7%のイソプロピルアルコールに浸した清潔な綿棒を使用することも可能です。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



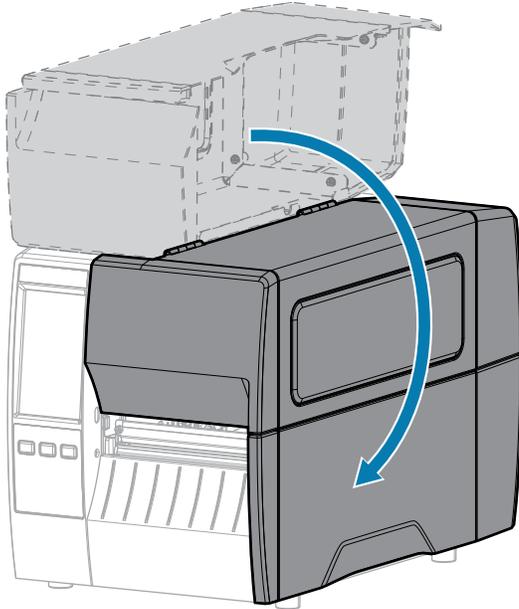
**注意—熱い表面：**印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。



4. プラテンローラーを手で回しながら、綿棒で入念にクリーニングします。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



5. リボン (リボンを使用する場合) と用紙をセットし直します。詳細については、[リボンのセット](#) (54ページ) または[用紙の装着](#) (36ページ) を参照してください。
6. 用紙カバーを閉じます。



7. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、**PAUSE (一時停止)** を押します。

プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリプレートを実行するか、またはラベルをフィードします。



**注:** この手順を実行しても印字品質が改善されない場合は、Save-A-Printhead クリーニングフィルムを使用して印字ヘッドのクリーニングを試みてください。この特殊コーティングが施されたフィルムを使用すると、印字ヘッドを傷めずに溜まった不純物を取り除くことができます。詳細については、Zebra 公認の代理店にお問い合わせください。

### 剥離アセンブリのクリーニング

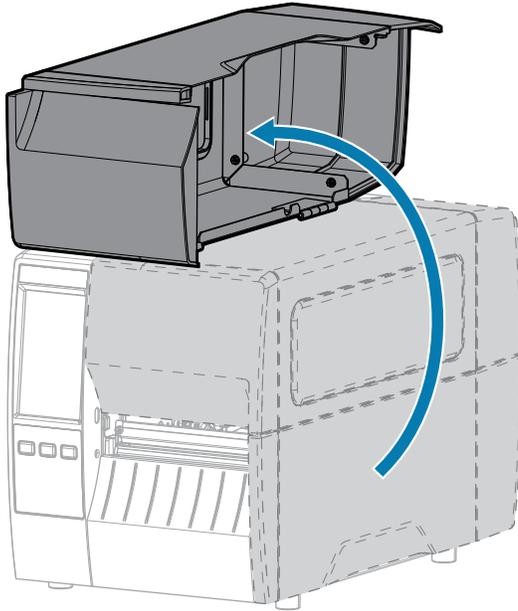
剥離アセンブリ (剥離およびライナー巻き取りのオプションの一部) を構成するローラーのいくつかは、適切なローラー圧力を確保するためにバネで加圧されています。粘着物によって剥離性能に支障が出始めた場合は、ピンチローラーおよび切り取り/剥離バーをクリーニングしてください。



**注意:** 剥離アセンブリを閉じる際、絶対に左手を添えないでください。剥離ローラーまたはアセンブリの上端に指がはさまれる可能性があります。

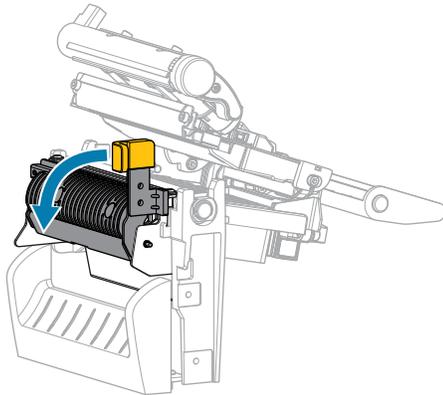
粘着物によって剥離性能に支障がある場合には、次の手順を実行します。

1. 用紙カバーを開けます。



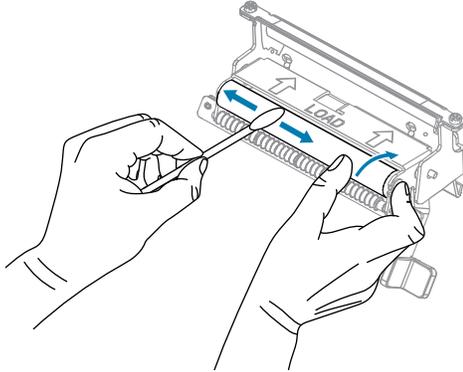
**注意：** 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。

2. 剥離機構解除レバーを押し下げ、剥離アセンブリを開きます。



3. すべての用紙ライナーを除去し、ピンチローラーをきれいにします。

4. ピンチローラーを手で回しながら、予防メンテナンスキット (パーツ番号 47362) の綿棒で入念にクリーニングします。予防メンテナンスキットの代わりに、99.7% のイソプロピルアルコールに浸した清潔な綿棒を使用することも可能です。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



5. 綿棒を使用して、切り取り/剥離バーから余分な粘着剤を除去します。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



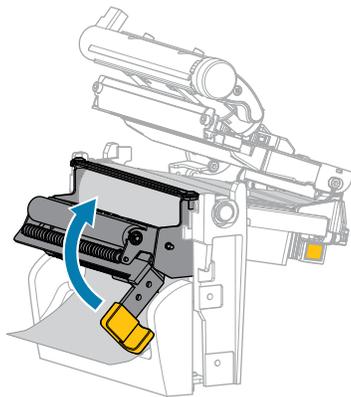
**注意—製品の損傷:** 切り取り/剥離バーをクリーニングする際には、最小限の力で実施してください。力を入れすぎると、切り取り/剥離バーが変形し、剥離性能が劣化するおそれがあります。

6. 剥離機構を通して用紙ライナーをセットし直します。手順については、を参照してください。

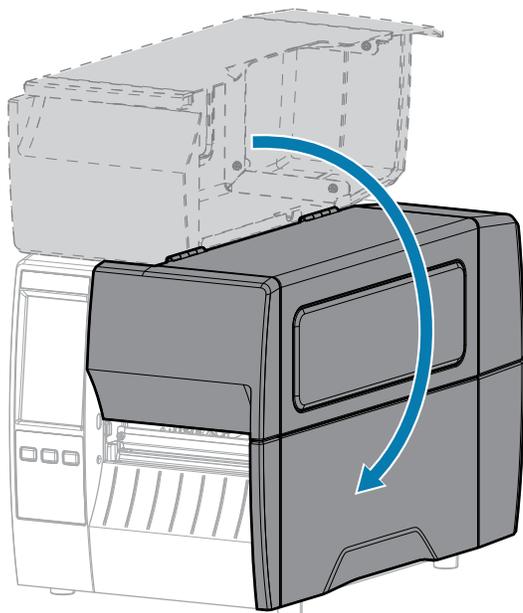
7. 剥離機構解除レバーを使用して、剥離アセンブリを閉じます。



**注意:** 剥離アセンブリを閉じるには、剥離機構解除レバーを使用し、右手で操作してください。閉じる際、絶対に左手を添えないでください。剥離ローラーまたはアセンブリの上端に指がはさまれる可能性があります。



8. 用紙カバーを閉じます。



9. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには、**PAUSE (一時停止)** を押します。

プリンタは、それぞれの設定によって、ラベルキャリプレートを実行するか、またはラベルをフィードします。

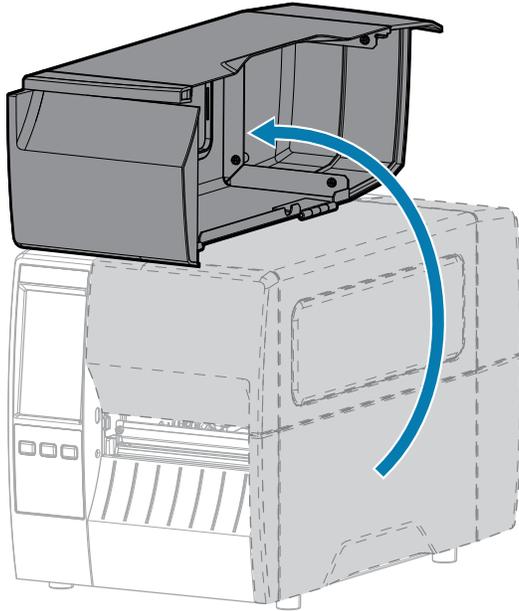
### カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布

カッターでラベルがきれいに切断されない、またはラベルが詰まってしまう場合には、カッターをクリーニングします。



**注意：** 使用者の安全を確保するため、この手順を行う前に、常に電源を切ってプリンタの電源コードを抜いてください。

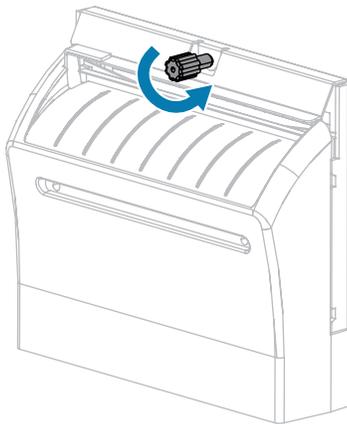
1. 用紙カバーを開けます。



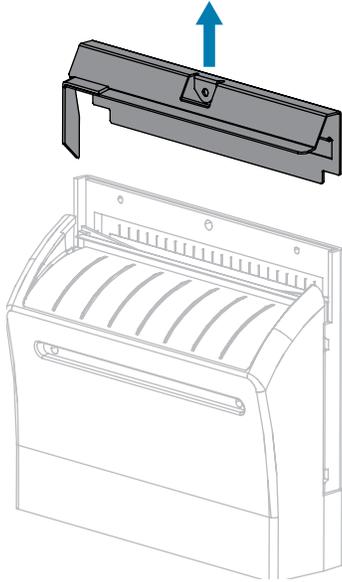
2. プリンタの電源をオフ (O) にして、AC 電源コードの接続を切断します。
3. カッター モジュールを通して装着した用紙を取り出します。
4. カッターシールド上の蝶ネジとロックワッシャを緩めて取り外します。



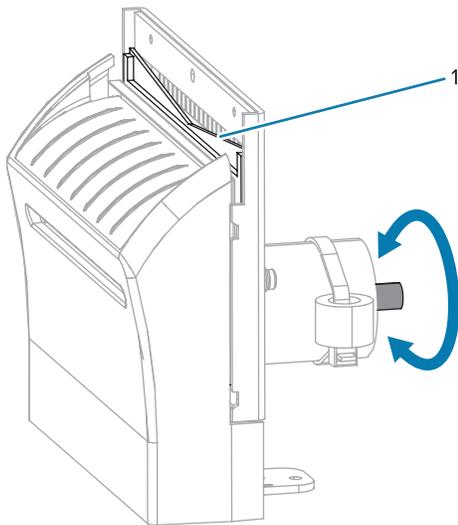
**注意:** カッターの刃は鋭利です。指で刃に触れたり、こすったりしないでください。



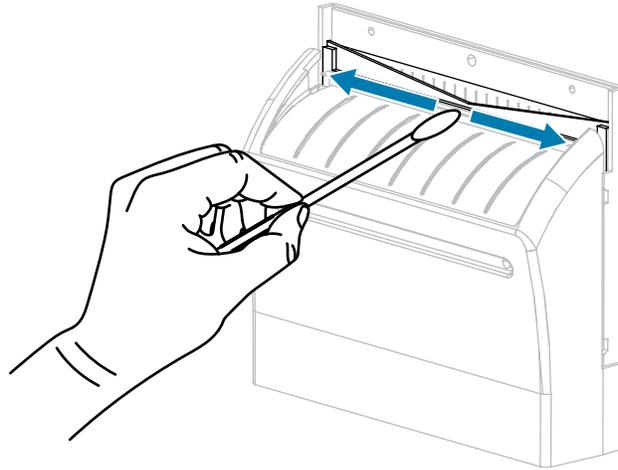
5. カッターシールドを取り外します。



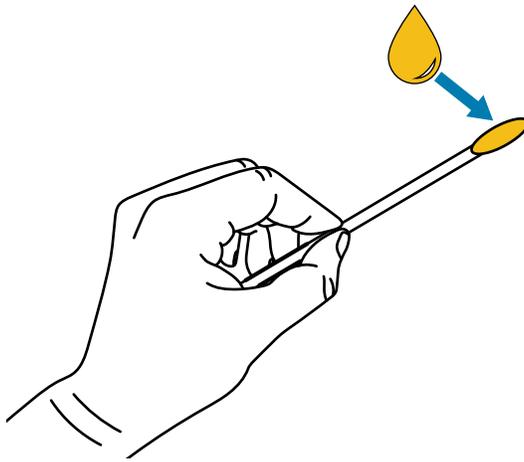
6. 必要な場合は、カッターモーターの蝶ネジを回してV字形のカッターの刃(1)を完全に露出させます。



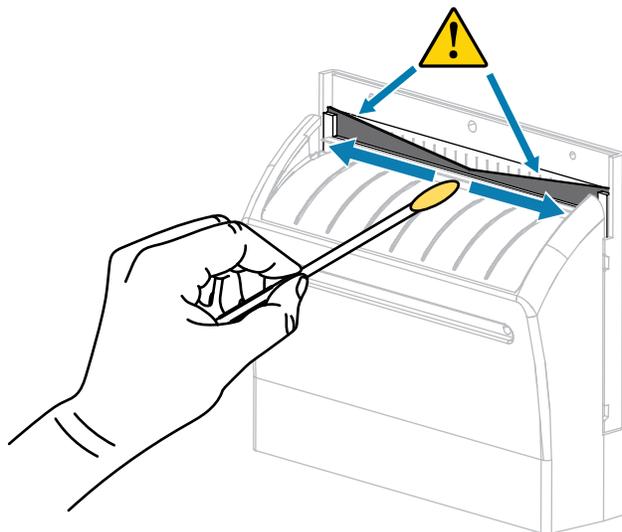
7. 予防メンテナンスキット (パーツ番号 47362) の綿棒を使用して、切り取り面の上部とカッターの刃を拭き取ります。予防メンテナンスキットの代わりに、90%のイソプロピルアルコールに浸した清潔な綿棒を使用することも可能です。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



8. 溶剤が蒸発したら、きれいな綿棒を汎用の高粘性シリコンまたは PTFE オイル潤滑剤に浸してください。

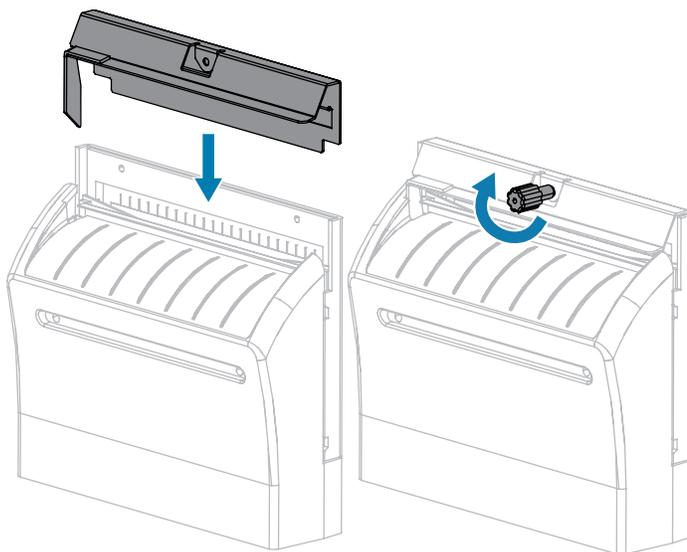


9. 両方のカッター ブレードの露出した面全体に均一に行き渡るように塗布します。余分なオイルを取り除いて、印字ヘッドまたはプラテンローラーに付かないようにします。

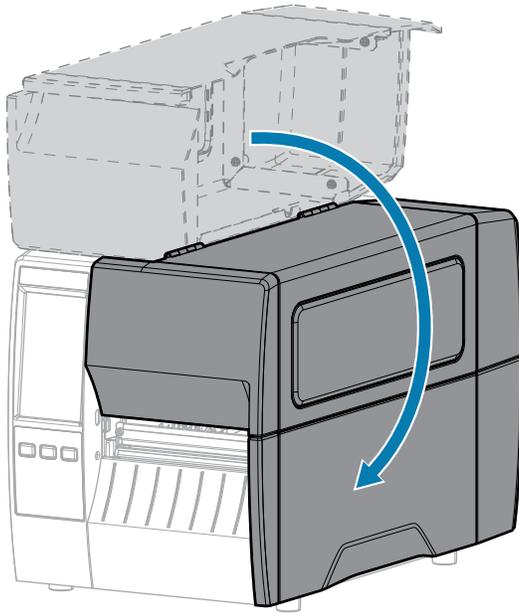


**注意：**カッターの刃は鋭利です。オペレータの安全のため、カッター シールドを元の位置に戻します。

10. カッター シールドを交換して、前の手順で取り外した蝶ネジとロック ワッシャで固定します。



11. 用紙カバーを閉じます。

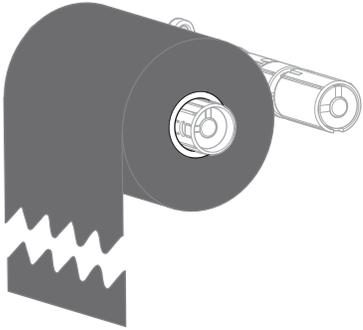


12. 電源にプリンタの電源コードを差し込んで、プリンタをオン (I) にします。  
カッターの刃が動作位置に戻ります。
13. カッターがまだ正常に動作しない場合は、資格のあるサービス技師に連絡してください。

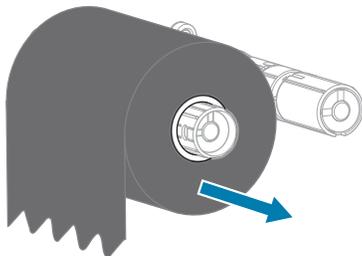
## 使用済みリボンの取り外し

リボンのロールを交換する場合には、必ずリボン巻き取りスピンドルから使用済みリボンを取り外してください。

1. リボンの残りの有無に応じて、次のように操作します。

| リボンの残り | 操作  |
|--------|---|
| なし     | 次の手順に進みます。  |
| あり     | <p>a. リボン巻き取りスピンドルの手前でリボンを切ります。</p>  <p>b. 次の手順に進みます。</p> |

2. 使用済みリボンと巻芯をリボン巻き取りスピンドルからスライドさせて取り出します。



3. 使用済みのリボンを廃棄します。リボンサプライスピンドルの空の巻芯は、リボン巻き取りスピンドルに戻して再利用できます。
4. **リボンのセット** (54ページ) の手順に従って、リボンをセットし直します。

## プリンタ コンポーネントの交換

印字ヘッドやプラテンローラーなど、一部のプリンタ コンポーネントは時間の経過と共に消耗しますが、簡単に取り替えられます。定期的なクリーニングすることで、このようなコンポーネントの寿命を延ばすことができます。

推奨されるクリーニング間隔の詳細については、[クリーニングのスケジュールと手順](#)（120ページ）を参照してください。

## 交換部品の注文

製品ライン全体で最適な印刷品質と適切なプリンタ パフォーマンスを得るため、Zebra では Zebra 純正のサプライ品をトータル ソリューションの一部として使用することを強くお勧めします。特に、ZT231 プリンタは、Zebra 純正印字ヘッドでのみ機能させることで、安全性と印刷品質を最大化するように設計されています。

部品の注文情報については、Zebra 公認の代理店にお問合せください。

## プリンタ コンポーネントのリサイクル



プリンタのコンポーネントのほとんどはリサイクルが可能です。プリンタのメインロジックボードにはバッテリーがあり、適切な方法で処分する必要があります。

プリンタ コンポーネントは、その種類を問わず、無分別の一般廃棄物として処分しないでください。バッテリーは自治体の定める法律に従って処分し、その他のプリンタ コンポーネントは地域の規制に従って処分してください。詳細については、[zebra.com/environment](http://zebra.com/environment) を参照してください。

## 潤滑油

このプリンタで潤滑油を必要とするのはカッター モジュールのみです。[カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布](#)（126ページ）の説明に従ってください。カッター モジュール以外の部分には潤滑油を塗布しないでください。



**注意：**このプリンタに市販の潤滑油を使用すると、塗装や機械部品を損傷する可能性があります。

# 診断とトラブルシューティング

このセクションでは、印刷の最適化や、問題の診断とトラブルシューティングに役立つ診断テストやその他の情報を提供します。

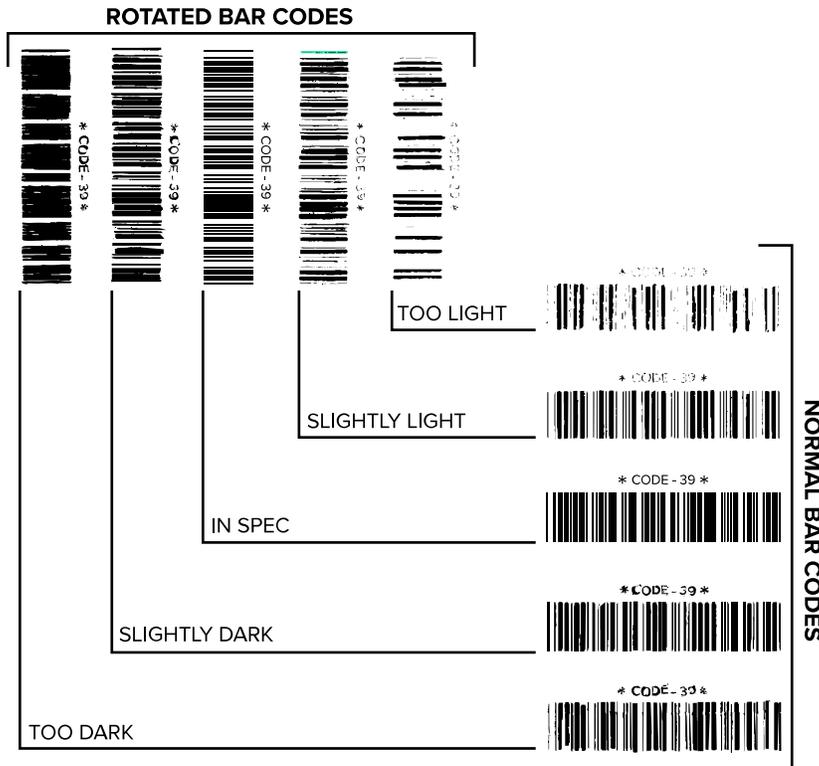
ユーザーに役立つビデオやその他のオンライン情報にアクセスするには、[zebra.com/zt231-info](https://zebra.com/zt231-info) をご覧ください。

## バーコード品質の評価

下の図は、印字の濃度と速度などプリンタの設定が、印刷されるバーコードの品質にどのように影響するかを示しています。

印字濃度は、良好な印刷品質が得られる最低値に設定してください。[印刷ウィザードの実行とテストラベルの印刷](#) (57ページ) にある印字品質アシスタントを使用して、最適な設定を決定できます。

図 10 バーコードの濃度の比較



| 外観      | 説明   |
|---------|--|
| 濃すぎるラベル | <p>明らかです。判読可能ですが、「仕様範囲内」とは認められません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準バーコードのバーのサイズが大きくなっています。</li> <li>小さい英数字の文字の開いた部分にインクがたまる場合があります。</li> <li>回転バーコードのバーと空白部分が混ざっています。</li> </ul>              |
| やや濃いラベル | <p>濃すぎるラベルほど明らかではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準バーコードは、「仕様範囲内」です。</li> <li>小さい英数字の文字が太くなり、多少つぶれて見える場合があります。</li> <li>回転バーコードの空白部分が、「仕様範囲内」のコードと比べて小さいため、コードを判読できない場合があります。</li> </ul> |

| 外観          | 説明   |
|-------------|--|
| 「仕様範囲内」のラベル | <p>ラベルが「仕様範囲内」であるかどうかは、検証ツールによってのみ確認できますが、通常はいくつかの目に見える特性を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準バーコードのバーは、完全でムラがなく、空白部分が鮮明ではっきりと見分けられます。</li> <li>回転バーコードのバーは、完全でムラがなく、空白部分が鮮明ではっきりと見分けられます。やや濃いバーコードより不鮮明な場合もありますが、このバーコードは「仕様範囲内」です。</li> <li>標準と回転のいずれのスタイルにおいても、小さい英数字が鮮明です。</li> </ul> |
| やや薄いラベル     | <p>「仕様範囲内」のバーコードでは、場合によって、濃いめのラベルよりも好まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準バーコードおよび回転バーコードはどちらも仕様範囲内ですが、小さい英数字が不鮮明な場合があります。</li> </ul>  |
| 薄すぎるラベル     | <p>明らかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準バーコードおよび回転バーコードのバーと空白部分が不鮮明です。</li> <li>小さい英数字を判読できません。</li> </ul>  |

## 設定ラベル

最も一般的に使用されるプリンタ診断項目は、プリンタとネットワーク設定ラベルの2つです。これらのラベルの情報を分析すると、潜在的な問題のトラブルシューティングに役立ちます。

プリンタ設定ラベルを印刷するには、**[メニュー] > [設定] > [Print System Settings] (印刷システム設定)** をタッチします。

図 11 プリンタ設定ラベルのサンプル

| PRINTER CONFIGURATION  |                 |
|--|-----------------|
| Zebra Technologies<br>ZTC ZTXXX-203dpi ZPL<br>XXXXXXXX-XX-XXXX |                 |
| 10.....  | LCD CONTRAST    |
| +10.....   | DARKNESS        |
| 2.0 ips.....   | PRINT SPEED     |
| +000.....  | TEAR OFF        |
| TEAR OFF.....  | PRINT MODE      |
| GAP/NOTCH.....   | MEDIA TYPE      |
| REFLECTIVE.....  | SENSOR SELECT   |
| 032.....   | PRINT WIDTH     |
| 1422.....  | LABEL LENGTH    |
| .....  | PRINT HEAD ID   |
| 39.0IN 988MM.....  | MAXIMUM LENGTH  |
| NOT CONNECTED.....   | USB COMM.       |
| BIDIRECTIONAL.....   | PARALLEL COMM.  |
| RS232.....   | SERIAL COMM.    |
| 2400.....  | BAUD            |
| 8 BITS.....  | DATA BITS       |
| NONE.....  | PARITY          |
| XON/XOFF.....  | HOST HANDSHAKE  |
| NONE.....  | PROTOCOL        |
| NORMAL MODE.....   | COMMUNICATIONS  |
| <~> 7EH.....   | CONTROL PREFIX  |
| <^> 5EH.....   | FORMAT PREFIX   |
| <.> 2CH.....   | DELIMITER CHAR  |
| ZPL II.....  | ZPL MODE        |
| CALIBRATION.....   | MEDIA POWER UP  |
| CALIBRATION.....   | HEAD CLOSE      |
| DEFAULT.....   | BACKFEED        |
| +000.....  | LABEL TOP       |
| +0000.....   | LEFT POSITION   |
| DISABLED.....  | REPRINT MODE    |
| 020.....   | WEB SENSOR      |
| 024.....   | MEDIA SENSOR    |
| 255.....   | TAKE LABEL      |
| 027.....   | MARK SENSOR     |
| 027.....   | MARK MED SENSOR |
| 102.....   | TRANS GAIN      |
| 000.....   | TRANS BASE      |
| 100.....   | TRANS LED       |
| 050.....   | MARK LED        |
| DPCSWFXM.....  | MODES ENABLED   |
| .....  | MODES DISABLED  |
| 832 8/MM FULL.....   | RESOLUTION      |
| V72.18.1ZP15107 <-   | FIRMWARE        |
| 1.3.....   | XML SCHEMA      |
| 6.4.1 255.....   | HARDWARE ID     |
| NONE.....  | OPTION BOARD    |
| 12288k.....R:  | RAM             |
| 65536k.....E:  | ONBOARD FLASH   |
| NONE.....  | FORMAT CONVERT  |
| F4 VERSION.....  | IDLE DISPLAY    |
| 07/20/12.....  | RTC DATE        |
| 02:37.....   | RTC TIME        |
| DISABLED.....  | ZBI             |
| 2.1.....   | ZBI VERSION     |
| READY.....   | ZBI STATUS      |
| 15.110 IN.....   | NONRESET CNTR   |
| 15.110 IN.....   | RESET CNTR1     |
| 15.110 IN.....   | RESET CNTR2     |
| 38.378 CM.....   | NONRESET CNTR   |
| 38.378 CM.....   | RESET CNTR1     |
| 38.378 CM.....   | RESET CNTR2     |
| FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED                        |                 |

ネットワーク設定ラベルを印刷するには、**[メニュー] > [ネットワーク] > [印刷: ネットワーク情報]** の順にタッチします。

図 12 ネットワーク設定ラベルのサンプル

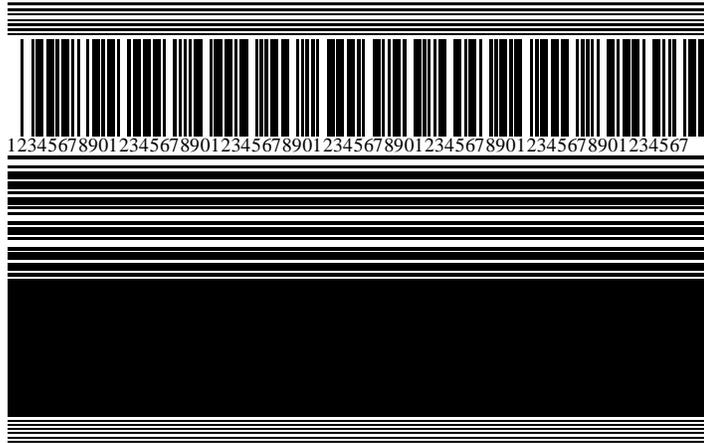
| Network Configuration  |                    |
|--|--------------------|
| Zebra Technologies<br>ZTC ZTXXX-xxxdpi ZPL<br>XXXXXXXXXXXXXXXX |                    |
| Wired.....   | PRIMARY NETWORK    |
| PrintServer.....   | LOAD LAN FROM?     |
| INTERNAL WIRED.....  | ACTIVE PRINTSRVR   |
| Wired*   |                    |
| ALL.....   | IP PROTOCOL        |
| 192.168.000.017.....   | IP ADDRESS         |
| 255.255.255.000.....   | SUBNET             |
| 192.168.000.254.....   | GATEWAY            |
| 000.000.000.000.....   | WINS SERVER IP     |
| YES.....   | TIMEOUT CHECKING   |
| 300.....   | TIMEOUT VALUE      |
| 000.....   | ARP INTERVAL       |
| 9100.....  | BASE RAW PORT      |
| 9200.....  | JSDN CONFIG PORT   |
| Wireless   |                    |
| ALL.....   | IP PROTOCOL        |
| 000.000.000.000.....   | IP ADDRESS         |
| 255.255.255.000.....   | SUBNET             |
| 000.000.000.000.....   | GATEWAY            |
| 000.000.000.000.....   | WINS SERVER IP     |
| YES.....   | TIMEOUT CHECKING   |
| 300.....   | TIMEOUT VALUE      |
| 000.....   | ARP INTERVAL       |
| 9100.....  | BASE RAW PORT      |
| 9200.....  | JSDN CONFIG PORT   |
| INSERTED.....  | CARD INSERTED      |
| 02dfh.....   | CARD MFG ID        |
| 9134h.....   | CARD PRODUCT ID    |
| ac:3f:a4:82:05:9c.....   | MAC ADDRESS        |
| YES.....   | DRIVER INSTALLED   |
| INFRASTRUCTURE.....  | OPERATING MODE     |
| 125.....   | ESSID              |
| 1.0.....   | CURRENT TX RATE    |
| OPEN.....  | WEP TYPE           |
| WPA PSK.....   | WLAN SECURITY      |
| 1.....   | WEP INDEX          |
| 000.....   | PODR SIGNAL        |
| LONG.....  | PREAMBLE           |
| NO.....  | ASSOCIATED         |
| ON.....  | PULSE ENABLED      |
| 15.....  | PULSE RATE         |
| OFF.....   | INTL MODE          |
| USA/CANADA.....  | REGION CODE        |
| USA/CANADA.....  | COUNTRY CODE       |
| 0x7FF.....   | CHANNEL MASK       |
| Bluetooth  |                    |
| 4.3 ip1.....   | FIRMWARE           |
| 02/13/2015.....  | DATE               |
| on.....  | DISCOVERABLE       |
| 3.0/4.0.....   | RADIO VERSION      |
| on.....  | ENABLED            |
| ac:3f:a4:82:05:9d.....   | MAC ADDRESS        |
| 76J162700686.....  | FRIENDLY NAME      |
| no.....  | CONNECTED          |
| 1.....   | MIN SECURITY MODE  |
| nc.....  | CONN SECURITY MODE |
| supported.....   | IOS                |
| FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED                        |                    |

## PAUSE (一時停止) セルフ テスト

このセルフテストは、プリンタの機械部品を調整するために必要なテスト ラベルの印刷や、印字ヘッドのどれかのエレメントが機能していないかどうかの判別に使用できます。

以下は、印刷サンプルです。

図 13 PAUSE (一時停止) テストのラベル



1. プリンタをオフ (O) にします。
2. **PAUSE (一時停止)** を押しながら、プリンタをオン (I) にします。コントロールパネルの最初のランプが消えるまで、**PAUSE (一時停止)** を長押しします。

最初のセルフテストでは、15 のラベルがそのプリンタの最低速度で印刷され、その後、プリンタは自動的に一時停止します。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、さらに 15 枚のラベルが印刷されます。

プリンタが一時停止中の動作:

- **CANCEL (キャンセル)** を押すと、セルフテストが変更されます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、15 枚のラベルが 1 秒あたり 152mm (6 インチ) で印刷されます。
- **CANCEL (キャンセル)** を再び押すと、2 回目のセルフテストの変更が行われます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、50 枚のラベルがそのプリンタの最低速度で印刷されます。
- **CANCEL (キャンセル)** を再び押すと、3 回目のセルフテストの変更が行われます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、50 枚のラベルが 1 秒あたり 152mm (6 インチ) で印刷されます。
- **CANCEL (キャンセル)** を再び押すと、4 回目のセルフテストの変更が行われます。**PAUSE (一時停止)** を押すたびに、15 枚のラベルがそのプリンタの最高速度で印刷されます。

3. このセルフテストを途中で終了するには、**CANCEL (キャンセル)** を長押しします。

## センサー プロフィール

[メニュー]>[印刷]>[センサー]>[印刷: センサー プロフィール]の順にタップして、センサー プロフィールイメージを印刷します。イメージは、複数の実際のラベルまたはタグにまたがって拡張されます。

センサー プロフィール メージを使用して、以下の状況のトラブルシューティングを行います。

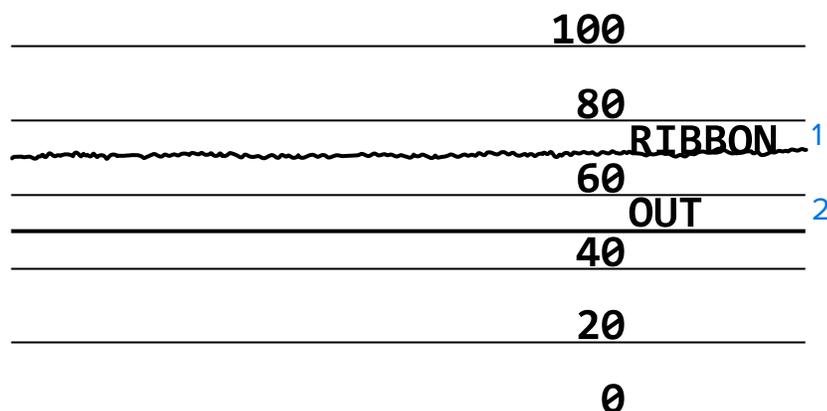
- プリンタでラベル間のギャップ (ウェブ) を判定できない
- プリンタが、ラベルの事前印刷の領域をギャップ (ウェブ) と誤って認識する
- プリンタがリボンを検出できない

印刷結果とこのセクションで示す例を比べてください。センサーの感度を調整するには、プリンタをキャリブレーションします([リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション](#) (111ページ) を参照)。

### リボンセンサー プロフィール

センサー プロフィールの [RIBBON] (リボン) (1) というラベルの付いたラインは、リボンセンサーの読み取り値を示します。リボンセンサーのしきい値設定は、[OUT] (ありません) (2) で示されます。リボンの読み取り値がしきい値未満の場合、プリンタはリボンがセットされたことを認識しません。

図 14 センサー プロフィール (リボンのセクション)



### 用紙センサー プロフィール

センサー プロフィールの MEDIA (用紙) (1) という語の付いたラインは、用紙センサーの読み取り値を示します。用紙センサーのしきい値設定は、WEB (ウェブ) (2) で示されます。用紙切れのしきい値設定は、OUT (用紙切れ) (3) で示されます。上向きまたは下向きの突起 (4) はラベル (ウェブ、切れ込みまたは黒マーク) 間の分割を示し、突起間の線 (5) はラベルのある位置を示します。

センサープロフィールの印刷サンプルを用紙の長さと比較すると、印刷サンプルの突起間の距離と用紙のギャップ間の距離が同じ長さになるはずですが、距離が同じでない場合は、プリンタによるギャップ位置の判定に問題があります。

図 15 センサー プロフィール (ギャップ/切れ込み用紙)

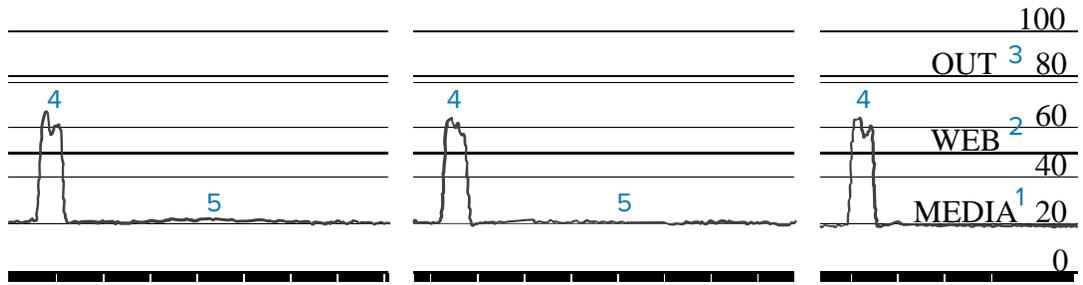
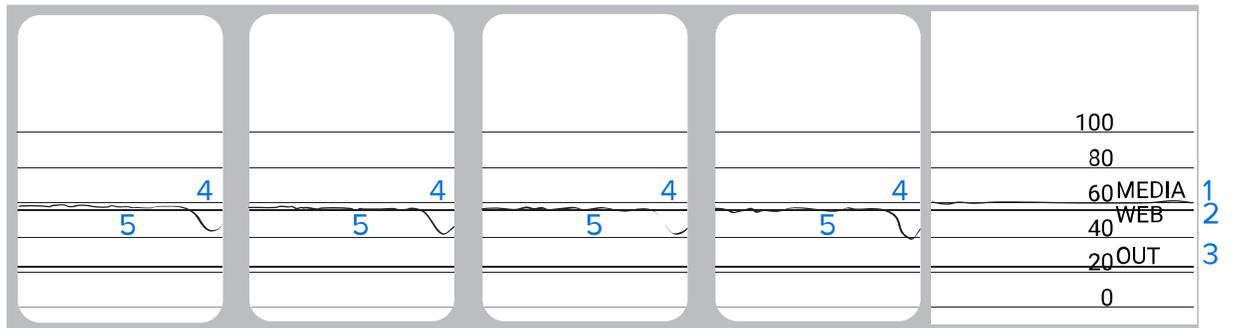


図 16 用紙センサー プロフィール (黒マーク用紙)



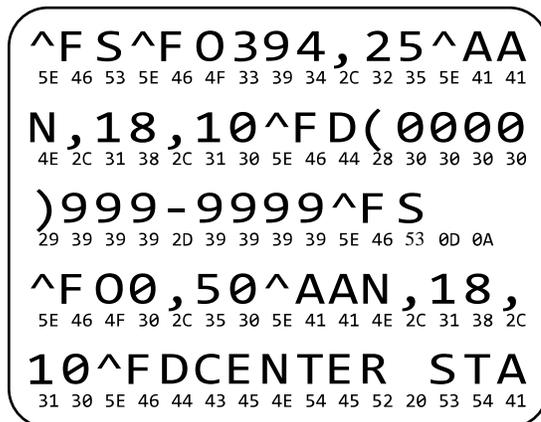
## 通信診断モードの使用

通信診断テストは、プリンタとホスト コンピュータの相互接続を確認するためのトラブルシューティング ツールです。プリンタが診断モードである場合、ホスト コンピュータから送信されたデータがすべて ASCII 文字として印刷されます。ASCII テキストの下には、16 進値が表示されます。プリンタは、CR (改行) などの制御コードを含め、受信したすべての文字を印刷します。図 17 通信診断モード サンプル ラベル (141 ページ) は、このテストによる一般的なテスト ラベルを示したものです。



注: テスト ラベルは上下が逆になって印刷されます。

図 17 通信診断モード サンプル ラベル



1. ラベル幅を、テストに使用する実際の用紙幅以下に設定します。[メニュー] > [印刷] > [印刷品質] > [ラベル幅] の順にタップして、ラベル幅の設定にアクセスします。
2. [メニュー] > [システム] > [プログラム言語] の順にタップして、[診断モード] オプションを [有効] に設定します。  
プリンタは診断モードになり、ホスト コンピュータから受信したすべてのデータがテスト ラベルに印刷されます。
3. テスト ラベルにエラー コードがあるかどうか確認します。エラーがある場合は、通信パラメータが正しいことを確認します。  
テスト ラベルに印字されるエラーは、以下のとおりです。
  - FE はフレーミング エラーを示します。
  - OE はオーバーラン エラーを示します。
  - PE はパリティ エラーを示します。
  - NE はノイズを示します。
4. セルフ テストを終了して通常の操作に戻るには、プリンタの電源を入れ直すか、[診断モード] オプションを [無効] に設定します。

## デフォルトの読み込みまたは最終保存値の読み込み

なにかが正常に機能しない場合に、プリンタをデフォルト値または最終保存値に復元すると正常に戻る場合があります。

[メニュー]>[システム]>[設定]>[デフォルトに戻す]の順にタッチして使用可能なオプションを確認します。



**プリンタの復元** ネットワーク設定以外のすべてのプリンタ設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要があるため、注意してください。

**ネットワークの復元** プリンタの有線またはワイヤレスのプリントサーバーを再初期化します。ワイヤレスプリントサーバーの場合、プリンタとワイヤレスネットワークとの再関連付けも行われます。

**最終保存の復元** 最後に確定保存された設定が読み込まれます。

これらの値を復元するためのその他の方法については、[\[システム\]>\[設定\]>\[デフォルトに戻す\]](#)を参照してください。

## アラートとエラー状態

ホーム画面の背景色が変わる場合は、プリンタをレディ状態に戻すための操作を行う必要があります。

- 背景色が赤色と黄色の場合は通常、問題が解決するまで印刷は停止します。
- 背景色が緑色の場合に表示される情報メッセージは通常、ユーザーが介入しなくとも表示されなくなり、印刷は正常に続行されます。
- 最後に印刷したラベルを印刷するには、**[Reprint] (再印刷)** をタッチします。ボタンが表示されない場合、再印刷できるラベル形式はありません



ホーム画面上部のバーにあるアイコンをタッチすると、エラー、警告、または情報メッセージが表示されます。奨励される対処については、[アラートとエラーメッセージ](#) (144ページ) を参照してください。



## アラートとエラー メッセージ

| ディスプレイ  | 考えられる原因                                   | 奨励される解決策   |
|---|---|--|
| <p><b>ヘッド・オープン</b></p> <p>印字ヘッドが開いています。<br/>印字ヘッドを閉じます。</p> | 印字ヘッドが完全に閉じていません。                         | 印字ヘッドを完全に閉じます。   |
|   | 印字ヘッド オープン センサーが正常に動作していません。              | センサーの交換については、サービス技術者にお問い合わせください。   |
| <p><b>用紙切れ</b></p> <p>用紙切れです。<br/>追加の用紙を装着します。</p>          | 用紙がセットされていないか、正しくセットされていません。              | 用紙を正しくセットします。 <a href="#">用紙の装着</a> (36ページ) を参照してください。   |
|   | 用紙センサーの調整不良です。                            | 用紙センサーの位置を確認します。   |
|   | プリンタは単票用紙を使用するよう設定されていますが、連続用紙がセットされています。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>適切な用紙タイプをセットするか、プリンタを現在の用紙タイプにリセットします。</li> <li>プリンタをキャリブレーションします。<a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション</a> (111ページ) を参照してください。</li> </ol> |

| ディスプレイ   | 考えられる原因   | 奨励される解決策   |
|--|---|--|
| <p style="text-align: center;"><b>用紙詰まり</b></p> <p style="text-align: center;">用紙がジャムしました。<br/>用紙を確認します。</p> | <p>用紙経路内の用紙に問題があります。</p>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 用紙が正しく装着されているか、用紙経路内のコンポーネントに詰まっていないかを確認します。</li> <li>2. 用紙がプラテンローラーに巻き付いていないかを確認します。ラベルがあれば慎重に取り除きます。必要に応じて、プラテンローラーをクリーニングして付着した埃を除去します (<a href="#">印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング</a>を参照)。</li> </ol> |
| <p style="text-align: center;"><b>リボン切れ</b></p> <p style="text-align: center;">リボン切れです。<br/>リボンを交換します。</p>   | <p>熱転写モードで、次の状態になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• リボンがセットされていません。</li> <li>• リボンが正しくセットされていません。</li> <li>• リボンセンサーがリボンを検出していません。</li> <li>• 用紙がリボンセンサーをブロックしています。</li> </ul> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リボンを正しくセットします。<a href="#">リボンのセット</a> (54ページ) を参照してください。</li> <li>2. プリンタをキャリブレートします。<a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート</a> (111ページ) を参照してください。</li> </ol>                                       |
|  | <p>熱転写モードで、リボンが正しくセットされているにもかかわらず、プリンタがリボンを認識しません。</p>  | <p>プリンタをキャリブレートします。<a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート</a> (111ページ) を参照するか、<a href="#">[メニュー]&gt;[システム]&gt;[設定]&gt;[デフォルトに戻す]&gt;[プリンタの復元]</a>の順にタッチしてプリンタのデフォルトを読み込みます。</p>  |
|  | <p>感熱用紙を使用していますが、プリンタが誤って熱転写モード用に設定されているために、リボンのセットを待機しています。</p>  | <p>プリンタをダイレクトサーマルモードに設定します。<a href="#">[印刷]&gt;[印刷品質]&gt;[印刷タイプ]</a>を参照してください。</p>   |

| ディスプレイ   | 考えられる原因  | 奨励される解決策   |
|--|--|--|
| <p style="text-align: center;"><b>リボンあり</b></p> <p style="text-align: center;">ダイレクト・サーマル・モードで<br/>リボンを検出しました<br/>リボンを取り外します。</p>  | <p>リボンが装着されていますが、プリンタはダイレクト・サーマル・モードに設定されています。</p>               | <p>感熱用紙では、リボンは必要ありません。感熱用紙を使用する場合は、リボンを取り外してください。このエラーメッセージによる印刷への影響はありません。</p> <p>プリンタにリボンがない状態でメッセージが消えない場合は、プリンタをキャリプレートします。<a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリプレート</a> (111ページ) を参照してください。</p> <p>熱転写用紙を使用する場合はリボンが必要です。プリンタを熱転写モードに設定してください。<a href="#">用紙処理方法の決定</a> (34ページ) を参照してください。</p> |
| <p style="text-align: center;"><b>ヘッド識別に失敗しました</b></p> <p style="text-align: center;">印字ヘッドが Zebra 認定製品ではありません<br/>印字ヘッドの取り替え</p>  | <p>印字ヘッドが純正 Zebra 印字ヘッド以外のヘッドに交換されました。</p> <p>印字ヘッドに問題があります。</p> | <p>Zebra 純正印字ヘッドを取り付けます。</p> <p>プリンタの電源をオフにしてから入れ直し、エラーが再発するかどうかを確認します。エラーが再発する場合は、印字ヘッドを交換します。</p>  |
| <p style="text-align: center;"><b>ヘッド・エレメント切れ</b></p> <p style="text-align: center;">印字ヘッド・エレメントが切れました。<br/>印字ヘッドを交換する必要があります。</p> | <p>印字ヘッド エレメントが動作しなくなりました。</p>                                   | <p>失敗したエレメントの位置が印刷に影響する場合は、印字ヘッドを交換してください。</p>   |
| <p style="text-align: center;"><b>印字ヘッドの交換</b></p> <p style="text-align: center;">印字ヘッドを交換してください。</p>                              | <p>印字ヘッドに寿命が来ているため、交換する必要があります。</p>                              | <p>印字ヘッドを交換します。</p>  |
| <p style="text-align: center;"><b>ヘッド・メンテナンスが必要です</b></p> <p style="text-align: center;">印字ヘッドをクリーニングします。</p>                      | <p>印字ヘッドをクリーニングする必要があります。</p>                                    | <p><a href="#">印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング</a> (121ページ) のクリーニングの手順に従ってください。</p>  |

| ディスプレイ  | 考えられる原因   | 奨励される解決策  |
|---|---|---|
| <p style="text-align: center;"><b>ヘッド過剰高温</b></p> <p style="text-align: center;">印字ヘッドの温度が高すぎます。<br/>印刷はすべて中止されます。</p>  | <p> <b>注意：表面が熱くなっています:</b> 印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。</p>  | <p>印字ヘッドの温度が高すぎます。</p> <p>プリンタが冷めるまで時間をおいてください。印字ヘッド エレメントの温度が許容範囲の動作温度まで低下すると、印刷が自動的に再開されます。</p> <p>このエラーが続く場合は、プリンタの設置場所を変更することや印字速度を遅めにすることを考慮してください。</p>  |
| <p>プリンタに、これらのメッセージのいずれか1つ、または交互に示されます。</p> <p style="text-align: center;"><b>ヘッド過剰低温</b></p> <p style="text-align: center;">印字ヘッドの温度が低すぎます。<br/>印刷はすべて中止されます。</p> <p style="text-align: center;"><b>ヘッド・サーミスタの故障</b></p> <p style="text-align: center;">障害のあるサーミスタが検出されました。<br/>印字ヘッドを交換してください。</p> | <p> <b>注意：表面が熱くなっています:</b> 印字ヘッドのデータケーブルまたは電源ケーブルが正しく接続されていないと、これらのエラーメッセージが示されることがあります。印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。</p> | <p>印字ヘッドのデータケーブルが正しく接続されていません。</p> <p>印字ヘッドを適切に接続します。</p> <p>印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。</p> <p>印字ヘッドを交換します。</p>  |
| <p style="text-align: center;"><b>ヘッド過剰低温</b></p> <p style="text-align: center;">印字ヘッドの温度が低すぎます。<br/>印刷はすべて中止されます。</p>  | <p> <b>注意：表面が熱くなっています:</b> 印字ヘッドのデータケーブルまたは電源ケーブルが正しく接続されていないと、このエラーメッセージが示されることがあります。印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。</p> | <p>印字ヘッドの温度が、動作温度の下限に近づいています。</p> <p>印字ヘッドが適切な動作温度に達するまで印刷を続行します。エラーが解消しない場合は、動作環境の温度が低すぎて適切な印刷ができないことが考えられます。プリンタを暖かい場所に移動してください。</p> <p>印字ヘッドのデータケーブルが正しく接続されていません。</p> <p>印字ヘッドを適切に接続します。</p> <p>印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。</p> <p>印字ヘッドを交換します。</p> |

| ディスプレイ  | 考えられる原因  | 奨励される解決策  |
|---|--|---|
| <p><b>カッター エラー</b></p> <p>カッター エラーが発生しました。<br/>プリンタを再起動します。</p> | <p> <b>注意:</b> カッターの刃は鋭利です。指で刃に触れたり、こすったりしないでください。</p> <p>カッターの刃が用紙経路に入っています。</p> | <p>プリンタの電源をオフにして、プリンタの電源コードを抜きます。カッター モジュールにゴミがないかどうか点検し、必要に応じて <b>カッター モジュールのクリーニングおよび潤滑油の塗布</b> (126ページ) の指示に従ってクリーニングします。</p>  |
| <p><b>XXX を保存中にメモリ不足</b></p> <p>XXX を保存できません。<br/>メモリ不足です。</p>  | <p>メモリが不足しているため、指定された機能を実行できません。</p>   | <p>ラベル フォーマットまたはプリンタのパラメータを調整して、プリンタのメモリの一部を解放します。メモリを解放するには、印字幅をデフォルト設定のままにせず、実際のラベルの幅に調整します。</p> <p>取り付けられていないデバイスや利用できないデバイスにデータが送られないようにします。</p> <p>問題が解決しない場合は、サービス技術者にお問い合わせください。</p> |

## インジケータ ライト

プリンタのディスプレイの上にあるインジケータ ランプもプリンタの状態を示します。

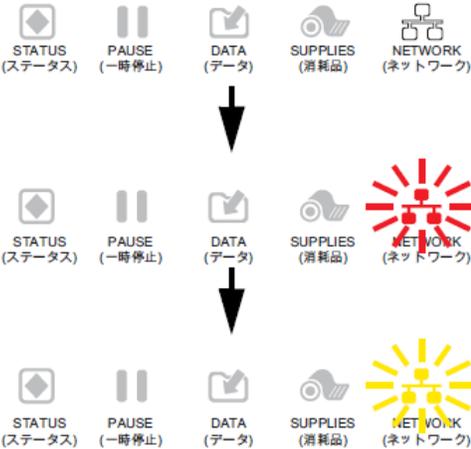
表 6 インジケータ ライトが示すプリンタのステータス

| インジケータ ライト  | ライトの意味   |
|---|--|
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> | <p>STATUS (ステータス) ランプが緑色点灯 (他のランプはプリンタの電源投入時に 2 秒間黄色点灯)。<br/>プリンタが使用可能です。</p>                                    |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> | <p>PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯。<br/>プリンタは一時停止しています。</p>  |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> | <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。<br/>SUPPLIES (消耗品) ランプが赤色点灯。<br/>用紙がなくなりました。プリンタに処置を講ずる必要があり、ユーザーが介入しないと続行できません。</p> |

表6 インジケータ ライトが示すプリンタのステータス (Continued)

| インジケータ ライト  | ライトの意味  |
|---|---|
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>   | <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。<br/>SUPPLIES (消耗品) ランプが赤色で点滅。<br/>リボンがなくなりました。プリンタに処置を講ずる必要があり、ユーザーが介入しないと続行できません。</p>  |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>   | <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯。<br/>SUPPLIES (消耗品) ランプが黄色で点滅。<br/>プリンタがダイレクトサーマルモードなのでリボンは不要ですが、プリンタにリボンがセットされています。</p>   |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>   | <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。<br/>PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯。<br/>印字ヘッドが開いています。プリンタに処置を講ずる必要があり、ユーザーが介入しないと続行できません。</p>  |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>  | <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯。<br/>印字ヘッドの温度が高すぎます。</p> <p> <b>注意—熱い表面:</b> 印字ヘッドが熱くなっている可能性があり、重篤な火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷めるまで時間をおいてください。</p> |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> | <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色で点滅。<br/>次のいずれかを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 印字ヘッドの温度が低すぎます。</li> <li>• 電源の温度が高すぎます。</li> <li>• メインロジックボード (MLB) の温度が高すぎます。</li> </ul>                                      |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> | <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯。<br/>PAUSE (一時停止) ランプが赤色点灯。<br/>DATA (データ) ランプが赤色点灯。<br/>印字ヘッドが純正 Zebra 印字ヘッド以外のヘッドに交換されました。Zebra 純正印字ヘッドを取り付けて続行してください。</p>   |
|  <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> | <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色で点滅。<br/>プリンタが印字ヘッドの dpi 設定を読み取れません。</p>  |
| <p>ZebraNet 有線イーサネット オプションのあるプリンタ</p>   |   |

表6 インジケータ ライトが示すプリンタのステータス (Continued)

| インジケータ ライト  | ライトの意味   |
|---|--|
|    | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが消灯。<br/>使用できるイーサネット リンクはありません。</p>   |
|    | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色点灯。<br/>100Base-T リンクが見つかりました。</p>   |
|    | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが黄色点灯。<br/>10Base-T リンクが見つかりました。</p>  |
|    | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが赤色点灯。<br/>イーサネットにエラーが発生しています。プリンタがネットワークに接続されていません。</p>  |
| <p>ZebraNet 無線オプションのあるプリンタ</p>  |  |
|   | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが消灯。<br/>パワーアップ時に無線機が見つかりました。プリンタはそのネットワークとの接続を試行します。<br/>プリンタとネットワークの関連付け時にランプが赤く点滅します。<br/>次に、プリンタとネットワークの認証時にランプが黄色く点滅します。</p> |
|  | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色点灯。<br/>無線がネットワークに接続して認証されています。また、WLAN 信号強度は強です。</p>   |
|  | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色で点滅。<br/>無線がネットワークに接続して認証されています。ただし、WLAN 信号強度は弱です。</p>   |
|  | <p>NETWORK (ネットワーク) ランプが赤色点灯。<br/>WLAN にエラーが発生しています。プリンタがネットワークに接続されていません。</p>   |

## トラブルシューティング

この情報を使用して、プリンタの問題をトラブルシューティングします。

### 印刷または印刷品質の問題

| 問題                        | 考えられる原因   | 奨励される解決策  |
|---------------------------|---|---|
| バーコードをスキャンできない            |   |   |
| ラベルに印刷されたバーコードをスキャンできません。 | プリンタが不適切な濃度レベルに設定されているか印字ヘッド圧力がオフのため、バーコードが仕様を満たしていません。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷 (57ページ) の手順を実行します。</li> <li>必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。</li> <li>通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。</li> </ul> <p>ホーム画面から [メニュー] &gt; [印刷] &gt; [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p> </li> <li>印字ヘッドの圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。印字ヘッド圧力の調整 (115ページ) を参照してください。</li> </ol> |
|                           | バーコードの周囲に十分な空白がありません。                                   | ラベル上のバーコードとその他の印刷領域の間、およびバーコードとラベルの端の間には、最低 3.2mm (1/8 インチ) の空白を残しておきます。  |
| 画像サイズが正しくない               |   |   |
| ラベルの印刷が小さすぎる (または大きすぎる)   | 誤ったプリンタドライバを使用しているか、他の設定が印刷アプリケーションに適していません。            | ご使用の接続について、プリンタドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します (必要な場合)。プリンタをデバイスに接続 (18ページ) の手順に従って、プリンタドライバを再インストールすることをお勧めします。   |
| 印刷品質が不良                   |   |   |
| ラベルに染みが付いている              | 用紙またはリボンが高速処理に適していません。                                  | 高速処理用に推奨されているサプライ製品と交換します。詳細については、 <a href="http://zebra.com/supplies">zebra.com/supplies</a> を参照してください。  |

| 問題                     | 考えられる原因                              | 奨励される解決策   |
|------------------------|--------------------------------------|--|
| 厚いラベルの印刷結果が不良          | 印字ヘッド圧力が不適切です。                       | 印字ヘッドの圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。 <a href="#">印字ヘッド圧力の調整</a> (115ページ) を参照してください。  |
| 印刷が一貫して薄すぎる、または濃すぎる    |                                      |  |
| ラベル全体の印刷が薄すぎる、または濃すぎる  | 用紙またはリボンが高速処理に適していません。               | 高速処理用に推奨されているサプライ製品と交換します。詳細については、 <a href="http://zebra.com/supplies">zebra.com/supplies</a> を参照してください。   |
|                        | プリンタが不適切な濃度レベルに設定されています。             | 最適な印字品質を得るため、アプリケーションに設定できる最低の濃度に設定します。<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1. <a href="#">印刷ウィザードの実行とテストラベルの印刷</a> (57ページ) の手順を実行します。</li> <li>2. 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。</li> <li>• 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。</li> </ul> </li> </ol> <p>ホーム画面から <b>[メニュー]</b> &gt; <b>[印刷]</b> &gt; <b>[印刷品質]</b> の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p> |
|                        | 使用している用紙とリボンの組み合わせがアプリケーションに適していません。 | 互換性のある組み合わせを見つけるため、別のタイプの用紙またはリボンに切り替えます。<br>必要に応じて、Zebra 公認の代理店または販売店にお問い合わせください。   |
|                        | 印字ヘッド圧力が不適切です。                       | 印字ヘッドの圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。 <a href="#">印字ヘッド圧力の調整</a> (115ページ) を参照してください。  |
| ラベルの一方の側の印刷が薄すぎるか、濃すぎる | 印字ヘッド圧力が不均一です。                       | 印字ヘッド圧力を良好な印刷品質に必要な値に調整します。参照: <a href="#">印字ヘッド圧力の調整</a> (115ページ)   |

| 問題                  | 考えられる原因  | 奨励される解決策  |
|---------------------|--|---|
| 一般的な印字品質の問題         | プリンタが不適切な印刷速度または濃度レベルに設定されています。プリンタ設定は、使用しているドライバまたはソフトウェアによって影響を受けることがあります。ご注意ください。 | <p>最適な印字品質を得るため、アプリケーションに設定できる最低の濃度に設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷 (57ページ) の手順を実行します。</li> <li>必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。</li> <li>通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。</li> </ul> <p>ホーム画面から [メニュー] &gt; [印刷] &gt; [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p> |
|                     | 使用しているラベルとリボンの組み合わせがアプリケーションに適していません。  | <p>互換性のある組み合わせを見つけるため、別のタイプの用紙またはリボンに切り替えます。</p> <p>必要に応じて、Zebra 公認の代理店または販売店にお問い合わせください。</p>   |
|                     | 印字ヘッドが汚れています。  | <p>印字ヘッドとプラテン ローラーをクリーニングします。印字ヘッドとプラテン ローラーのクリーニング (121ページ) を参照してください。</p>   |
|                     | 印字ヘッドの圧力が正しくないか不均一です。  | <p>印字ヘッドの圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。印字ヘッド圧力の調整 (115ページ) を参照してください。</p>   |
|                     | ラベルのフォーマットがスケーラブルではないフォントをスケーリングしています。   | <p>フォントの問題についてはラベルのフォーマットを確認してください。</p>   |
| 空白のラベルにグレーの斜線がある    |  |   |
| 空白のラベルに細かいグレーの斜線がある | リボンにシワがあります。   | <p>その他の問題 (163ページ) で、リボンにシワがある場合の原因と解決策を参照してください。</p>   |
| 印刷抜け                |  |   |
| 複数のラベルに長い印刷ヌケの跡がある  | 印刷エレメントが損傷しています。   | <p>サポートが必要な場合は、サービス技術者にお問い合わせください。</p>  |

| 問題   | 考えられる原因                | 奨励される解決策  |
|--|------------------------|---|
|  | リボンにシワがあります。           | <a href="#">リボンの問題</a> (155ページ) で、リボンにシワがある場合の原因と解決策を参照してください。                        |
| レジストレーションのロス   |                        |   |
| ラベルでの印刷レジストレーションのロス<br>フォーム上部のレジストレーション位置が過剰に縦方向にずれる | プラテン ローラーが汚れています。      | 印字ヘッドとプラテン ローラーをクリーニングします。 <a href="#">印字ヘッドとプラテン ローラーのクリーニング</a> (121ページ) を参照してください。 |
|  | 用紙ガイドの位置が正しくありません。     | 用紙ガイドが正しくセットされていることを確認します。 <a href="#">用紙の装着</a> (36ページ) を参照してください。                   |
|  | 用紙タイプの設定が不適切です。        | 正しい用紙タイプ (ギャップ/切れ込み、連続またはマーク) に合わせてプリンタを設定します。  |
|  | 用紙が正しくセットされていません。      | 用紙を正しくセットします。 <a href="#">用紙の装着</a> (36ページ) を参照してください。                                |
| ラベルが位置ずれ/スキップされる                                     | プリンタがキャリブレートされていません。   | プリンタをキャリブレートします。 <a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート</a> (111ページ) を参照してください。           |
|  | ラベル フォーマットが不適切です。      | ラベル フォーマットを確認し、必要に応じて訂正します。   |
| 3つのラベルのうち1つが位置ずれ、または誤印刷される                           | プラテン ローラーが汚れています。      | 印字ヘッドとプラテン ローラーをクリーニングします。 <a href="#">印字ヘッドとプラテン ローラーのクリーニング</a> (121ページ) を参照してください。 |
|  | 用紙が仕様に適合していません。        | 仕様に合った用紙を使用します。 <a href="#">用紙仕様</a> (186ページ) を参照してください。                              |
| フォーム上部の位置が縦方向にずれる                                    | プリンタのキャリブレーションがずれています。 | プリンタをキャリブレートします。 <a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート</a> (111ページ) を参照してください。           |
|  | プラテン ローラーが汚れています。      | 印字ヘッドとプラテン ローラーをクリーニングします。 <a href="#">印字ヘッドとプラテン ローラーのクリーニング</a> (121ページ) を参照してください。 |
| ラベル イメージの配置での水平方向の移動。                                | 前のラベルが誤って切り取られました。     | ラベルを切り取る際に、切り取りバーを使ってラベル台紙から簡単に切り取れるように下方向で左方向に引き下げます。上下や右に引くと、用紙が横方向に移動することがあります。    |

| 問題                 | 考えられる原因                                | 奨励される解決策   |
|--------------------|--|--|
| イメージまたはラベルが縦方向にずれる | プリンタでは単票ラベルが使用されていますが、設定は連続モードになっています。 | プリンタを正しい用紙のタイプ (ギャップ/切れ込み、連続、またはマーク) に設定し、必要に応じて、プリンタをキャリブレートします。 <a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート</a> (111ページ) を参照してください。 |
|                    | 用紙センサーが正しくキャリブレートされていません。              | プリンタをキャリブレートします。 <a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート</a> (111ページ) を参照してください。  |
|                    | プラテンローラーが汚れています。                       | 印字ヘッドとプラテンローラーをクリーニングします。 <a href="#">印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング</a> (121ページ) を参照してください。  |
|                    | 印字ヘッドの圧力設定 (トル) が不適切です。                | 印字ヘッドの圧力を調整し、正しく動作することを確認します。 <a href="#">印字ヘッド圧力の調整</a> (115ページ) を参照してください。   |
|                    | 用紙またはリボンが正しくセットされていません。                | 用紙とリボンが正しくセットされていることを確認します。 <a href="#">リボンのセット</a> (54ページ) と <a href="#">用紙の装着</a> (36ページ) を参照してください。                       |
|                    | 用紙に互換性がありません。                          | プリンタ仕様に適合する用紙を使用してください。ラベル間の切れ目または切れ込みが2~4mmであり、等間隔であることを確認します。 <a href="#">用紙仕様</a> (186ページ) を参照してください。                     |

## リボンの問題

| 問題         | 考えられる原因 | 奨励される解決策 |
|------------|---------|----------|
| リボンが破損している |         |          |

| 問題              | 考えられる原因                                | 奨励される解決策  |
|-----------------|--|---|
| リボンが損傷または溶解している | 濃度の設定が高すぎます。                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>印刷ウィザードの実行とテストラベルの印刷</b> (57ページ) の手順を実行します。</li> <li>2. 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。</li> <li>• 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。</li> </ul> <p>ホーム画面から [メニュー] &gt; [印刷] &gt; [印刷品質] の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p> </li> <li>3. 印字ヘッドを完全にクリーニングします。<b>印字ヘッドとプラテンローラーのクリーニング</b> (121ページ) を参照してください。</li> </ol> |
|                 | リボンのコーティング面が適切ではありません。このプリンタでは使用できません。 | 適切な面がコーティングされているリボンと交換してください。詳細については、 <b>リボン</b> (13ページ) を参照してください。   |
| リボンにシワがある       |  |   |
| リボンにシワがある       | リボンが正しくセットされていません。                     | リボンを正しくセットします。 <b>リボンのセット</b> (54ページ) を参照してください。  |

| 問題  | 考えられる原因   | 奨励される解決策  |
|---|---|---|
|   | 焼き付け温度が不適切です。                                       | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>印刷ウィザードの実行とテスト ラベルの印刷</b> (57ページ) の手順を実行します。</li> <li>2. 必要に応じて、印刷濃度または印刷速度設定を手動で調整します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 印字濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼き付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。</li> <li>• 通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。</li> </ul> <p>ホーム画面から <b>[メニュー]</b> &gt; <b>[印刷]</b> &gt; <b>[印刷品質]</b> の順にタッチして、濃度と印刷速度の設定にアクセスします。</p> </li> </ol> |
|   | 印字ヘッドの圧力が正しくないか不均一です。                               | 印字ヘッドの圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。 <b>印字ヘッド圧力の調整</b> (115ページ) を参照してください。  |
|   | 用紙が正しくフィードされず、左右に「ずれて」います。                          | 用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまで調整します。それでも問題が解決しない場合は、印字ヘッドの圧力を確認します。 <b>印字ヘッド圧力の調整</b> (115ページ) を参照してください。<br>必要な場合は、サービス技師にお問い合わせください。  |
|   | 印字ヘッドまたはプラテンローラーが正しく装着されていない可能性があります。               | 可能であれば、正しく装着されていることを確認します。必要な場合は、サービス技師にお問い合わせください。   |
| <b>リボンの検出の問題</b>                              |   |   |
| リボンがなくなってもプリンタが検知しない                          | プリンタのキャリブレートがリボンなしで、またはリボンが正しくセットされずに行われたことが考えられます。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リボンセンサーに検出されるようにリボンが正しくセットされていることを確認します。印字ヘッドの下で、リボンがプリンタのファイアウォールの近くまで戻っていることを確認してください。<b>リボンのセット</b> (54ページ) を参照してください。</li> <li>2. プリンタをキャリブレートします。<b>リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレート</b> (111ページ) を参照してください。</li> </ol>  |
| 熱転写モードで、リボンが正しくセットされているにもかかわらず、プリンタがリボンを認識しない |   |   |

| 問題  | 考えられる原因   | 奨励される解決策  |
|---|---|---|
| <p>リボンが正しくセットされているにもかかわらず、プリンタがリボン切れを表示する</p> | <p>プリンタが、使用しているラベルおよびリボンに合わせてキャリブレーションされていない。</p> | <p>プリンタをキャリブレーションします。<a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション</a>（111ページ）を参照してください。</p> |

## 通信の問題

| 問題  | 考えられる原因   | 奨励される解決策   |
|---|---|--|
| ラベルのフォーマットが認識されない   |   |  |
| ラベルのフォーマットがプリンタに送信されたが認識されない。DATA (データ) ランプが点滅しない。  | 通信パラメータが不適切です。  | ご使用の接続について、プリンタドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します (必要な場合)。 <a href="#">プリンタをデバイスに接続 (18ページ)</a> の手順に従って、プリンタドライバを再インストールすることをお勧めします。   |
| ラベルのフォーマットがプリンタに送信されたが認識されない。DATA (データ) ランプが点滅するが、印刷が行われない。   | プリンタに設定されているプレフィックス文字とデリミタ文字がラベルフォーマットのこれらの文字と一致していません。 | 以下の SGD コマンドを使用して、プレフィックスとデリミタ文字を確認します。必要に応じて値を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>! U1 getvar "zpl.format_prefix"</li> <li>! U1 getvar "zpl.delimiter"</li> </ul> |
|   | 誤ったデータがプリンタに送信されています。                                   | コンピュータの通信設定を確認します。この設定がプリンタの設定に一致することを確認します。   |
|   | プリンタのエミュレーションがアクティブになっています。                             | それでも問題が解決しない場合は、ラベルフォーマットを確認します。   |
| ラベルが正常に印刷されなくなる   |   |  |
| ラベルのフォーマットがプリンタに送信された。ラベルが何枚か印刷されるが、その後、プリンタでラベル上のイメージがスキップされたり、誤った位置に配置されたり、印刷されなかったり、歪んで印刷されたりする。 | シリアル通信設定が不適切です。   | フロー制御設定が一致することを確認します。  |
|   |   | 通信ケーブルの長さを確認します。要件については、 <a href="#">通信インターフェースの仕様 (181ページ)</a> を参照してください。   |
|   |   | プリンタドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します (該当する場合)。   |

## RFID の問題

| 問題                            | 考えられる原因  | 奨励される解決策  |
|-------------------------------|--|---|
| プリンタが RFID インレイで停止する          |  |   |
| プリンタが RFID インレイで停止します。        | プリンタが、ラベル間のギャップまでではなく、RFID インレイまでしかラベル長をキャリブレートしませんでした。      | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [メニュー] &gt; [システム] &gt; [設定] とタップしてから、[電源投入時の動作] および [印字ヘッドを閉めた時の動作] で [フィード] を選択します。</li> <li>2. プリンタを手動でキャリブレートします。手動によるセンサー キャリブレートの実行 (111ページ) を参照してください。</li> </ol>                                  |
| 無効なラベル                        |  |   |
| プリンタはすべてのラベルを無効にしません。         | プリンタが、使用している用紙に合わせてキャリブレートされていません。                           | プリンタを手動でキャリブレートします。手動によるセンサー キャリブレートの実行 (111ページ) を参照してください。   |
|                               | ご使用のプリンタでサポートされていないタグタイプの RFID ラベルを使用しています。                  | これらのプリンタでは、Gen 2 RFID ラベルのみがサポートされます。詳細については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照するか、または公認の Zebra RFID 再販業者に問い合わせてください。  |
|                               | プリンタが RFID リーダーと通信できません。                                     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタをオフ (O) にします。</li> <li>2. 10 秒待ちます。</li> <li>3. プリンタをオン (I) にします。</li> <li>4. それでも問題が解決しない場合は、RFID リーダーが不良か、RFID リーダーとプリンタの接続が不完全である可能性があります。技術サポートまたは資格のある Zebra RFID のサービス技師にお問い合わせください。</li> </ol> |
|                               | 別の RF ソースからの周波数変調 (FM) 干渉があります。                              | <p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタを、固定されている RFID リーダーまたはその他の RF ソースから離します。</li> <li>• RFID プログラミングの間中、用紙アクセス用ドアをしっかりと閉めておきます。</li> </ul>   |
| ラベル デザイナー ソフトウェアの設定が正しくありません。 | このソフトウェア設定は、プリンタの設定を無効化します。ソフトウェアとプリンタの設定が一致していることを確認してください。 |   |

| 問題                                      | 考えられる原因   | 奨励される解決策  |
|---|---|---|
|   | <p>使用しているプログラミング位置が正しくありません (特に、使用しているタグがプリンタの仕様に適合している場合)。</p>       | <p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>RFID プログラミング位置を確認するか、ラベル デザイナー ソフトウェアのプログラム位置の設定を確認します。位置が正しくない場合は、設定を変更します。</li> <li>RFID プログラミング位置をデフォルト値に戻します。</li> </ul> <p>詳細については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照してください。トランスポンダの配置の詳細については、<a href="http://zebra.com/transponders">zebra.com/transponders</a> を参照してください。</p> |
|   | <p>送信している RFID ZPL または SGD コマンドが正しくありません。</p>                         | <p>ラベル フォーマットを確認してください。詳細については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照してください。</p>   |
| <p>収率が低く、ロールごとに無効になる RFID タグが多すぎます。</p> | <p>RFID ラベルがプリンタの仕様を満たしていません。トランスポンダが、一貫したプログラミングを可能にする領域内にありません。</p> | <p>ラベルが、使用しているプリンタのトランスポンダ配置仕様に準拠していることを確認してください。トランスポンダ配置の情報については、<a href="http://zebra.com/transponders">zebra.com/transponders</a> を参照してください。</p> <p>詳細については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照するか、または公認の Zebra RFID 再販業者に問い合わせてください。</p>   |
|   | <p>RFID の読み取り/書き込みのパワーレベルが不適切です。</p>                                  | <p>RFID の読み取り/書き込みのパワーレベルを変更します。手順については、『RFID プログラミング ガイド 3』を参照してください。</p>  |
|   | <p>別の RF ソースからの周波数変調 (FM) 干渉があります。</p>                                | <p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタを、固定されている RFID リーダーから離します。</li> <li>RFID プログラミングの間中、用紙アクセス用ドアをしっかりと閉めておきます。</li> </ul>   |
|   | <p>プリンタが、プリンタ ファームウェアとリーダー ファームウェアの古いバージョンを使用しています。</p>               | <p>更新されたファームウェアについては、<a href="http://zebra.com/firmware">zebra.com/firmware</a> をご覧ください。</p>  |
| RFID のその他の問題                            |   |   |

| 問題  | 考えられる原因  | 奨励される解決策  |
|---|--|---|
| <p>RFID パラメータがセットアップモードで表示されず、RFID 情報がプリンタ設定ラベルに表示されません。</p> <p>プリンタは、正しくプログラミングされていない RFID ラベルでも無効にしません。</p> | <p>プリンタの電源をオフ (O) にしてから、あまりに速くオン (I) にしたので、RFID リーダーが正しく初期化されませんでした。</p> | <p>プリンタの電源をオフにした後、最低 10 秒待機してから、電源をオンにしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタをオフ (O) にします。</li> <li>2. 10 秒待ちます。</li> <li>3. プリンタをオン (I) にします。</li> <li>4. セットアップモードの RFID パラメータをチェックするか、新しい設定ラベルの RFID 情報をチェックします。</li> </ol> |
|   | <p>不正なバージョンのプリンタファームウェアがプリンタにロードされました。</p>                               | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正しいバージョンのファームウェアがプリンタにロードされていることを確認します。詳細については、『RFID プログラミングガイド 3』を参照してください。</li> <li>2. 必要に応じて、正しいプリンタファームウェアをダウンロードします。</li> <li>3. それでも、問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください。</li> </ol>                      |
|   | <p>プリンタが RFID サブシステムと通信できません。</p>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタをオフ (O) にします。</li> <li>2. 10 秒待ちます。</li> <li>3. プリンタをオン (I) にします。</li> <li>4. それでも問題が解決しない場合は、RFID リーダーが不良か、RFID リーダーとプリンタの接続が不完全である可能性があります。技術サポートまたは資格のあるサービス技師に連絡してください。</li> </ol>              |
| <p>プリンタまたはリーダーファームウェアのダウンロードを試行すると、DATA (データ) ランプが点滅を続けます。</p>  | <p>ダウンロードが失敗しました。最良の結果を得るには、各ファームウェアをダウンロードする前に、プリンタの電源をオン/オフします。</p>    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタをオフ (O) にします。</li> <li>2. 10 秒待ちます。</li> <li>3. プリンタをオン (I) にします。</li> <li>4. ファームウェアのダウンロードを再試行します。</li> <li>5. それでも、問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください。</li> </ol>                                       |

## その他の問題

| 問題  | 考えられる原因   | 奨励される解決策   |
|---|---|--|
| ディスプレイの問題   |   |  |
| コントロールパネルに判読できない言語が表示される  | コントロールパネルまたはファームウェアコマンドによって言語パラメータが変更されました。   | <ol style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面で、[メニュー] (左下のアイコン) をタッチします。<br/> </li> <li>画面の一番上の選択肢をタッチします。</li> <li>このメニュー オプションの下の言語選択肢をスクロールします。このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語が見つかりやすくなっています。</li> <li>選択する言語をタッチして表示します。</li> <li>[ホーム] アイコンをタッチしてホーム画面に戻ります。</li> </ol> |
| ディスプレイの文字または文字の一部が欠けている   | ディスプレイの交換が必要な可能性があります。  | サービス技術者にお問い合わせください。  |
| USB ホスト ポートが USB デバイスを認識しない                                       |   |  |
| プリンタが USB デバイスを認識していないか、USB ホストポートに接続した USB デバイス上のファイルを読み取っていません。 | <p>プリンタは、現在、最大 1TB までの USB ドライブしかサポートしていません。</p> <p>USB デバイスが、専用の外部電源を必要とする可能性があります。</p>        | <p>1TB 以下の USB ドライブを使用してください。</p> <p>USB デバイスに外部電源が必要な場合は、機能する電源にドライブが差し込まれていることを確認してください。</p>   |
| プリンタ パラメータが予測したとおりに設定されていない                                       |   |  |
| パラメータの設定変更が反映されていない。<br>または<br>一部のパラメータが予期せず変化しました。               | <p>ファームウェアの設定またはコマンドにより、パラメータの変更機能が妨げられています。</p> <p>ラベル フォーマットのコマンドにより、パラメータが以前の設定に戻されています。</p> | <p>フォーマットをプリンタに送信するために使用しているソフトウェアのラベルのフォーマットまたは設定を確認してください。</p> <p>必要に応じて、『Programming Guide for ZPL, ZBI, Set - Get - Do, Mirror, and WML』を参照するか、サービス技師にお問い合わせください。マニュアルのコピーは、<a href="http://zebra.com/manuals">zebra.com/manuals</a> で入手できます。</p>  |
| IP アドレスが変更される   |   |  |

| 問題   | 考えられる原因   | 奨励される解決策   |
|--|---|--|
| <p>プリンタの電源をしばらくオフにすると、その後、プリンタが新しい IP アドレスをプリントサーバーに再割り当てします。</p>                      | <p>ネットワークの設定が原因で、ネットワークが新しい IP アドレスを再割り当てしています。</p> | <p>プリンタが IP アドレスを変更することで問題が起きる場合は、次の手順に従って、静的 IP アドレスを割り当ててください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリントサーバー (有線、ワイヤレス、またはその両方) の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイに割り当てべき値を確認します。</li> <li>2. 適切な IP プロトコルの値を [確定] に変更します。</li> <li>3. 適切なプリントサーバーの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの値を、固定したい値に変更します。</li> <li>4. [メニュー] &gt; [接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット] の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存します。</li> </ol>   |
| <p>有線接続または無線接続で接続できない</p>  |   |  |
| <p>プリンタ上で、ワイヤレス IP アドレス、サブネット、およびゲートウェイを手動で入力しましたが、有線ネットワークにもワイヤレスネットワークにも接続できません。</p> | <p>値の変更後に、プリンタのネットワークをリセットする必要があります。</p>            | <p>[メニュー] &gt; [接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット] の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存します。</p>  |
|  | <p>ESSID 値が指定されていません。</p>                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワイヤレス接続の場合は、以下の Set/Get/Do コマンドを使用して、ワイヤレスルーターで使用する値と一致する ESSID 値を指定します。<br/> <pre>! U1 setvar "wlan.essid" "value"</pre>                     ここで、"value" はルーターの ESSID (ネットワーク SSID と呼ばれる) です。ルーターの背面を見ると、ルーターのデフォルト情報を記載したステッカーを確認できます。<br/>  <b>注:</b> 情報がデフォルトから変更されている場合は、ネットワーク管理者に使用する ESSID 値を確認してください。                 </li> <li>2. それでもプリンタが接続しない場合は、[メニュー] &gt; [接続] &gt; [ネットワーク] &gt; [ネットワークのリセット] の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存し、その後でプリンタの電源を入れ直します。</li> </ol> |

| 問題  | 考えられる原因                           | 奨励される解決策   |
|---|-----------------------------------|--|
|   | ESSID 値または他の値が正しく指定されていません。       | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネットワーク設定ラベルを印刷して、指定した値が正しいことを確認してください。</li> <li>2. 必要に応じて修正します。</li> <li>3. [メニュー]&gt;[接続]&gt;[ネットワーク]&gt;[ネットワークのリセット]の順にタッチしてネットワークをリセットしてから、チェックマークをタッチして変更を保存します。</li> </ol> |
| キャリブレーションの問題  |                                   |  |
| 自動キャリブレーションに失敗した                                    | 用紙またはリボンが正しくセットされていません。           | 用紙とリボンが正しくセットされていることを確認します。 <a href="#">リボンのセット</a> (54ページ)と <a href="#">用紙の装着</a> (36ページ)を参照してください。   |
|   | センサーが用紙またはリボンを検出できませんでした。         | プリンタをキャリブレーションします。 <a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション</a> (111ページ)を参照してください。   |
|   | センサーが汚れているか、正しい位置にセットされていません。     | センサーがクリーニングされ、適切に配置されていることを確認します。  |
|   | 用紙タイプの設定が不適切です。                   | 正しい用紙タイプ (ギャップ/切れ込み、連続またはマーク) に合わせてプリンタを設定します。   |
| 単票ラベルが連続ラベルとして扱われる。                                 | プリンタが、使用している用紙用にキャリブレーションされていません。 | プリンタをキャリブレーションします。 <a href="#">リボンセンサーと用紙センサーのキャリブレーション</a> (111ページ)を参照してください。   |
|   | プリンタが連続用紙用に設定されています。              | 正しい用紙タイプ (ギャップ/切れ込み、連続またはマーク) に合わせてプリンタを設定します。   |
| プリンタがロックされて動かない                                     |                                   |  |
| すべてのインジケータランプが点灯して、ディスプレイに何も表示されず、プリンタがロックされて動きません。 | 内部の電子的傷害またはファームウェアの故障です。          | プリンタの電源を入れ直します。問題が解決しない場合は、サービス技術者にお問い合わせください。   |
| 起動時にがロックされて動かない。                                    | メインロジックボードの故障です。                  |  |

## プリンタの修理

本プリンタの使用中に問題が発生した場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステムサポートにお問い合わせください。本プリンタに問題がある場合は、当該の技術サポートまたはシステムサポートの担当者が、次のサイト ([zebra.com/support](http://zebra.com/support)) へお問い合わせます。

Zebra グローバル カスタマー サポートに問い合わせる前に、次の情報を収集してください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ファームウェアのバージョン番号

Zebra では、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。Zebra グローバル カスタマー サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。

ご使用の製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

## プリンタの輸送

プリンタを輸送する必要がある場合:

1. プリンタの電源をオフ (O) にして、すべてのケーブルを取り外します。
2. プリンタ内部からすべての用紙、リボン、または固定されていない物を取り外します。
3. 印字ヘッドを閉じます。
4. また、プリンタを元の段ボール箱またはその他の適切な段ボール箱に注意して梱包し、輸送中の損傷を避けるようにしてください。

元の梱包材料がないか、破損してしまった場合は、Zebra から輸送用の段ボール箱を購入できます。



**重要:** Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な方法で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

# USB ホスト ポートと Print Touch 機能の使用

この演習では、Android™ ベースの NFC 対応デバイス (スマートフォンまたはタブレットなど) での USB ホストポートの使用方法和、プリンタの Print Touch 機能の使用方法について説明します。

SGD コマンドの一部は、上級ユーザー向けのこれらの演習の一部として記載されています。

## 演習に必要なアイテム

ここに記載された演習の実行には、以下のアイテムが必要です。

- 最大 1 テラバイト (TB) の USB フラッシュドライブ



**注:** 1 TB を超えるドライブはプリンタで認識されません。

- USB キーボード
- さまざまなファイルが次に一覧表示されます [演習を完了するためのファイル](#) (168ページ)
- スマートフォン用無料 Zebra ユーティリティ アプリ (Google Play ストアで Zebra Technologies を検索)。

## 演習を完了するためのファイル

これらのセクションの演習を完了するために必要なファイルのほとんどは、[ここ](#)に配置された .ZIP ファイルの形式で、zebra.com から入手できます。これらのファイルをコンピュータにコピーしてから、演習を開始してください。可能な場合は、ファイルの内容が表示されます。コーディングされた内容を含むファイルのコンテンツは、テキストやイメージとして表示できず、下記の図には含まれません。

### ファイル 1: ZEBRA.BMP



### ファイル 2: SAMPLELABEL.TXT

この簡単なラベル フォーマットを使用すると、ミラーリング演習の最後に、Zebra ロゴとテキスト行が印刷されます。

```
^XA
^FO100,75^XGE:zebra.bmp^FS
^FO100,475^A0N,50,50^FDMirror from USB Completed^FS
^XZ
```

### ファイル 3: LOGO.ZPL

### ファイル 4: USBSTOREDFILE.ZPL

このラベル フォーマットを使用すると、画像とテキストが印刷されます。このファイルは、印刷できるように、ルート レベルの USB メモリデバイスに保存されます。

```
CT~~CD,~CC^~CT~
^XA~TA012~JSN^LT0^LH0,0^JMA^PR4,4~SD15^LRN^CI0^XZ
~DG000.GRF,07680,024,,[image data]
^XA
^LS0
^SL0
^BY3,3,91^FT35,250^BCN,,Y,N^FC%,{,#{^FD%d/%m/%Y^FS
^FT608,325^XG000.GRF,1,1^FS
^FT26,75^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed from a format stored^FS
^FT26,125^A0N,28,28^FH\^FDOn a USB Flash Memory drive. ^FS
^BY3,3,90^FT33,425^BCN,,Y,N
^FD>:Zebra Technologies^FS
^PQ1,0,1,Y^XZ
^XA^ID000.GRF^FS^XZ
```

### ファイル 5: VLS\_BONKGRF.ZPL

このファイルは、[ここ](#)にある .ZIP ファイルに含まれています。

### ファイル 6: VLS\_EIFFEL.ZPL

このファイルは、[ここ](#)にある .ZIP ファイルに含まれています。

### ファイル 7: KEYBOARDINPUT.ZPL

このラベル フォーマットは USB キーボード入力の演習に使用され、以下のことを行います。

- リアルタイム クロック (RTC) の設定に基づいて、現在の日付の付いたバーコードを作成します
- Zebra ロゴのグラフィックを印刷します
- 固定テキストを印刷します
- ^FN により、ユーザー名の入力を促すプロンプトが表示され、入力した内容がプリンタで印刷されま

```

^XA
^CI28
^BY2,3,91^FT38,184^BCN,,Y,N^FC%,{,#{^FD%d/%m/%Y^FS
^FO385,75^XGE:zebra.bmp^FS
^FT40,70^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed using a keyboard input. ^FS
^FT35,260^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed by:^FS
^FT33,319^A0N,28,28^FN1"Enter Name"^FS
^XZ
    
```

### ファイル 8: SMARTDEVINPUT.ZPL

これは前のラベルと同じラベル フォーマットですが、テキストの印刷だけが異なります。このフォーマットは、スマート デバイスの入力演習に使用します。

```

^XA
^CI28
^BY2,3,91^FT38,184^BCN,,Y,N^FC%,{,#{^FD%d/%m/%Y^FS
^FO385,75^XGE:zebra.bmp^FS
^FT40,70^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed using a smart device input.
^FS
^FT35,260^A0N,28,28^FH\^FDThis label was printed by:^FS
^FT33,319^A0N,28,28^FN1"Enter Name"^FS
^XZ
    
```

### ファイル 9: ファームウェア ファイル

プリンタのファームウェア ファイルをダウンロードし、演習中に使用するためにコンピュータにコピーすることをお勧めします。この手順は、必要に応じて省略できます。

最新のファームウェア ファイルは、[zebra.com/firmware](http://zebra.com/firmware) からダウンロードできます。

## USB ホスト

プリンタにはフロントパネルに1つまたは2つのUSBホストポートが備わっています。USBホストポートを使用すると、USBデバイス(キーボード、スキャナ、USBフラッシュドライブなど)をプリンタに接続できます。このセクションの演習では、USBミラーの実行方法、ファイルをプリンタへ転送したりプリンタから転送したりする方法、プロンプトで要求された情報を入力し、その情報を使用してラベルを印刷する方法を学習します。



**重要:** USBホストポートを使用する場合、ファイル名には1～16個の英数字(A、a、B、b、C、c、...、0、1、2、3、...)だけを使用してください。ファイル名には、アジア系の文字、キリル文字、アクセント記号付き文字を使用しないでください。



**注:** ファイル名にアンダースコアがある場合、一部の機能が正しく動作しない可能性があります。代わりにピリオドを使用してください。

### 演習 1: ファイルを USB フラッシュドライブにコピーし、USB ミラーを実行する

1. USBフラッシュドライブで、以下のアイテムを作成します。



- zebra という名前のフォルダ
  - そのフォルダ内に3つのサブフォルダ:
    - appl
    - commands
    - files
2. /appl フォルダに、プリンタの最新ファームウェアのコピーを格納します。
3. /files フォルダには、次のファイルを格納します。
- **ファイル 1: ZEBRA.BMP** (168ページ)
4. /commands フォルダには、以下のファイルを格納します。
- **ファイル 2: SAMPLELABEL.TXT** (168ページ)
  - **ファイル 3: LOGO.ZPL** (168ページ)
5. プリンタ前面のUSBホストポートに、USBフラッシュドライブを挿入します。
6. コントロールパネルを観察し、待機します。
- 以下のことが起きるはずです。
- USBフラッシュドライブのファームウェアがプリンタのファームウェアと異なる場合は、USBフラッシュドライブのファームウェアがプリンタにダウンロードされます。その後、プリンタは再

起動し、プリンタ設定ラベルを印刷します(USB フラッシュドライブにファームウェアがない場合やファームウェアのバージョンが同じ場合は、このプリンタ動作はスキップされます)。

- /files フォルダにファイルがダウンロードされ、ディスプレイにダウンロード中のファイル名が短時間表示されます。
- /commands フォルダ内のファイルが実行されます。
- プリンタが再起動して次のメッセージが表示されます。MIRROR PROCESSING FINISHED

### 7. USB フラッシュドライブをプリンタから取り外します。

| 上級ユーザー向け情報  |  |
|---|--|
| このコマンドの詳細については、『Zebra Programming Guide』を参照してください。                  |  |
| ミラーリングを有効化/無効化するには、次の手順に従います。                                       | ! U1 setvar "usb.mirror.enable" "value"<br>値: "on" または "off"         |
| USB フラッシュドライブの USB ホストポートへの挿入時に発生する自動ミラーリングを有効または無効にするには、次の手順に従います。 | ! U1 setvar "usb.mirror.auto" "value"<br>値: "on" または "off"           |
| ミラーリングが失敗した場合にミラーリング操作を繰り返す回数を指定するには、次の手順に従います。                     | ! U1 setvar "usb.mirror.error_retry" "value"<br>値: 0 ~ 65535         |
| USB デバイス上のミラー ファイル取得位置へのパスを変更するには、次の手順に従います。                        | ! U1 setvar "usb.mirror.appl_path" "new_path"<br>デフォルト: "zebra/appl" |
| プリンタ上のミラー ファイル取得位置へのパスを変更するには、次の手順に従います。                            | ! U1 setvar "usb.host.lock_out" "value"<br>デフォルト: "zebra"            |
| USB ポートを使用する機能を有効または無効にするには、次の手順に従います。                              | ! U1 setvar "usb.host.lock_out" "value"<br>値: "on" または "off"         |

## 演習 2: USB フラッシュドライブからラベルフォーマットを印刷する

[Print USB File] (USB ファイルを印刷) オプションを使用すると、USB 大容量記憶装置 (USB フラッシュドライブなど) からファイルを印刷できます。USB 大容量記憶装置から印刷できるのは印刷可能ファイル (.ZPL と .XML) のみであり、それらのファイルは、ディレクトリでなく、ルートレベルに位置する必要があります。

### 1. 以下のファイルを USB フラッシュドライブにコピーします。

- ##### 4: USBSTOREDFILE.ZPL#168####
- ##### 5: VLS\_BONKGRF.ZPL#168####
- ##### 6: VLS\_EIFFEL.ZPL#168####

### 2. プリンタ前面の USB ホストポートに、USB フラッシュドライブを挿入します。

3. [メニュー] > [保管] > [USB] > [Print: From USB] (印刷: USB から) をタップします。



プリンタが実行可能ファイルを読み取って処理します。使用可能なファイルが一覧されます。[すべて選択]を使用すると、USB フラッシュドライブ上のすべてのファイルを印刷できます。

4. USBSTOREDFILE.zpl を選択します。
5. ファイルをコピーするには、チェックマークをタッチします。  
ラベルが印刷されます。

## 演習 3: ファイルを USB フラッシュドライブにコピーまたは、USB フラッシュドライブからコピーする

[USB ファイルをコピー] オプションを使用すると、USB 大容量記憶装置からプリンタのフラッシュメモリ (E: ドライブ) にファイルをコピーできます。

1. 以下のファイルを USB フラッシュドライブのルート ディレクトリにコピーします。
  - ##### 7: KEYBOARDINPUT.ZPL#169####
  - ##### 8: SMARTDEVINPUT.ZPL#169####



**注:** これらのファイルは、サブフォルダに入れしないでください。

2. プリンタ前面の USB ホスト ポートに、USB フラッシュドライブを挿入します。

3. [メニュー]>[ストレージ]>[USB]>[コピー: ファイルからプリンタ] をタップします。



プリンタが実行可能ファイルを読み取って処理します。使用可能なファイルが一覧されます。(必要に応じて、[すべて選択]を使用して、使用可能なすべてのファイルを USB フラッシュドライブからコピーできます)。

4. ファイル STOREFMT.ZPL と STOREFMTM1.ZPL を選択します。

5. ファイルをコピーするには、チェックマークをタッチします。

プリンタでは、ファイルが E: メモリに格納されます。

6. USB フラッシュドライブを USB ホスト ポートから取り外します。

これで、[メニュー]>[ストレージ]>[USB]>[コピー: ファイルを USB に] をタップして、プリンタから USB フラッシュドライブにこれらのファイルをコピーできます。



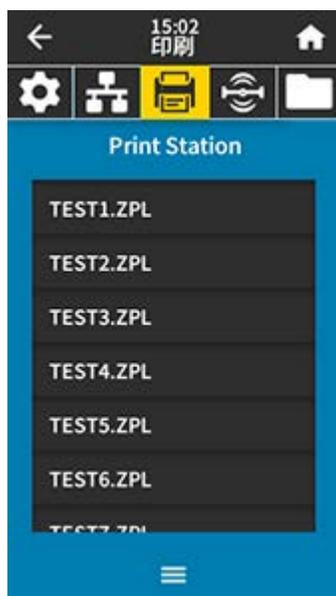
[すべて選択] オプションを使用すると、USB フラッシュドライブにプリンタからのすべてのファイルを保存できます。コピーした .ZPL ファイルはすべて後処理され、プリンタに送信して通常どおり実行できるようになります。

### 演習 4: 保存したファイルに USB キーボードでデータを入力し、ラベルを印刷する

プリントステーション機能を使用すると、USB キーボードやバーコード スキャナなど、データ入力装置 (HID) を使用して、<sup>^</sup>FN フィールド データを \*.ZPL テンプレート ファイルに入力できます。

1. 演習 3: ファイルを USB フラッシュドライブにコピーまたは、USB フラッシュドライブからコピーする (172 ページ) を実行したら、USB キーボードを USB ホスト ポートに接続します。
2. [メニュー] > [印刷] > [印刷ステーション] をタップします。

プリンタが実行可能ファイルを読み取って処理します。使用可能なファイルが一覧されます。



3. ファイル KEYBOARDINPUT.ZPL を選択します。

プリンタがファイルにアクセスし、ファイルへの <sup>^</sup>FN フィールド情報の入力を求めるプロンプトを表示します。この場合、プリンタはユーザー名の入力を求めています。

4. キーボードで名前を入力して、<ENTER> を押します。

プリンタは、印刷するラベルの数の入力を求めています。

5. ラベル数を指定して、再度 <ENTER> を押します。

指定した数のラベルが、該当するフィールドに名前を表示して印刷されます。

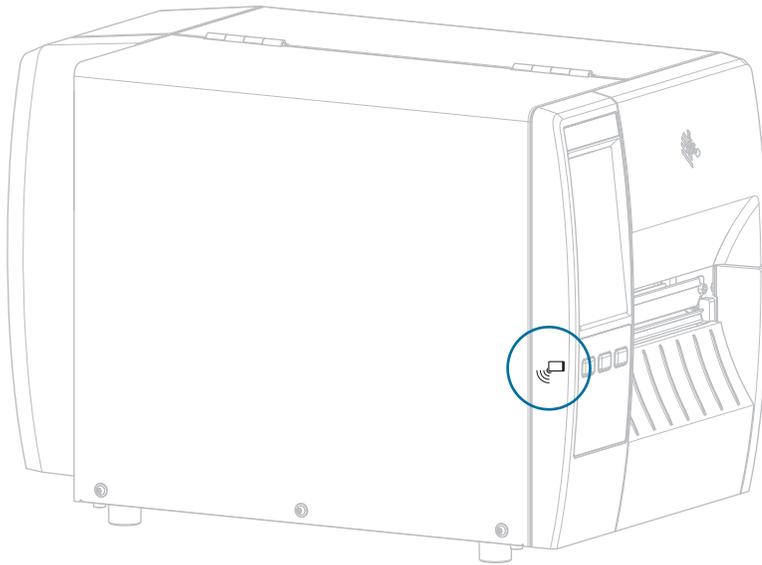
## Print Touch/近距離無線通信 (NFC)

Zebra Print Touch 機能を使用すると、Android™ ベースの NFC 対応デバイス (スマートフォンやタブレットなど) をプリンタの NFC ロゴにタッチさせることで、そのデバイスをプリンタにペアリングできます。つまり、デバイスを使用して、求められた情報を入力し、その情報でラベルを印刷することができます。



**重要：**一部のデバイスでは、その設定を変更しないと、プリンタとの NFC 通信ができません。問題がある場合は、サービス プロバイダ、またはスマート デバイスのメーカーに詳細を問い合わせてください。

図 18 NFC ロゴの位置



## 演習 5: 保存したファイルにデバイスでデータを入力し、ラベルを印刷する

この演習の手順は、次の条件によって多少異なる場合があります。

- お使いのデバイス (携帯電話またはタブレット)
- ご使用のサービス プロバイダ
- 無料の Zebra ユーティリティ アプリがデバイスにインストール済みかどうか。

Bluetooth インタフェースを使用するようにプリンタを設定する手順については、『Zebra Bluetooth User Guide』を参照してください。このマニュアルのコピーは、[zebra.com/manuals](http://zebra.com/manuals) で入手できます。

1. SMARTDEVINPUT.ZPL ファイルをデバイスにコピーします。
2. Zebra ユーティリティ アプリをデバイスにインストールしていない場合は、デバイスのアプリ ストアに移動し、Zebra Setup Utilities アプリを検索してインストールします。

3. 電話機が NFC をサポートしている場合、デバイスをプリンタ上の  NFC アイコンに近づけて、デバイスとプリンタをペアリングします。それ以外の場合は、デバイスの Bluetooth 設定を使用してペアリングします。

- a) 必要な場合は、デバイスを使用してプリンタに関する Bluetooth 情報にアクセスします。手順については、デバイス メーカーのマニュアルを参照してください。
- b) 必要な場合は、Zebra プリンタのシリアル番号を選択して、デバイスとペアリングさせます。
- c) プリンタがデバイスを検出すると、ペアリングの受入または拒否を求めてくる場合があります。必要に応じて、**[同意]** をタップします。一部のデバイスでは、このプロンプトが表示されなくてもプリンタとペアリングされます。

プリンタとデバイスがペアリングされます。

4. デバイスで Zebra ユーティリティ アプリを起動します。

Zebra ユーティリティ アプリのメイン メニューが表示されます。

5. **[使用可能なファイル]** をタップします。

スマート デバイスがプリンタからデータを取得して表示します。



**注:** この取得プロセスの完了には、1 分以上かかる場合があります。

6. 表示されたフォーマットをスクロールし、SMARTDEVINPUT.ZPL を選択します。

ラベル フォーマットの ^FN フィールドに基づいて、デバイスがユーザー名の入力を求めてきます。

7. プロンプトに名前を入力します。
8. 必要に応じて、印刷するラベル数を変更します。
9. **[プリンタへの送信]** をタップして、ラベルを印刷します。

# 仕様

このセクションでは、一般的なプリンタ仕様、印刷仕様、リボン仕様、および用紙仕様をリストします。

## 一般仕様

|      |                     |   |
|------|---------------------|---|
| 高さ   | 標準                  | 279mm (11.0 インチ)  |
|      | ライナー巻き取り付き<br>オプション | 324mm (12.75 インチ)   |
| 幅    |                     | 241mm (9.5 インチ)   |
| 長さ*  |                     | 432mm (17 インチ)  |
| 重量*  |                     | 9.1 kg (20 lb)  |
| 温度   | 動作時                 | 熱転写: 40°~105°F (5°~40°C)<br>ダイレクト サーマル: 32°~105°F (0°~40°C)   |
|      | 保管時                 | -40°~140°F (-40°~60°C)  |
| 相対湿度 | 動作時                 | 20 ~ 85% (結露なきこと)   |
|      | 保管時                 | 5 ~ 85% (結露なきこと)  |
| メモリ  |                     | 256MB SDRAM メモリ (32 MB 最大容量)<br>256MB のオンボード リニア フラッシュ メモリ<br>(64MB 最大容量)   |
| 追加機能 |                     | <ul style="list-style-type: none"><li>• 109mm (4.3 インチ) カラー タッチ ユーザー<br/>インタフェース</li><li>• リアルタイム クロック (RTC)</li><li>• RFID オプション</li><li>• アプリケーター インタフェース オプション</li></ul> |

\* 用紙カバーを閉じたベース モデル。寸法と重量は、追加オプションによって異なる場合があります。

## 電源仕様

以下は代表値になります。実際の値はユニットごとに異なり、インストールされているオプションやプリンタ設定などの影響を受けます。

|                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 電気仕様                     | AC 100 ~ 240V、50 ~ 60Hz      |
| 消費電力 - 120VAC、60Hz       |                              |
| 突入電流                     | < 35A ピーク<br>8A RMS (半サイクル)  |
| Energy Star オフ時の電力 (W)   | 0.10                         |
| Energy Star スリープ時の電力 (W) | 4.68                         |
| 印刷時の電力 *(W)              | 53                           |
| 印刷時の電力 *(VA)             | 100                          |
| 消費電力 - 230VAC、50Hz       |                              |
| 突入電流                     | < 80A ピーク<br>12A RMS (半サイクル) |
| Energy Star オフ時の電力 (W)   | 0.26                         |
| Energy Star スリープ時の電力 (W) | 4.60                         |
| 印刷時の電力 *(W)              | 57                           |
| 印刷時の電力 *(VA)             | 99                           |

\* 一時停止セルフテストのラベルの印刷は、6ips の速度、4 x 6 インチまたは 6.5 x 4 インチのラベル、10 の濃度、感熱用紙を使用します。

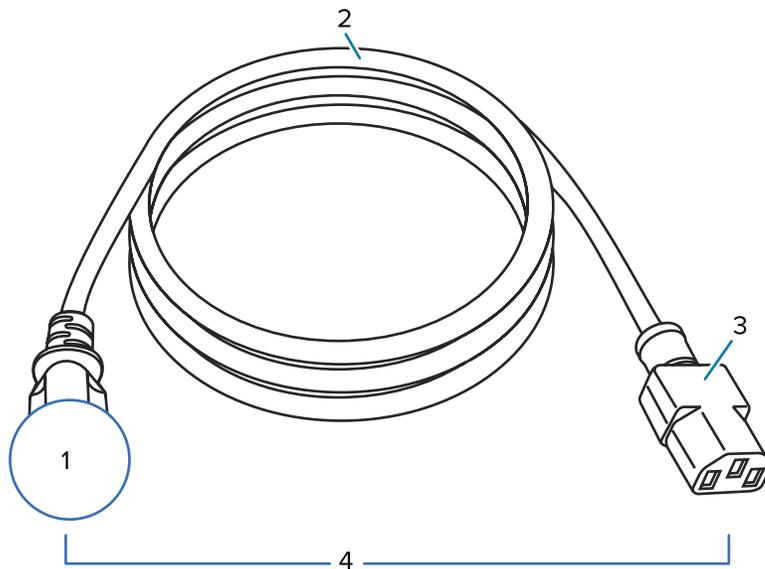
## 電源コードの仕様

プリンタの注文方法に応じて、電源コードが付属している場合としていない場合があります。電源コードが付属していない場合や付属のコードがご使用の要件に適していない場合には、次の情報を参照してください。



**注意—製品の損傷：**人体と機器の安全を確保するため、設置する地域や国で使用が認可されている3芯の電源コードを必ず使用してください。このコードはIEC 320メスコネクタを使用し、その地域に適した3芯アース付きプラグ構成であることが必要です。

図 19 電源コードの仕様



|   |   |
|---|---|
| 1 | 使用する国に適した AC 電源プラグ - 次に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも1つのマークが刻印されている必要があります (図 20 国際安全規格の認証マーク (180ページ) を参照)。安全を確保し、電磁気の干渉を低減するために、シャーシにグラウンド (アース) が接続されていること。 |
| 2 | 使用する国で認定されているケーブル (3 芯 HAR ケーブルなど)。   |
| 3 | IEC 320 コネクタ - 次に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも1つのマークが刻印されている必要があります (図 20 国際安全規格の認証マーク (180ページ) を参照)。   |
| 4 | 長さ 3m (9.8 フィート) 以下。定格 10 アンペア、AC 250V。   |

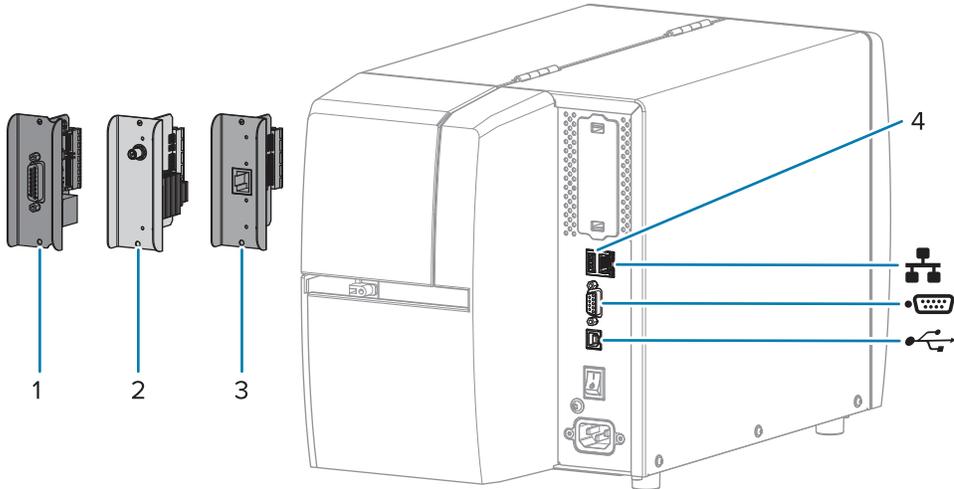
図 20 国際安全規格の認証マーク



## 通信インターフェースの仕様

このセクションでは、標準仕様およびオプション仕様について説明します。

図 21 通信インターフェースの場所



|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1   | アプリケーションポート オプション     |
| 2   | ワイヤレスポート オプション        |
| 3   | 有線イーサネットプリントサーバー (外部) |
| 4   | USB ホストポート            |
|  | 有線イーサネットプリントサーバー (内蔵) |
|  | シリアルポート               |
|  | USB 2.0 データ インタフェース   |



**注:** 用途に適したデータケーブルがそれぞれ必要です。ケーブル張力を緩和するクランプの使用をお勧めします。

イーサネットケーブルはシールド不要ですが、他のデータケーブルはすべて、完全にシールドされ、金属または金属で被覆されたコネクタシェルを備えている必要があります。シールドされていないデータケーブルを使用すると、放射妨害波が増大し、規定の制限を超える恐れがあります。

ケーブルの電気ノイズのピックアップを最小限にするには:

- データケーブルをできるだけ短くする。
- データケーブルと電源コードを一緒にきつく束ねない。
- データケーブルを電源ワイヤのコンジットに結び付けない。

## 標準接続

このプリンタは、さまざまな標準接続をサポートしています。

### USB 2.0 データ インタフェース

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 制限および要件 | 最大ケーブル長 5m (16.4 フィート) |
| 接続と設定   | これ以外の設定は不要です。          |

### RS-232/C シリアル データ インタフェース

|         |  |
|---------|--|
| 仕様      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2400 ~ 115000 ボー</li> <li>• パリティ、ビット/文字</li> <li>• 7 または 8 データ ビット</li> <li>• XON-XOFF、RTS/CTS、または DTR/DSR ハンドシェイク プロトコルが必要</li> <li>• 5V で 750mA (ピン 1 および 9)</li> </ul> |
| 制限および要件 | <p>標準のモデム ケーブルを使用する場合、ヌル モデム ケーブルを使用してプリンタまたはヌル モデム アダプタに接続する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最大ケーブル長 15.24m (50 フィート)</li> <li>• ホスト コンピュータに合わせて、プリンタのパラメータの変更が必要になる場合があります。</li> </ul>      |
| 接続と設定   | ホスト コンピュータに合わせて、ボー レート、データ ビット数とストップ ビット数、パリティ、および XON/XOFF または DTR のコントロールを設定する必要があります。   |

### 有線 10/100 イーサネット プリント サーバー (内蔵)

この標準の ZebraNet イーサネット オプションは、ネットワーク設定情報をプリンタに保存します。オプションのイーサネット接続は、プリンタ間で共有できるリムーバブル プリント サーバー ボードに設定情報を保存します。

|         |  |
|---------|--|
| 制限および要件 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンタは LAN を使用するように構成する必要があります。</li> <li>• 一番下のオプション スロットに 2 つ目の有線プリント サーバーをインストールできます。</li> </ul>       |
| 接続と設定   | 設定手順については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレス プリント サーバー ユーザー ガイド』を参照してください。このマニュアルは、 <a href="http://zebra.com/manuals">zebra.com/manuals</a> で入手できます。 |

### Bluetooth Low Energy (BTLE)

|         |  |
|---------|--|
| 制限および要件 | 多くのモバイル デバイスは、プリンタから半径 9.1m (30 フィート) 以内ならプリンタと通信できます。 |
|---------|--|

接続と設定 Bluetooth インタフェースを使用するようにプリンタを設定する手順については、『Zebra Bluetooth User Guide』を参照してください。このマニュアルは、[zebra.com/manuals](http://zebra.com/manuals) で入手できます。

## USB ホスト ポート

制限および要件 USB ホスト ポートに接続できるデバイスは1つのみです。別のデバイスの USB ポートに接続して2台目のデバイスを使用することはできません。また、アダプタを使用してプリンタの USB ホストポートを分割することで、一度に複数のデバイスを接続することもできません。

接続と設定 これ以外の設定は不要です。

## オプションの接続

このプリンタは、次の接続オプションをサポートしています。

### ワイヤレス プリント サーバー

仕様 詳細については、[ワイヤレス仕様](#)を参照してください。

制限および要件

- ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN) 上の任意のコンピュータから印刷できます。
- プリンタの Web ページからプリンタと通信できます。
- プリンタは WLAN を使用するように構成する必要があります。
- 一番上のオプション スロットにのみインストールできます。

接続と設定 設定手順については、『ZebraNet 有線プリント サーバーおよびワイヤレス プリント サーバー ユーザー ガイド』を参照してください。このマニュアルのコピーは、[zebra.com/manuals](http://zebra.com/manuals) で入手できます。

### アプリケーション インタフェース

要件 DB15F コネクタが必要です。

### 有線 10/100 イーサネット プリント サーバー (外部)

この ZebraNet イーサネット オプションを使用すると、プリンタ間で共有できるプリント サーバーにネットワーク設定情報をプログラムできます。標準イーサネット接続では、プリンタ自体に設定情報が保存されます。

## ワイヤレス仕様

### アンテナ情報

- タイプ=トレース アンテナ ゲイン -3.7dBi
- タイプ=全方向式アンテナ、ゲイン 2.4GHz で 3dBi、5GHz で 5dBi
- タイプ=PCBA アンテナ ゲイン=900MHz で -30dBi

### ワイヤレス、Bluetooth、および RFID 仕様

|  |   |
|--|---|
| 802.11 b <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2.4GHz</li> <li>• DSSS (DBPSK、DQPSK、および CCK)</li> <li>• RF 電力 17.77dBm (EIRP)</li> </ul>               | 802.11 a/n <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.15 ~ 5.25GHz、5.25 ~ 5.35GHz、5.47 ~ 5.725GHz</li> <li>• OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM)</li> <li>• RF 電力 17.89dBm (EIRP)</li> </ul> |
| 802.11 g <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2.4GHz</li> <li>• OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM)</li> <li>• RF 電力 18.61dBm (EIRP)</li> </ul> | 802.11 ac <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5.15 ~ 5.25GHz、5.25 ~ 5.35GHz、5.47 ~ 5.725GHz</li> <li>• OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM)</li> <li>• RF 電力 13.39dBm (EIRP)</li> </ul>  |
| 802.11 n <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2.4GHz</li> <li>• OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM)</li> <li>• RF 電力 18.62dBm (EIRP)</li> </ul> | Bluetooth Low Energy (LE) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2.4GHz</li> <li>• GFSK (Bluetooth Low Energy)</li> <li>• RF 電力 2.1dBm</li> </ul>   |
| RFID RE40 無線モジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>• 865 ~ 928MHz</li> <li>• FHSS</li> <li>• RF 電力 27.22dBm</li> </ul>                             |   |

## 印刷仕様

|                         |        |   |
|-------------------------|--------|---|
| 印刷解像度                   |        | 203dpi (ドット/インチ) (8 ドット/mm)                           |
|                         |        | 300dpi (12 ドット/mm)                                    |
| プログラム可能な一定印字速度 (秒)      | 203dpi | 51mm ~ 305mm、増分単位は 25.4mm<br>2.0 ~ 12 インチ、増分単位は 1 インチ |
|                         | 300dpi | 51mm ~ 203mm、増分単位は 25.4mm<br>2.0 ~ 8 インチ、増分単位は 1 インチ  |
| ドットサイズ (公称)<br>(幅 x 長さ) | 203dpi | 0.125mm x 0.125mm<br>(0.0049 インチ x 0.0049 インチ)        |
|                         | 300dpi | 0.084mm x 0.099mm<br>(0.0033 インチ x 0.0039 インチ)        |
| 最大印字幅                   |        | 104mm (4.09 インチ)                                      |
| 最大連続印字長*                | 203dpi | 3988mm (157 インチ)                                      |
|                         | 300dpi | 1854mm (73 インチ)                                       |
| バーコード モジュラス (X)<br>寸法   | 203dpi | 5mil ~ 50mil  |
|                         | 300dpi | 3.3mil ~ 33mil  |
| 最初のドット位置 (用紙の内側の端から測定)  |        | 2.5mm ± 1.016mm<br>(0.10 インチ ± 0.04 インチ)              |
| 用紙のレジストレーション<br>の許容範囲** | 垂直方向   | 単票用紙では ± 1mm (± 0.039 インチ)                            |
|                         | 水平方向   | 用紙のロール内で ± 1mm (± 0.039 インチ)                          |

\* ラベルの最大長は、オプションの選択とファームウェア オーバーヘッドの影響を受けます。

\*\*用紙のレジストレーションと最小ラベル長は、用紙の種類と幅、リボンの種類、および印刷速度によって影響を受けます。性能は、これらの要素を最適化することで改善されます。Zebra では、常に綿密なテストによってアプリケーションの適格性を確認することを推奨しています。

## 用紙仕様

|                            |                 |                                  |
|----------------------------|-----------------|----------------------------------|
| ラベル長*                      | 最小* (切り取り)      | 17.8mm (0.7 インチ)                 |
|                            | 最小* (剥離)        | 12.7mm (0.5 インチ)                 |
|                            | 最小* (カッター)      | 25.4mm (1.0 インチ)                 |
|                            | 最小* (RFID)      | トランスポンダのタイプごとに異なる                |
|                            | 最大**            | 991mm (39 インチ)                   |
| 用紙幅<br>(ラベルとライナー)          | 最小 (RFID 以外)    | 19mm (0.75 インチ)                  |
|                            | 最小 (RFID)       | トランスポンダのタイプごとに異なる                |
|                            | 最大              | 114mm (4.5 インチ)                  |
| 厚さ合計<br>(ライナーがあれば、ライナーを含む) | 最小              | 0.076mm (0.003 インチ)              |
|                            | 最大              | 0.25mm (0.010 インチ)               |
| 最大ロール外径                    | 76mm (3 インチ) コア | 203mm (8 インチ)                    |
|                            | 25mm (1 インチ) コア | 152mm (6 インチ)                    |
| ラベルの間隔                     | 最小              | 2mm (0.079 インチ)                  |
|                            | 優先              | 3mm (0.118 インチ)                  |
|                            | 最大              | 4mm (0.157 インチ)                  |
| チケット/タグの切れ込みサイズ (幅 x 長さ)   |                 | 6mm x 3mm (0.25 インチ x 0.12 インチ)  |
| 穴直径                        |                 | 3.18mm (0.125 インチ)               |
| 切れ込みまたは穴の位置 (内側の用紙端から中央に)  | 最小              | 3.8mm (0.15 インチ)                 |
|                            | 最大              | 57mm (2.25 インチ)                  |
| 濃度、光学濃度計 (ODU) (黒マーク)      |                 | > 1.0 ODU                        |
| 最大用紙印字濃度                   |                 | ≤ 0.5 ODU                        |
| 透過式用紙センサー (固定位置)           |                 | 内側の用紙端から 11mm (7/16 インチ) の位置     |
| 黒マーク長さ                     |                 | 2.5 ~ 11.5mm (0.098 ~ 0.453 インチ) |
| 黒マーク幅                      |                 | ≥ 9.5mm (≥ 0.37 インチ)             |
| 黒マークの位置 (用紙の内側の端)          |                 | 1cm (0.04 インチ)                   |
| 黒マーク濃度                     |                 | > 1.0 の光学濃度単位 (ODU)              |
| 最大用紙印字濃度                   |                 | 0.3 ODU                          |

\*用紙のレジストレーションと最小ラベル長は、用紙の種類と幅、リボンの種類、および印刷速度によって影響を受けます。性能は、これらの要素を最適化することで改善されます。Zebra では、常に綿密なテストによってアプリケーションの適格性を確認することを推奨しています。

\*\* ラベルの最大長は、オプションの選択とファームウェア オーバーヘッドの影響を受けます。

## リボン仕様

熱転写オプションにはリボンが必要です。リボンは外側がコーティングされている必要があります。詳細については、[リボン](#)（13ページ）を参照してください。

|               |    |                  |
|---------------|----|------------------|
| リボン幅*         | 最小 | 40mm (1.57 インチ)  |
|               | 最大 | 110mm (4.33 インチ) |
| 最大リボン長        |    | 450m (1476 フィート) |
| 最大リボン ロール サイズ |    | 81.3mm (3.2 インチ) |
| リボン巻芯の内径      |    | 25mm (1 インチ)     |

\* Zebra は、印字ヘッドの磨耗を防ぐために、用紙より幅の広いリボンを使用することを奨励します。

# 用語集

## 英数字

文字、数字、または句読点などの文字を示します。

## バックフィード

プリンタが用紙とリボン (使用されている場合) をプリンタの後方に引っ張ること。これにより、印刷するラベルの先頭が、印字ヘッドの後ろに正しく配置されます。バックフィードは、プリンタを切り取りモードおよびアプリケーションモードで稼働しているときに行われます。

## バーコード

太さの異なる線を縞模様状に組み合わせることによって英数字を表現するコード。統一商品コード (UPC : universal product code) またはコード 39 など、様々なコード体系があります。

## 黒マーク用紙



印刷用紙の裏面にある登録マーク付きの用紙で、プリンタのラベルの開始位置を示します。反射式用紙センサーは、黒マーク用紙を使用する場合に通常選択するオプションです。

これは、[連続用紙](#) (189ページ) または[ギャップ/切れ込み用紙](#) (191ページ) と対称的です。

## キャリブレート (プリンタ)

プリンタが特定の [用紙](#) (192ページ) と [リボン](#) (195ページ) の組み合わせにより正確に印刷するために必要な基本情報を判別するプロセス。この情報を判別するため、プリンタは、用紙とリボン (使用されている場合) をプリンタにフィードして、[ダイレクトサーマル](#) (190ページ) または [熱転写](#) (196ページ) のいずれの印刷方式を使用するかを検出し、[単票用紙](#) (193ページ) を使用している場合は) 個々のラベルまたはタグの長さを検出します。

## コレクション方式

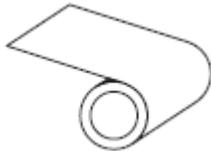
ご使用のプリンタ オプションに対応する用紙コレクション方式を選択します。選択肢には、切り取り、剥離、カッター、および巻き取りがあります。基本的な用紙とリボンの装着の手順はすべてのコレクション方式の場合と同じですが、用紙コレクション オプションを使用する際に必要な追加手順がいくつかあります。

## 構成

プリンタ設定は、プリンタ アプリケーション固有の稼働パラメータのグループです。パラメータには、ユーザーが選択できるものや、インストールされているオプションや稼働モードに依存するものがあります。パラメータは、スイッチ選択可能、コントロール パネルでのプログラム可能、または ZPL II コマンドとしてダウンロード可能です。現在のプリンタ パラメータをすべて一覧する設定ラベルを、参照用に印刷できます。

## 連続用紙

ラベルまたはタグ ストック用紙には、ラベル分離位置を示すギャップ、穴、切れ込み、黒マークはありません。この用紙は、ロール状に巻かれた1つの長い素材です。このため、イメージをラベル上の任意の場所に印刷できます。個々のラベルまたはレシートの切り離しにカッターを使用することがあります。



通常、プリンタで用紙切れを検出するために透過式 (ギャップ) センサーが使用されます。

これは、[黒マーク用紙](#) (188ページ) または[ギャップ/切れ込み用紙](#) (191ページ) と対称的です。

## コア直径

用紙またはリボンのロールの中心にある厚紙の巻き芯の内径。

## 診断

プリンタの問題のトラブルシューティングに使用される、機能していないのはどの機能かについての情報。

## ダイカット用紙

個々のラベルが用紙ライナーに付いているラベル ストックのタイプ。個々のラベルは、ぴったり一列か、少し間を開けて配置されています。通常、ラベルの周りの部分は除かれています。[\(単票用紙](#) (193ページ) を参照)。

## ダイレクトサーマル

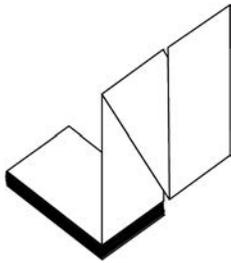
印字ヘッドが用紙に直接触れる印刷方式。印字ヘッド部が熱くなると、用紙の感熱コーティングが変色します。用紙が通過するときに印字ヘッド部を選択的に熱することで、イメージが用紙に印刷されます。この印刷方式では、リボンを使用しません。

[熱転写](#)（196ページ）と対比してください。

## 感熱用紙

印字ヘッドから直接受ける熱に反応する物質でコーティングされている用紙。

## 折り畳み用紙



四角形の束に蛇腹に折り畳まれた単票用紙。折り畳み用紙は、[ギャップ/切れ込み用紙](#)（191ページ）または[黒マーク用紙](#)（188ページ）のいずれかです。つまり、黒マークまたは切れ込みを使用して用紙フォーマットの位置をトラッキングします。

折り畳み用紙は、単票ロール用紙と同様、ラベル分離位置があります。ラベルの分離位置は折り目または折り目付近になります。

[ロール用紙](#)（195ページ）と対比してください。

## ファームウェア

これは、プリンタの稼働プログラムを指定するときに使用される用語です。このプログラムは、ホストコンピュータからプリンタにダウンロードされ、[フラッシュメモリ](#)（190ページ）に保存されます。プリンタの電源が入られるたびに、この稼働プログラムが起動します。このプログラムは、[用紙](#)（192ページ）をいつ前後にフィードするか、およびドットをいつラベルストックに印刷するかを制御します。

## フラッシュメモリ

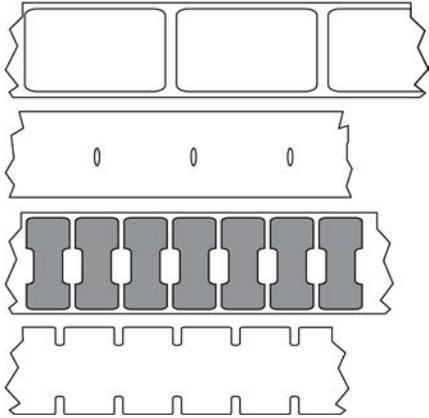
電源が切られても格納されている情報を保持する[非揮発性メモリ](#)。このメモリ領域は、プリンタの稼働プログラムを保存するために使用されます。また、オプションのプリンタフォント、グラフィックフォーマット、および完全なラベルフォーマットを保存するためにも使用できます。

## フォント

[英数字](#)（188ページ）文字を表示したり印刷したりする際の書体。たとえば、CG Timesa™、CG Triumvirate Bold Condensed™ などです。

## ギャップ/切れ込み用紙

1つのラベル/印刷フォーマットが終了し、次が開始する位置を示す区切り、切れ込み、穴がある用紙。



これは、[黒マーク用紙](#)（188ページ）または[連続用紙](#)（189ページ）と対称的です。

## ips (1秒あたりのインチ数)

ラベルまたはタグが印刷される速度。多くの Zebra プリンタは、1ips から 14ips で印刷できます。

## ラベル

裏面粘着式の紙やプラスチックなどの素材でできていて、情報が印刷されているもの。単票ラベルには、連続ラベルやレシートとは異なり、定義された長さがあります。

## ラベル台紙 (ライナー)

製造時にラベルを貼り付けている台紙で、使用時に破棄またはリサイクルされます。

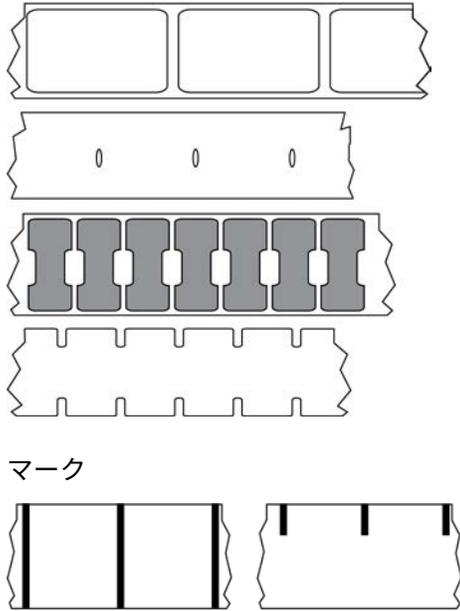
## ラベルタイプ

プリンタは以下のラベルタイプを認識します。

連続



ギャップ/切れ込み



## LED (発光ダイオード)

特定のプリンタステータス状況を示すインジケータ。各 LED は、監視している機能により、消滅、点灯、点滅します。

## 台紙なし用紙

台紙なし用紙は、ロール上のラベルの層が互にくっつかないように保つための台紙を使用しません。台紙なし用紙はテープのロールのように巻かれ、1つの層の粘着面が、その下の層の非粘着面と接触しています。個々のラベルはミシン目で切り離したり、切断したりできます。台紙がないため、1本のロールに収まるラベル数が多くなり、用紙を頻繁に取り換える必要を減らします。台紙なし用紙は台紙が無駄にならないため環境にやさしいオプションと考えられ、ラベル1枚あたりのコストを標準的なラベルより大幅に抑えることができます。

## LCD (液晶ディスプレイ)

通常稼働時には稼働状態を表示し、プリンタを特定のアプリケーションに設定する時にはオプションメニューを表示するバックライトディスプレイです。

## マーク用紙

[黒マーク用紙](#) (188ページ) を参照してください。

## 用紙

プリンタがデータを印刷する素材。用紙のタイプには、タグストック、ダイカットラベル、連続ラベル(用紙ライナーのあるものとないもの)、単票用紙、折り畳み用紙、ロール用紙があります。

## 用紙センサー

印字ヘッドの後ろにあり、用紙の存在を検出します。また、[単票用紙](#)（193ページ）の場合、各ラベルの開始位置を示すために使用されるウェブ、穴、または切れ込みの位置を検出します。

## 用紙サプライ ハンガー

用紙ロールをサポートする固定アーム。

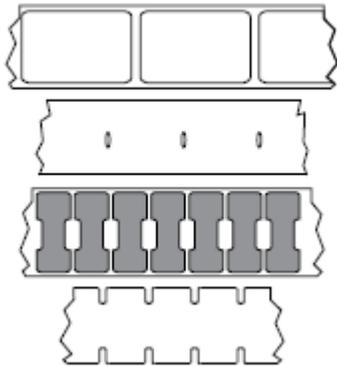
## 単票用紙

1つのラベル/印刷フォーマットが終了し、次が開始する位置を示すインジケータがある用紙。単票用紙のタイプには、[ギャップ/切れ込み用紙](#)（191ページ）および[黒マーク用紙](#)（188ページ）があります。（[連続用紙](#)（189ページ）と対比してください）。

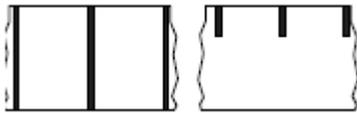
単票ロール用紙は、通常、ライナーに粘着性のある台紙が付いたラベルの形で提供されます。タグ（またはチケット）はミシン目で区切られています。

個々のラベルやタグは、以下のいずれかの方法を使用してトラッキングおよび位置制御がなされています。

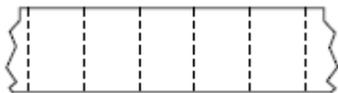
- ウェブ用紙は、ラベルがギャップ、穴、または切れ込みで区切られています。



- 黒マーク用紙には、用紙裏面にあらかじめ黒マークが印刷され、ラベルの分離位置を示しています。



- ミシン目入り用紙には、位置制御用のマーク、切れ込み、ラベルギャップに加えて、ラベルやタグを簡単に切り離せるようにするための穴があります。



## 非揮発性メモリ

プリンタの電源を切った後でもデータを保持する電子メモリ。

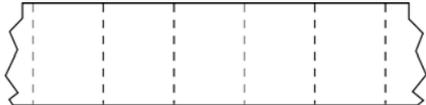
## 切り込み用紙

ラベルの開始位置を示すインジケータとしてプリンタにより検知される切り込み領域のあるタイプのタグストック。通常、次のタグから切り離されたり破られたりするもので、厚紙のような重い素材が使用されます。[ギャップ/切れ込み用紙](#)（191ページ）を参照してください。

## 剥離モード

プリンタが印刷されたラベルを台紙から剥がし、別のラベルの印刷前にユーザーが取り除くことができるようにする操作モード。印刷はラベルが取り除かれるまで一時停止します。

## ミシン目入り用紙



ラベルやタグを簡単に切り離せるミシン目入り用紙。黒マークなど、ラベルやタグの分離位置を示すマークなども付いていることがあります。

## 印字速度

印刷の速度。熱転写プリンタの場合、この速度は [ips \(1秒あたりのインチ数\)](#)（191ページ）で表されます。

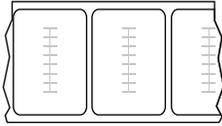
## 印刷タイプ

印刷タイプは、使用している[用紙](#)（192ページ）のタイプが印刷時に[リボン](#)（195ページ）を必要とするかどうかを指定します。[熱転写](#)（196ページ）用紙にはリボンが必要ですが、[ダイレクトサーマル](#)（190ページ）用紙には必要ありません。

## 印字ヘッドの摩耗

印字ヘッドまたはプリント要素、あるいはその両方の表面の経年による劣化。熱および摩耗により、印字ヘッドは劣化します。したがって、印字ヘッドの寿命を最大にするには、良質の印刷に必要な最低限の印字濃度設定（焼け温度またはヘッド温度とも呼ばれます）と印字ヘッド圧力を使用します。[熱転写](#)（196ページ）印刷方式の場合、用紙と同じ幅、または用紙より広い幅の[リボン](#)（195ページ）を使用して、でこぼこの用紙表面から印字ヘッドを保護します。

## RFID (無線自動識別) 「スマート」用紙



RFID ラベルごとに、ラベルとライナーの間に、チップとアンテナで構成された RFID トランスポンダ (「インレイ」とも呼ばれる) が埋め込まれています。トランスポンダの形状は、メーカーによって異なり、ラベルの上から透けて見えます。すべての「スマート」ラベルに読み取り可能なメモリが備わっており、その多くがエンコード可能なメモリです。

RFID 用紙は、RFID リーダー/エンコーダ搭載のプリンタで使用できます。RFID ラベルは、非 RFID ラベルと同じ材料と接着剤を使用しています。

## レシート

レシートは可変長の印刷です。小売店にレシートの一例があります。各購入品目はプリントアウト上で個々のラインを占めます。したがって、購入品目数が増えるほどレシートは長くなります。

## 登録

ラベルまたはタグの上部 (垂直方向) または両端 (水平方向) に対して印刷の位置を合わせること。

## リボン

リボンとは、**熱転写**処理の際に用紙に転写されるワックス、レジン、またはワックス レジン (通称「インク」) で片面がコーティングされた薄いフィルムです。インクは、印字ヘッド内の小さな部品によって熱が加えられると用紙に転写されます。

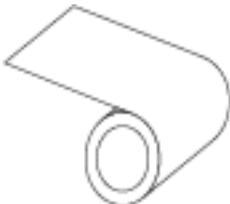
リボンは熱転写印刷方式専用です。**感熱用紙**ではリボンを使用しません。リボンを使用する場合、使用する用紙の幅より広いリボンを使用する必要があります。リボンの幅が用紙の幅よりも狭いと、印刷ヘッドの領域が保護されず、印刷ヘッドの寿命を縮めるおそれがあります。Zebra リボンは、印字ヘッドの摩耗を防ぐため裏面がコーティングしてあります。

## リボンのシワ

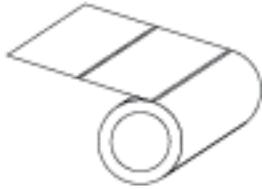
不適切な位置調整、または不適切な印字圧力によって生じるリボンのシワ。このシワにより、印刷または使用リボン、あるいはその両方に隙間が生じて、正しく巻き取られない原因となります。このような場合、位置調整手順に従い修正してください。

## ロール用紙

芯 (通常、厚紙) に巻かれた状態で提供される用紙。連続用紙 (ラベル間の区切りなし) の場合



または単票用紙 (ラベル間にいずれかのタイプの区切りがある) の場合があります。



[折り畳み用紙](#) (190ページ) と対比してください。

## 消耗品

用紙およびリボンに使用する一般的な用語。

## シンボルコード体系

バーコードに言及するときに通常使用される用語。

## タグストック

裏面粘着式ではないが、タグを何かに掛けるときに使用できる穴や切れ込みがあるタイプの用紙。タグは通常、厚紙などの耐久性のある素材で作られています。通常、タグ間にミシン目が入っています。タグストックは、ロール状の用紙または折り畳まれた用紙です([ギャップ/切れ込み用紙](#) (191ページ) を参照)。

## 切り取りモード

ユーザーが手作業でラベルやタグストックを残りの用紙から切り取る時の操作モード。

## 熱転写

印字ヘッドが、インクまたは樹脂でコーティングされたリボンを用紙に押し付ける印刷方式。印字ヘッド部に熱を加えることで、インクまたは樹脂が用紙に移染します。用紙およびリボンが通過するときに印字ヘッド部を選択して熱することで、イメージが用紙に印刷されます。

[ダイレクトサーマル](#) (190ページ) と対比してください。

## 空白

印刷の対象ではあるが、リボンのシワやプリント部品の損傷などのエラー状況により印刷されない領域。空白があると、印刷バーコードシンボルが正しく読み込まれなかったり、まったく読み込まれないことがあります。

